

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事

令和7年 1月

(仮眠室棟新築)

建築意匠				建築構造				電気設備				機械設備				
基	弱	機	電	基	弱	機	電	基	弱	機	電	基	弱	機	電	
図面番号				図面番号				図面番号				図面番号				
(仮眠室棟新築)				(仮眠室棟新築)				(仮眠室棟新築)				(仮眠室棟新築)				
			A-01	表紙・図面リスト			S-01	構造設計特記仕様			E-01	電気設備工事特記仕様書			M-01	機械設備工事 特記仕様書
			A-02	新築工事 特記仕様書(1)			S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	○	○	E-02	配置図、既設庁舎電気設備改修図	○		M-02	配置図
			A-03	新築工事 特記仕様書(2)			S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)			E-03	幹線設備・コンセント設備図	○		M-03	空調・換気設備平面図 機器表 換気計算
			A-04	新築工事 特記仕様書(3)			S-04	鉄骨構造標準図	○	○	E-04	電灯設備・弱電設備図	○		M-04	衛生設備 平面図 器具・機器表 樹リスト
			A-05	新築工事 特記仕様書(4)	○		S-05	地盤改良 砕石パイル配置図	○		E-05	分電盤結線図・照明参考姿図				
			A-06	新築工事 特記仕様書(5)	○		S-06	基礎伏図、基礎詳細図								
			A-07	新築工事 特記仕様書(6)	○		S-07	小屋伏図、部材リスト								
○	○		A-08	付近見取図、土地条件	○		S-08	軸組図								
○	○		A-09	配置図	○		S-09	架構図								
○	○		A-10	全体敷地求積図	○		S-10	鉄骨詳細図、柱脚詳細図								
○	○		A-11	仮眠室棟敷地求積図												
○	○		A-12	設計概要・仕上表												
○	○		A-13	平面図												
○	○		A-14	立面図、断面図												
○	○		A-15	建物求積図、求積表、床面積算定、建具表、法規チェック												
○	○		A-16	矩計図												
○	○		A-17	物置詳細図												

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図	検 図	製 図	設計年月 令和7年 1月 (2025年)	図面内容 (仮眠室棟新築) 表紙・図面リスト	縮尺	図面番号 A-01	建築意匠
						A1: A3:		

工事名 紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事		特記仕様書	
I. 工事概要			
1. 工事場所	紫波郡紫波町桜町字大坪53番1の一部、53番7の一部		
2. 敷地面積	211.42㎡		
3. 工事規模	軽量鉄骨造 平屋建て 建築面積：54.09㎡、延床面積：54.09㎡		
II. 建築工事仕様			
1. 共通仕様			
図面、特記仕様書及び現場説明事項に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「標準」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年度版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。			
2. 特記仕様			
(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。			
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。			
(3) 特記仕様書に記載の（ ）内表示番号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。			
(4) [G]印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月閣議決定）」に定める判断の基準を満たす物品を示す。			

章 項 目		特 記 事 項																																										
1 各 章 共 通 事 項	① 適用基準	○図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ○建築物解体工事共通仕様書（令和4年度版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 ○営繕工事写真撮影要領（令和5年度版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部 ○建築工事標準詳細図（令和4年度版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部																																										
	② 工事実績情報システムへの登録	○適用する (1.1.4)																																										
	③ 工事の記録等	報告による書式等 (1.2.4) ○監督職員の指示による ○標準仕様書1.2.4(4)により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領（令和5年度版）」による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 平成30年版 国土交通大臣官房官庁営繕部監修																																										
	④ 施工管理技術者等	施工管理技術者 (1.3.2) ※施工管理技術者は、工事に相応した能力を有するものとし、資格等の能力を証明する資料を提出する。 電気保安技術者 ※適用する (1.3.3) ※標準仕様書1.3.5(1)以外の施工条件については、監督職員の指示による (1.3.5)																																										
	⑤ 施工条件	・発注者に引渡しを要するもの (1.3.11) ・現場説明書による ・特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ・現場説明書による ・現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの ・現場説明書による																																										
	⑥ 発生材の処理等	○本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設を経由を含む）に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 (1.4.2)																																										
	⑦ 材料の品質等	(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能のほか、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄等に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (1.5.2)																																										
	⑧ 技能士	<table border="1"> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>職 種</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>と び</td> <td>○とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>○鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工 コンクリート圧送施工</td> <td>○型枠工事作業 ○コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>鉄 工</td> <td>○構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロックALCパネル、押出し成形セメント板工事</td> <td>ブロック建築 エーエルシーパネル施工</td> <td>・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">防水工事</td> <td rowspan="6">防水施工</td> <td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>・大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>○内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>・スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>内装仕上り施工</td> <td>内装仕上げ施工</td> <td>○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>表 装</td> <td>表 装</td> <td>・壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配 管</td> <td>○建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面標示施工</td> <td>・溶融ペイントハンドマーカ工工事作業 ・溶融ペイントマシンマーカ工工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造 園</td> <td>・造園工事作業</td> </tr> </table>		適用工事種別	職 種	技能検定の作業の種別	仮設工事	と び	○とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工	○型枠工事作業 ○コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	鉄 工	○構造物鉄工作業	コンクリートブロックALCパネル、押出し成形セメント板工事	ブロック建築 エーエルシーパネル施工	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業	防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	・石張り作業	・タイル張り作業	・大工工事作業	○内外装板金作業	・スレート工事作業	内装仕上り施工	内装仕上げ施工	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業	表 装	表 装	・壁装作業	排水工事	配 管	○建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントハンドマーカ工工事作業 ・溶融ペイントマシンマーカ工工事作業	植栽工事	造 園	・造園工事作業
	適用工事種別	職 種	技能検定の作業の種別																																									
	仮設工事	と び	○とび作業																																									
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業																																										
コンクリート工事	型枠施工 コンクリート圧送施工	○型枠工事作業 ○コンクリート圧送工事作業																																										
鉄骨工事	鉄 工	○構造物鉄工作業																																										
コンクリートブロックALCパネル、押出し成形セメント板工事	ブロック建築 エーエルシーパネル施工	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業																																										
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																										
		・石張り作業																																										
		・タイル張り作業																																										
		・大工工事作業																																										
		○内外装板金作業																																										
		・スレート工事作業																																										
内装仕上り施工	内装仕上げ施工	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ○ボード仕上げ工事作業																																										
表 装	表 装	・壁装作業																																										
排水工事	配 管	○建築配管作業																																										
舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイントハンドマーカ工工事作業 ・溶融ペイントマシンマーカ工工事作業																																										
植栽工事	造 園	・造園工事作業																																										

1 一 般 共 通 事 項	⑨ 化学物質の濃度測定	※適用する (1.5.9) 測定時期 ・現場説明書による ○監督員の指示による 測定対象化学物質 ○ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン 測定方法 ○バツシブ型採取機器による 測定対象室及び測定箇所 ・仕上表による ○1ヵ所（男性仮眠室） ・中間技術検査 実施回数（ ）回 (1.6.2) 実施する段階（ ） 工事完成時の提出図書 (1.7.1～1.7.3)（表1.7.1） ※標準仕様書1.7.2及び1.7.3による 完成図の提出（ ）部 ○下記による ・監督員の指示による 提出仕様 ○紙ベース 製本A2判（見開きA1判）：1部、A4判（見開きA3判）：2部 ○電子データ 電子成果品 CD-R：2部 安全に関する資料の提出（ ）部 ○下記による ・監督員の指示による 提出仕様 ○紙ベース A4判ファイル綴じ：1部 ○電子データ 電子成果品 CD-R：2部 (1.2.2)(1.2.3)	
	⑩ 技術検査	施工図及び施工計画書の提出について (1.2.2)(1.2.3) (1) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備工事施工図の描き方（平成元年版）」に準ずるものとする。 (2) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り発注者に移譲するものとする。 (3) 提出部数は、監督員の指示による。 工事完成時に完成写真を撮影し、監督職員に提出する 撮影箇所及び提出サイズ、仕様 ○監督員の指示による ○営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)による	
	⑪ 完成時の提出図書	施工範囲 ○ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ○ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強 ・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切り込み及び補強 ○ 他指示するところ 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。 本工事完成 年後の経年検査 ○なし ・あり	
	⑫ 施工図及び施工計画書	※ 設ける (2.3.1) (規模、仕上げの程度、設備、並びに備品等の種類・数量等は現場説明書による) ○ 設けない 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)	
	⑬ 完成写真	※ 設置する足場及び作業構台は、関連工事等の関係諸貨者に無償で使用させる。 (2.2.4) ○昇降足場：（参考）くさび緊結式足場（手すり先行型） ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法に関するガイドライン」に基づき、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には常時、すべての作業床について手すり、中横及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。	
	⑭ 設備工事との取合い	材料及び工法（施工箇所は図示による） (3.2.3)（表3.2.1） ※標準仕様書 表3.2.1による ・ A種 ・ B種 ・ C種（土質： 受渡場所： ） ・ D種 D種の場合 品質：総粉分（74μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする	
	⑮ 経年検査	※ 構外撤出適切処理 ・ 構内指定場所に敷均し ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構外指定場所に処分（撤出調査等を提出する） 鋼や板等の撤去後の処理 ※直ちに砂等で充填する ・ 山留め 山留の存置 ・ 行う（存置範囲等 ※図示） ・ 行わない	
	⑯ 仮設工事	低騒音型、低振動型建設機械指定要項に基づき指定された建設機械を使用する。	
	⑰ 足場等	下記以外は構造関係特記仕様書による。 ※適用する (4.6.5) (ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上) ・ 適用しない 施工範囲 ○図示による	
	⑱ 土 工 事	下記以外は構造関係特記仕様書による。 ※適用する (5.3.1) 鉄筋には、点付け溶接を行わない。また、アークストライクを起こしてはならない。	

6 コ ン ク リ ー ト 工 事	① コンクリートの仕上り	下記以外は構造関係特記仕様書による。 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上 (6.2.5)（表6.2.4） 種 別 適用箇所 ・ A種 ・ 図示 ・ B種 ○ 図示 ・ C種 ・ 図示 コンクリート仕上りの平たんさの種類別 (6.2.5)（表6.2.5） 種 別 適用箇所 ・ a種 ・ 図示 ・ b種 ○ 図示 ・ c種 ・ 図示																																		
	② 錆止め塗装	下記以外は構造関係特記仕様書による。 (7.8.2) 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示による 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)による ・ 図示による 下記以外の塗料の種類別は、標準仕様書18章による ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種類別 ※A種 ・ B種 ・ 耐火被覆材が接着する面の種類 ・ 材料、工法等 (7.9.2～7.9.8)																																		
	③ 耐火被覆材	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材料・工法</th> <th>耐火性能(時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付け ロックウール</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・半乾式吹付け ロックウール</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材貼り</td> <td>・湿式 ロックウール</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火板張り</td> <td>・繊維混入型酸 カルシウム板</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱 ロックウール</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ラス張り モルタル塗り</td> <td>—</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td>—</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>		種 類	材料・工法	耐火性能(時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付け ロックウール	・	・	・半乾式吹付け ロックウール	・耐火材貼り	・湿式 ロックウール	・	・	・	・耐火板張り	・繊維混入型酸 カルシウム板	・	・	・	・耐火材巻付け	・高断熱 ロックウール	・	・	・	・ラス張り モルタル塗り	—	・	・	・	・耐火塗料	—	・	・
	種 類	材料・工法	耐火性能(時間)	適用箇所(部位・部分)																																
	・耐火材吹付け	・乾式吹付け ロックウール	・	・																																
		・半乾式吹付け ロックウール																																		
	・耐火材貼り	・湿式 ロックウール	・	・																																
		・																																		
	・耐火板張り	・繊維混入型酸 カルシウム板	・	・																																
		・																																		
・耐火材巻付け	・高断熱 ロックウール	・	・																																	
	・																																			
・ラス張り モルタル塗り	—	・	・																																	
	・																																			
・耐火塗料	—	・	・																																	
④ 補強コンクリートブロック造	材料 (8.2.2) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 長さ 高さ ・空洞ブロック C(16) ・有・無 ・空洞ブロック D(20) ・有・無 ・有・無 モルタルの割合（容積比） (8.2.3) ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(16)の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ※標準仕様書 表8.2.1による 上記以外の場合、 各部の配筋 ・ 図示による (8.2.5) 目地の仕上げ ・ 押し目地仕上 ・ 化粧目地仕上 (8.2.7) まぐさを受ける開口部両端のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで (8.2.8) 充填するブロックの範囲 ・ 図示による																																			
⑤ コンクリートブロック・ALCパネル、押出し成形セメント板工事	材料 (8.3.2)（表8.3.1） 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) モジュール呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考 長さ 高さ ・空洞ブロック C(16) ・有・無 ※表8.3.1 ・ ・有・無 ※欄 ・ ・有・無 モルタルの割合（容積比） (8.3.3) ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(16)の場合で、目地幅が10mm程度の場合 ※標準仕様書 表8.2.1による 上記以外の場合、 鉄筋の継手、定着及び束端部の折り曲げ形状 ・ 図示による (8.3.4) 各部の配筋 ・ 図示による (8.3.4)																																			
⑥ ALCパネル	パネルの種類 (8.4.2～8.4.5)（表8.4.2～8.4.4） 種 別 単位荷重 (N/㎡) 厚 さ (mm) 長 さ (mm) 耐火性能 工法種別 ・ 外壁パネル (意匠パネル) ・ 100 ・ 有 (1) 時間 ・ A種 ・ B種 ・ 外壁パネル (平パネル) ・ 100 ・ 有 (1) 時間 ・ A種 ・ B種 ・ 間仕切壁パネル ・ 100 ・ 有 (1) 時間 ・ C種 ・ D種 ・ 無 ・ 屋根パネル ・ 100 ・ 有 (0.5) 時間 ・ F種 ・ 床パネル ・ 100 ・ 有 () 時間 ・ F種																																			

4 押 出 し 成 形 セ メ ン ト 板	① パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材 (8.4.2) ・ 図示による ・ 外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法 (8.4.3) (8.4.5) 耐火圧性能 () 耐震性能 () ・ 間仕切壁パネル構法 耐火性能 () パネルの最小幅 ※300以上 (8.4.3) (8.4.4) (8.4.5) パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8.4.3) (8.4.4) ※10～20 ・ 図示による 伸縮目地への耐火目地材の充填 (8.4.3) (8.4.4) ・ 適用する ・ 適用しない パネルの種類 (8.5.2～8.5.4)（表8.5.1）（表8.5.2） 種 別 表面形状 厚 さ (mm) 工法種別 ・ 外壁パネル ・ Fフラットパネル ・ 50 ・ 60 ・ A種 ・ D デザインパネル(図示) ・ 50 ・ 60 ・ B種 ・ T タイルベースパネル ・ 60 ・ 間仕切壁パネル ・ Fフラットパネル ・ 50 ・ 60 ・ B種 ・ D デザインパネル(図示) ・ 50 ・ 60 ・ C種 ・ T タイルベースパネル ・ 60 ・ 外壁パネルの工法 耐火圧性能 () (8.5.3) 耐震性能 () ・ 間仕切パネル工法 耐火性能 () (8.5.4) パネルの最小幅 ※300以上 (8.5.3) (8.5.4) 耐火構造以外の目地、隙間の処理 (8.5.3) (8.5.4) ※ パネル製造所の仕様 パネル相互の目地幅 (mm) (8.5.3) (8.5.4) 長幅の目地幅 ・ 10以上 ・ 図示による 短辺の目地幅 ・ 15以上 ・ 図示による 出隅、入隅部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8.5.3) (8.5.4) ※ 15程度（シーリング材を充填） ・ 図示による やむを得ず開口を設ける場合のパネル開口寸法等の限度 (8.5.5) ・ 図示による		
	② 1. アスファルト防水	屋根保護防水防水層の種類 (9.2.2)(9.2.3)（表9.2.3～9.2.6） 種 別 施工箇所 断熱材 [G] 総線用シート 立上り部の保護 ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 (材質) ※ JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材 熱材3種b（スキン層付き） ※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 (厚さ) ・ 25mm 立上り部への断熱シートの設置 ・ 適用する ・ 適用しない	
	③ 屋根露出防水防水層の種類	(9.2.2)(9.2.3)（表9.2.7～9.2.8） 種 別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上塗料の種類 使用量 露出部防水層の適用 [G] ・ D-1 ・ D-2 ・ 製造所の仕様による ・ 製造所の仕様による (材質) ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材とする (種類) ※ 図示 (厚さ) ・ 25mm	
	④ 屋内防水防水層の種類	(9.2.3)（表9.2.9） 種 別 施工箇所 種 別 施工箇所 ・ E-1 ・ E-2 保護層 ・ 設ける (図示) ・ 設けない	
	⑤ 立上り部の保護工法	(9.2.2) ・ 乾式保護材(材料) ・ コンクリート押え ・ モルタル押え(屋内等) ・ レンガ押え(材料等図示による)	
	⑥ 押さえ金物の材質、形状寸法	(9.2.2) ※ アルミニウム製、L-30×15×2.0程度	
	⑦ 防水層の地下モルタル塗り	(9.2.4) ・ 適用する (施工範囲 図示) ・ 適用しない	
	⑧ 防水層下地、立上りコンクリート打放し仕上げの種類	(9.2.4) ・ B種	
	⑨ 平場の保護コンクリートの厚さ	(9.2.5) こて仕上げ ※水下80mm以上 床タイル貼 ※水下60mm以上	
	⑩ 屋上露出防水断熱断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置	(9.2.5) ※ 図示による 立上り部防水層保護方法 ・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え (9.2.5) 屋上排水溝 ・ 設けない ・ 設ける (図示) (9.2.5)	
⑪ 2. 改質アスファルトシート防水	(9.3.2)(9.3.3)（表9.3.1～9.3.3） 防水層の種類 種 別 施工箇所 断熱材 [G] 防湿用シート 仕上塗料の種類 使用量 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 (材質) ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材とする (種類) ※ 図示 (厚さ) ・ 25mm ・ 設ける (改質アスファルト製製造所の仕様による) ・ 設けない		

紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	設計図	検 図	製 図	設計年月 令和7年 1月 (2025年)	図面内容 (仮眠室棟新築) 新築工事 特記仕様書 (1)	縮尺 A1: A3:	図面番号 計画 消防 構造等 省庁連携	建築意匠 A-02

防 水 工 事	3. 合成高分子系ルーフィングシート防水	改質アスファルトシートの種類及び厚さ 標準仕様書表9.3.1-9.3.3による (9.3.2)						
		防水層の種類 (9.4.2-4)(表9.4.1-2)						
		種別	施工箇所					
		・S-F1						
		・S-F2						
		・S-M1						
		・S-M2						
		・S1-F1						
		・S1-F2						
		・S1-M1						
・S1-M2								
防水層の種類(屋内防水) (9.4.2-4)(表9.4.3)								
種別	施工箇所	保/護/層						
・S-C1								
固定金具の材質及び形状 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの (9.4.2)								
断熱工法(S1-M1,S1-M2の場合)の防湿用フィルム (表9.4.2)								
接着工法においてP.Cコンクリート部材下地の目地処理 (9.4.4)								
P.Cコンクリート(S-F1,S1-F1の場合)下地の入隅部の増張り (9.4.4)								
機械式固定工法の場合の一般部ルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 (9.4.4)								
4. 塗膜防水 (9.5.3)(表9.5.1-2)								
種別	施工箇所	仕上塗料	保護層					
・X-1								
・X-2								
・Y-1	地下外壁防水							
・Y-2	屋内防水							
5. ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1-3)(表9.6.1)								
種別	施工箇所	種別	施工箇所					
・C-SU1		・C-SUP						
6. 脱気装置 (9.2.3)(9.3.3)(9.5.3)								
防水種別	脱気装置の種類	設置数量						
D-1 D-2 D-1 D1-2 AS-T3 AS-T4 ASI-T1 ASI-J1	アスファルトルーフィング類及びシート製造所の仕様による	アスファルトルーフィング類及びシート製造所の仕様による						
X-1	防水材の主材料の製造所の仕様による	防水材の主材料の製造所の仕様による						
7. シーリング (9.7.2)(表9.7.1)								
シーリング材の種類、施工箇所 (9.7.2)(表9.7.1)								
下表以外は、標準仕様書(表9.7.1)による。但し、外壁タイル接着剤液りの場合のシーリング材は11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。								
施工箇所	種類(記号)							
シーリング材の目地寸法 (9.7.3)								
箇所	コンクリート打接ぎ目地 ひび割れ誘発目地	ガラス回り 目地	左記以外					
幅(mm)	20mm以上	5mm以上	10mm以上					
深さ(mm)	10mm以上	5mm以上	10mm以上					
8. 防水施工保証書 (9.7.5)								
簡易接着性試験	引張接着性試験(部位)	提出する	提出しない					
10. 石工事								
1. 施工	石材の割付 標準仕様書10.1.3(1)(ア)(イ)による (10.1.3)							
2. 石材	粗面仕上げのみみ部分の仕上げ 標準仕様書10.1.3(2)(ア)による (10.1.3)							
取り付用モルタル、既調合の目地用モルタル、透水性吸水防止剤、石裏面処理剤、裏打ち処理剤、金物の固定に使用する充填材料、専門工事業者の指定する製品 (10.2.1)(表10.2.1-2)								
天然石	施工箇所	石材の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上面	寸法	表面仕上げ	備考
・床石				正方形に近い 地形(1枚の面積が0.5m以下)				
テラゾーブロック (10.2.1)(表10.2.2)								
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上面	寸法	表面仕上げ	備考	
	大理石 ・花こう岩	1.5-12.0	・平もの ・段もの	・片面 ・両面				
試験張り 行う 行わない (11.3.2)								
見本焼き 行う 行わない (11.3.2)								
内装壁タイル接着剤のホルムアルデヒド放散量 F (11.3.3)								

工 事	3. 外壁湿式工法	テラゾータイル (10.2.1)(表10.2.2)								
		施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考			
			大理石 ・花こう岩	1.5-12.0	・300×300 ・400×400					
		石材の厚さ(mm) (10.3.2)								
		石裏面処理 適用する 適用しない (10.3.3)								
		裏打ち処理 適用する 適用しない (10.3.3)								
		下地ごしらえ 適用する 適用しない (10.3.3)								
		受け金物 材質 ステンレス SUS304 (10.2.2)								
		形状および寸法 L・75×75×6の加工(長さ・100mm・150mm)								
		4. 内壁空積工法 (10.4.2)								
石材の厚さ(mm) (10.4.2)										
石裏面処理 適用する 適用しない (10.4.2)										
裏打ち処理 適用する 適用しない (10.4.2)										
下地ごしらえ 適用する 適用しない (10.4.3)										
受け金物 材質 ステンレス SUS304 (10.2.2)										
形状および寸法 L・75×75×6の加工(長さ・100mm・150mm)										
5. 外壁乾式工法 (10.5.2)										
アンカーの材質及び径 SS400 M12 (10.2.2)										
あと施工アンカーの材質及び寸法 (10.5.3)										
目地 一般目地 目地幅 6mm以上 (10.4.3)										
シーリング材 適用する (標準仕様書9.7による) (10.4.3)										
伸縮目地 位置 6mごと (10.4.3)										
シーリング材の目地寸法 幅、深さとも10mm (10.4.3)										
取付け工法 ・スライド方式 ・ロッキング方式 (10.5.2)										
石材の厚さ(mm) (10.5.2)										
石裏面処理 適用する 適用しない (10.5.2)										
裏打ち処理 適用する 適用しない (10.5.3)										
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 (10.5.3)										
アンカーの材質及び径 ステンレス(SUS304) M10 (10.5.3)										
あと施工アンカーの材質及び寸法 (10.5.3)										
目地 目地幅 8mm以上 (10.5.3)										
シーリング材 適用する (標準仕様書9.7による) (10.5.3)										
6. 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)										
石材の厚さ 床 mm 階段 mm (10.6.2)(10.6.3)										
石張りの裏面処理 床 適用する 適用しない (10.6.2)(10.6.3)										
階段 適用する 適用しない (10.6.2)(10.6.3)										
透水性吸水防止剤 床 適用する 適用しない (10.6.2)(10.6.3)										
裏打ち処理 床 適用する 適用しない (10.6.2)(10.6.3)										
目地 一般目地 目地幅(mm) (10.6.2)(10.6.3)										
シーリング材 適用する 適用しない (10.6.2)(10.6.3)										
伸縮調整目地 標準仕様書10.3.3(5)(イ)(b)(c)による (10.6.2)(10.6.3)										
取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 (10.7.2)(10.2.2)										
石材の厚さ mm (10.7.2)(10.2.2)										
石裏面処理 適用する 適用しない (10.7.2)(10.2.2)										
石裏の補強用モルタル 適用する 適用しない (10.7.2)(10.2.2)										
取付け金物、ファスナーの方式 標準仕様書10.2.2.(1)-(3)による (10.7.2)(10.2.2)										
乾式工法の場合の取付け代 70mm程度 (10.7.2)(10.2.2)										
あと施工アンカーの材質及び寸法 (10.7.2)(10.2.2)										
目地 一般目地 目地幅 6mm以上 (10.7.2)(10.2.2)										
伸縮調整目地 位置 床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6mごと、他の部材と取合う箇所 (10.7.2)(10.2.2)										
7. 空木、甲板等の石張り (10.7.2)(10.2.2)										
取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 (10.7.2)(10.2.2)										
石材の厚さ mm (10.7.2)(10.2.2)										
石裏面処理 適用する 適用しない (10.7.2)(10.2.2)										
裏打ち処理 適用する 適用しない (10.7.2)(10.2.2)										
取付け金物、ファスナーの方式 標準仕様書10.2.2.(1)-(3)による (10.7.2)(10.2.2)										
吊金物及び仮称吊ボルト 設ける (10.7.2)(10.2.2)										
あと施工アンカーの材質及び寸法 (10.7.2)(10.2.2)										
目地 一般目地 目地幅 6mm以上 (10.7.2)(10.2.2)										
伸縮調整目地 位置 床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6mごと、他の部材と取合う箇所 (10.7.2)(10.2.2)										
8. アーチ、上げ裏等の石張り (10.7.2)(10.2.2)										
取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 (10.7.2)(10.2.2)										
石材の厚さ mm (10.7.2)(10.2.2)										
石裏面処理 適用する 適用しない (10.7.2)(10.2.2)										
裏打ち処理 適用する 適用しない (10.7.2)(10.2.2)										
取付け金物、ファスナーの方式 標準仕様書10.2.2.(1)-(3)による (10.7.2)(10.2.2)										
吊金物及び仮称吊ボルト 設ける (10.7.2)(10.2.2)										
あと施工アンカーの材質及び寸法 (10.7.2)(10.2.2)										
目地 一般目地 目地幅 6mm以上 (10.7.2)(10.2.2)										
伸縮調整目地 位置 床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6mごと、他の部材と取合う箇所 (10.7.2)(10.2.2)										
9. 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2-4)(11.3.7)										
施工箇所	種類	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐凍害性	備考
試験張り 行う 行わない (11.3.2)										
見本焼き 行う 行わない (11.3.2)										
内装壁タイル接着剤のホルムアルデヒド放散量 F (11.3.3)										

木 工 事	1. 共通事項 2. 施工一般 3. 製材	外装タイルにおける目地詰め 行う 行わない (11.3.3)(11.3.5)			
		目地のシーリング材 (11.3.4)			
		打継目地 ポリウレタン系シーリング材 (11.3.4)			
		ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系シーリング材 (11.3.4)			
		伸縮調整目地・その他の目地 変性シリコン系シーリング材 (11.3.4)			
		下地調整塗材塗りを行うコンクリート茶地面の下地処理方法 (11.3.5)			
		目視し工法 MCR工法 (11.3.5)			
		表面仕上げ (12.1.4)			
		見え係り面の表面仕上げの程度は、プレーナー加工のうえ、超自動機械かんな、サンダー等により、使用箇所、樹種、仕上等に適したものとす。 (12.1.5)			
		継手及び仕口 継手及び仕口が明示されていない場合は、適切な工法を定め、監督院に報告する。 (12.1.5)			
間伐材等の適用 適用する (12.2.1)					
ホルムアルデヒド放散量 標準仕様書12.2.1(ウ)のいずれかによる。 (12.2.1)					
・下地用製材 (12.2.1)(表12.2.1)					
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	備考
		2級	A種 B種	適用する 適用しない	
・造作用製材 (12.2.1)(表12.2.1)					
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	備考
		上小節 1級	A種 B種	適用する 適用しない	
見え係り面 (12.2.1)(表12.2.1)					
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	備考
		小節以上 1級	A種 B種	適用する 適用しない	
見え係り面以外 (12.2.1)(表12.2.1)					
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	備考
		1等	10%以下 A種 B種	適用する 適用しない	
・広葉樹製材 (12.2.1)(表12.2.1)					
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	備考
		1等	10%以下 A種 B種	適用する 適用しない	
・製材の日本農林規格以外の製材 (12.2.1)(12.3.2)(表12.21)(表12.2.2)					
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	備考
		(A種・B種)	適用する 適用しない	A種 B種	
・造作用集材等 (12.2.1)					
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付材面数	見付け材面の品質
					1等・2等
・造作用集材 (12.2.1)					
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質
					1等・2等
・化粧ばり造作用集材 (12.2.1)					
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質
					1等・2等
・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材 (12.2.1)					
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	
				15%以下	
・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材 (12.2.1)					
施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
					15%以下
・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集材 (12.2.1)					
施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	防虫処理	
			有(加工:天然木化粧加工・塗装加工) 無(等級:1等・2等・3等)	適用する 適用しない	
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2)					
施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	防虫処理	
			有(加工:天然木化粧加工・塗装加工) 無(等級:1等・2等・3等)	適用する 適用しない	

木 工 事	6. 直交集成板 7. 合板等	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 (12.2.1)(12.3.2)						
		施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	含水率	防虫処理		
				有(加工:天然木化粧加工・塗装加工) 無(等級:1等・2等・3等)	14%以下	適用する 適用しない		
		・CLT(直交集成板) (12.2.1)						
		施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)
								図示
		下地用合板 普通合板 (12.2.1)						
		施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	表面の品質	防虫処理
				5.5		1類 2類	広葉樹 針葉樹	2等以上 1等 C-D以上
		・構造用合板 (12.2.1)						
施工箇所	品名	等級	単板の樹種名	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	
		2級以上 1級		C-D以上	12	適用する 適用しない	適用する 適用しない	
接着の程度 常温湿潤状態となる場所での使用 その他の場合 1類以上 (12.2.1)(12.3.2)								
・化粧ばり構造用合板 (12.2.1)(12.3.2)								
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理			
				1類 特類	適用する 適用しない			
・天然木化粧合板 (12.2.1)(12.3.2)								
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				
			1類 2類	適用する 適用しない				
・特殊加工化粧合板 (12.2.1)(12.3.2)								
施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理		
			1類 2類		オーバーレイ プリント 塗装	適用する 適用しない		
・パーティクルボード (12.2.1)								
施工箇所	表面の状況による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)			
		・13947	WR1又はWR2タイプ		15			
・構造用パネル (12.2.1)								
施工箇所	品名	厚さ(mm)						
・メディアムデンシティーファイバーボード(MDF) (12.2.1)								
施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分			
造作材の化粧面の釘打ち 適用する(隠し釘打ち) (12.2.2)								
鎌金物の形状、寸法及び材質 標準仕様書12.2.2(ア)による (12.2.2)(表12.2.3-表12.2.5)								
接着剤(木れんが用接着剤を含む)のホルムアルデヒド放散量 F (12.3.1)								
・防腐・防蟻処理を省略できる製材 (12.3.1)								
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)								
適用部材 保存処理性能区分 (12.3.1)								
・K2 ・K3 ・K4 (12.3.1)								
・薬剤の塗布による防腐・防蟻処理 (12.3.1)								
適用部材 処理の方法 薬剤の種類 (12.3.1)								
・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)								
適用部位: () (12.3.1)								
・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)								
適用部位: () (12.3.1)								
・間仕切に用いる木材 杉又は松 (12.4.1)								
・床組に用いる木材 杉又は松 (12.4.1)								
・窓、出入口、その他に用いる木材 杉又は松 (12.5.1)								
・吊元栓、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 (12.6.1)								
・縁甲板及び上りかまちに用いる木材 ひのき (12.6.1)								
・壁及び天井に用いる木材 杉又は松 (12.7.1)								

1. 長尺金属板葺

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性の種類 めっき付着量等	葺板の寸法 厚さ (mm)	屋根蓋形式	備考
	JIS G 3322 屋根用コイル			・立平蓋 ・瓦棟蓋 (心水なし) ・横蓋	

下葺材料
・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
(・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ)

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による
横置の場合のケラバ納め ・つかみ込み納め ・けらば包み納め
雪止め ・設置する (施工箇所 ・ 図示)

2. 折板葺

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分 山高 山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板
屋根	はげぬり型 ○ 図示		(・) 種	鋼板製		・有 ・無し

材質の種類: ()
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号: ()
断熱材 ・ 無し (種別: 厚さ (mm): 防火性能: 時間)
○ 無し

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による
積雪荷重に対応した工法 ・ 適用する (・ 図示) ・ 適用しない
折板のけらば納め けらば包みによる方法

3. 粘土瓦葺

施工箇所	種類	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
							・適用する ・適用しない

JAS A 5208 に基づく凍害試験 ・ 行う ・ 行わない
瓦葺木 材質 杉
寸法 幅 21×高さ 15 (mm) 以上
棟補強用心材 材質 杉
寸法 幅 40×高さ 30 (mm) 以上
瓦葺結用釘又はねじの種類 径 長さ
棟補強に使用する金物等 材質 ・ スチール製 ・ 亜鉛めっき処理鋼製
形状 ・ 寸法 ・ 留付け方法 図示

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力又は地震力に対応した瓦の葺き方法などの工法
風圧力 ・ 図示による
地震力 ・ 図示による
瓦葺結用釘又はねじの有効長さの最小値 () mm
瓦葺木の留付け工法 ・ 図示による
棟の工法 ・ 7寸丸伏せ棟又は F 型用冠瓦伏せ棟
・ のし積み棟
面戸、雀口、葺士の露出する瓦接合部に仕上をする場合
・ モルタルによる ・ 瓦葺き用しゅいによる

材料
といの材質 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ○ 図示 (表 13.5.1)
・ 表面処理鋼板 (・ 表面及び裏面の塗装の種類: ・ 耐酸被覆鋼管)

とい受金物 (13.5.2)
とい受金物の在来、経常、取り付け間隔
標準仕様書 表 13.5.2 による
足金物の材質、形状、取り付け金物
標準仕様書 表 13.5.2 による
多雪地域の場合の軒といの取付け間隔 0.5m 以下 ・ 図示による

5. ルーフドレイン

JCW 301 によるルーフドレインの種類及び呼び	種類	呼び	施工箇所
・ ろく屋根用たて形 I 型	ねじ込み式		
・ ろく屋根用構形 I 型	ねじ込み式		
・ パルコニー中継用	・ ねじ込み式 ・ 差し込み式		
・ パルコニー用	・ ねじ込み式 ・ 差し込み式		

3. 軽量鉄骨 天井下地

野縁等の種類 (14.4.2)(表 14.4.1)
屋外 25 型 ・ 19 型 屋内 19 型 ・ 25 型
屋外の場合の形式及び寸法 (14.4.3)
野縁の形式及びボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離
野縁の間隔 ・ 図示による
野縁の間隔 ・ 図示による

工法 (14.4.4)
・ 吊ボルト間隔が 900mm を超える場合の補強方法 ・ 図示
・ 天井のふところ高が 3.0m を超える場合 ・ 図示
・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所、補強方法 ・ 図示による
・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧を考慮した補強
補強箇所、補強方法 ・ 図示による

4. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 (14.5.3)(表 14.5.1)
標準仕様書 表 14.5.3 によるスタッド高さによる区分に応じた種類 ・ 図示
スタッドの高さが 5m を超える場合 図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
標準仕様書 表 14.5.4. (5) による ・ 図示による

5. 金属成形板張り

種別	製法	形状	寸法 (mm)	板厚 (mm)	表面処理
	・ 押し出し ・ ロール	・ スパン ・ ドレル形	・ 図示	・ 図示	種別 色調
アルミニウム	・ プレス ・ パネル形				

取付用下地 標準仕様書 14.4 による ・ 図示 (14.6.3)
伸縮調整継手 ・ 設ける (施工箇所 ・ 図示による)
・ 設けない

6. アルミニウム製笠木

部材の種類 (14.7.2)(表 14.7.1)
・ 250 形 ・ 300 形 ・ 350 形
上記以外 形 (最小肉厚 mm)

表面処理 種別 () 種 (14.7.2)(表 14.2.1)
色合等 ・ 標準色 ()
・ 特注色 ()

7. インサート

笠木の固定金具の工法等 (14.7.3)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による

床面で断熱材打込み部分は断熱材用インサートとする

1. 下地

ラス系下地の種類 (15.2.4)
・ 通気構造 (・ 半層下地 ・ 二層下地)
・ 直張り工法 (・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地)
・ 外断熱工法で断熱材の外側に野縁を施工する通気構造を行う場合 (・ 図示による)

ラス材及び補強用プラス
材料記号 (K)
種類及び単価面積当たりの質量
・ 二層下地通気構造 (・ 波形ラス (#700) ・ コボラス (#800) ・ 力骨付ラス (#P700))
・ 半層下地通気構造 (・ リプラス (#RC800) にターボン紙などの覆打材と一体化したラス)
ラスシートの山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分
LS4 (耐力壁の場合)
建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合のラスシートの施工 ・ 図示による

こまい下地 建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・ あり ・ なし (15.2.6)
材料 ○ 現場調査材料 ・ 既調査材料 (15.3.2)

既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (図示)
・ 設けない

床目地 ・ 設ける (工法: 押し目地) ・ 設けない (15.3.5)

外装タイル張り下地のモルタル塗り及び下地調整塗料塗りの接着力試験 (15.3.5)
・ 適用する ・ 適用しない

3. セルフレベリング材塗り

種類 ・ セッコウ系 ・ セメント系 (15.5.2)(表 15.5.1)
品質 表 15.5.1 による

4. 仕上塗材

ホルムアルデヒド放散量 F (15.5.2)

仕上塗材の種類 (15.6.2)(表 15.6.1)(表 15.6.2)

種類	呼び名	防火材料	吸放湿性	仕上げの形状及び工法等
・ 薄付け 仕上塗材	・ 外装薄塗材 S i ・ 可とう形外装薄塗材 S i ・ 外装薄塗材 E ・ 可とう形外装薄塗材 E ・ 防水形外装薄塗材 E ・ 外装薄塗材 S	・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない	・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない	形状 A 砂壁状 B ゆず肌状 C きざ波状 D 平たん状 E 凹凸状 F 着色骨材砂壁状 G 砂壁状じゅうらく H 京壁状じゅうらく
・ 厚付け 仕上塗材	・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 S i ・ 外装厚塗材 E ・ 内装厚塗材 C ・ 内装厚塗材 L ・ 内装厚塗材 G ・ 内装厚塗材 S i ・ 内装厚塗材 E	・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない	・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない	工法 A 吹付 B ローラー塗り C こて塗り
・ 厚付け 仕上塗材	・ 外装厚塗材 C ・ 外装厚塗材 S i ・ 外装厚塗材 E	・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない	・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない	形状 A 吹放し B 凹凸処理 C 平たん状 D 凹凸状 E ひき起こし F かき落とし
・ 厚付け 仕上塗材	・ 内装厚塗材 C ・ 内装厚塗材 L ・ 内装厚塗材 G ・ 内装厚塗材 S i ・ 内装厚塗材 E	・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない	・ 適用する ・ しない ・ 適用する ・ しない	工法 A 吹付 B ローラー塗り C こて塗り

外装厚塗材 C における上塗材がセメントスタッコ以外の場合 ()
外装厚塗材 S i、外装厚塗材 E における上塗材の適用
・ 適用する ・ 適用しない

5. マスチック塗材塗り

6. しゅい塗り

7. こまい壁塗り

8. ロックウール吹付け

1. 一般事項

防火戸
建具表による (16.1.3) (16.1.4) (16.1.6)
・ 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等

建具見本の製作 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない
特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない
防犯建物部品の適用 ・ 適用する (建具表による) ・ 適用しない

外部に面する建具 (30) 系及び鉄骨下地 (16.2.2)(表 16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号
・ A 種	S - 4		W - 4	建具表による
・ B 種	S - 5	A - 3	W - 4	建具表による
・ C 種	S - 6	A - 4	W - 5	建具表による

外部に面する建具 (木下地) (16.2.2)(表 16.2.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	建具符号
・ D 種	S - 2		W - 3	建具表による
・ E 種	S - 3	A - 3	W - 3	建具表による

防音ドア、防音サッシ
・ 遮音性の等級 () 建具符号 建具表による (16.2.2)
断熱セツト、断熱サッシ (G) 建具符号 建具表による (16.2.2)
・ 断熱性の等級 () 建具符号 建具表による (16.2.3)

網戸等 (16.2.3)

種類	材 種	線 径	網 目
○ 防虫網	合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	0.25 以上	16 - 18メッシュ
・ 防鳥網	・ ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm

建具の特 見込み寸法 建具表による (16.2.2) (16.2.4) (16.2.5)
表面処理 外部に面する建具 種類 ・ B B - 1 種 ・ B B - 2 種
着色 (○ 標準色 ・ 特注色)
屋内の建具 種類 ・ B C - 1 種 ・ B C - 2 種
着色 (○ 標準色 ・ 特注色)

結露水の処理方法 図示 (16.2.4)
水切り板、せん板 図示 (16.2.5)
木下地の内付け建具 ・ 適用する (建具製造所の仕様) ・ 適用しない (16.2.5)

外部に面する建具 (16.3.2)(表 16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み寸法
・ A 種	S - 4		W - 4	建具表による
・ B 種	S - 5	A - 4	W - 5	建具表による
・ C 種	S - 6	A - 4	W - 5	建具表による

外部に面する建具 (木下地) (16.3.2)(表 16.3.2)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み寸法
・ D 種	S - 2		W - 3	建具表による
・ E 種	S - 3	A - 4	W - 3	建具表による

防音ドア、防音サッシ
・ 遮音性の等級 (・ T - 1 ・ T - 2) (16.3.2)
断熱セツト、断熱サッシ (G) 断熱性の等級 () (16.3.3)
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ()
表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 (16.3.4)
水切り板、せん板 図示 (16.3.4)
木下地の内付け建具 ・ 適用する (建具製造所の仕様) ・ 適用しない (16.3.4)

性能等級 (建具符号は建具表による) (16.4.2 - 3) (表 16.4.1) (表 16.2.1)
簡易気密型ドアセツト ・ 適用する (標準仕様書 表 16.4.1 による)
・ 適用しない

外部に面する建具の耐風圧性 ・ 耐風圧性 (・ S - 4 ・ S - 5 ・ S - 6)
耐震ドアとする場合 ・ 面内変形追随性の等級 ()
防音ドア、防音サッシ ・ 遮音性の等級 ()
断熱セツト、断熱サッシ (G) ・ 断熱性の等級 ()
点検口等のかつずりの材料 ・ 鋼板 ・ ステンレス (16.4.3)
鋼板厚さ 標準仕様書 表 16.5.1 による (16.4.4)
標準型鋼製建具の有効内法寸法 (表 16.4.5 による) (16.4.6)
・ 適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表による)

5. 鋼製軽量建具

性能等級 (建具符号は建具表による) (16.5.2)(16.5.3)(表 16.2.1)
簡易気密型ドアセツトの気密性等級 ・ 適用する (A - 3) ・ 適用しない
耐震ドアとする場合 ・ 面内変形追随性の等級 ()
防音ドア、防音サッシとする場合 ・ 遮音性の等級 ()
断熱ドア、断熱サッシとする場合 (G) ・ 断熱性の等級 ()
網板類 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板
召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 (16.5.4)
網板厚さ 標準仕様書 表 16.5.1 による ・ 図示による (16.5.4)
標準型鋼製軽量建具の有効内法寸法 (表 16.4.5 による) (16.5.6)
・ 適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表による)

6. ステンレス製建具

性能等級 (建具符号は建具表による) (16.6.2)(16.6.3)(16.4.2)
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級 ・ 建具表による
外部に面する建具の耐風圧性 (表 16.2.1 による) ・ S - 4 ・ S - 5 ・ S - 6
耐震ドアとする場合 ・ 面内変形追随性の等級 ()
防音セツト、防音サッシとする場合 ・ 遮音性の等級 ()
防音ドア、防音サッシとする場合 ・ 遮音性の等級 ()
断熱ドア、断熱サッシとする場合 (G) ・ 断熱性の等級 ()

ステンレス鋼板 SUS304、430J1L 又は SUS443J1 (16.6.3)
表面仕上げ H L 仕上げ ・ 鏡面仕上げ (16.6.4)
ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16.6.5)

建具材の加工、組立時の含水率 A 種 ・ 5 種 (16.7.2)
表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 F (16.7.2)
枠、かつずりの材料 ○ 建具表による (16.7.2)
○ フラッシュ材料 ○ 建具表による (16.7.2) (表 16.7.2)

表面材の合板の種類 (16.7.2) (表 16.7.2)

合板の種類	表面材の品質等
・ 普通合板 (G)	接着の程度 水掛り箇所 1 類、その他 2 類以上 表面の品質 広葉樹 1 等
・ 天然木化粧合板 (G)	接着の程度 水掛り箇所 1 類、その他 2 類以上
・ 特殊加工化粧合板 (G)	

表面材のホルムアルデヒド放散量 標準仕様書 表 16.7.2 (a) による (16.7.3)
正面板の厚さ 標準仕様書 表 16.7.6 による (16.7.3)
引戸の定規線 ・ 召し合せかまちをいれろけとする (16.7.2) (16.7.3) (表 16.7.4)

かまち戸
かまち樹種 () 鏡板樹種 ()
見込み寸法 36mm ・ 建具表による (16.7.2) (表 16.7.3) (16.7.3) (表 16.7.7) (表 16.7.10)
種別、工法 ・ 型 ・ 型
上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁 (雑地) ・ 生地縁 (ウレタンリキヤール塗装)
見込み寸法 19.5mm ・ 建具表による (16.7.2) (16.7.3) (16.7.4) (表 16.7.7)
・ 戸ふすま
表面材の種類、品質等 ()
戸ふすまの見込み寸法 30mm ・ 建具表による (16.7.3) (表 16.7.7)
紙張り障子
見込み寸法 30mm ・ 建具表による (16.7.3) (表 16.7.7)

8. 建具金物

金物の種類 ・ 見え掛り部の材質等 (16.8.2)
標準仕様書 表 16.8.1 及び適用 (備考欄の特記事項とも) は建具表による
金製建具に使用する丁番 標準仕様書 表 16.8.2 による
樹脂製建具に使用する丁番 標準仕様書 表 16.8.3 による
木製建具に使用する丁番、戸車、レール 標準仕様書 表 16.8.4 - 5 による
掘り玉、レバハンドル、押板類、クレセントの取り付け位置 建具表による (16.8.3)

9. 鍵

マスターキー ○ 製作する ・ 製作しない (16.8.4)
鍵筒 有 ・ 無

10. 自動ドア開閉装置 (16.9.2)(16.9.3)

自動ドア	性能値	防錆	開閉方式	凍結防止
・ SSL-1			・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー	・ 行う
・ SSL-2	標準仕様書 表 16.9.1 による	・ 適用する	・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ	(使用箇所は) 建具表による
・ DSL-1		・ 適用しない	・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ 車椅子使用者用 便所スイッチ	・ 行わない
・ DSL-2				

戸の開閉方式 建具表による
車椅子使用者便所スイッチ ・ 大型 (開) 押しスイッチ ・ 非接触スイッチ (16.10.3)
性能 標準仕様書 表 16.10.1 による ・ 図示による

11. 自閉式上り引き戸装置

12. 重量シャッター (16.11.2)

シャッターの種類
・ 管理用シャッター
・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () Pa
・ 屋内用防火シャッター
・ 防護シャッター

開閉機能による種類 電動式 (手動併用) ・ 手動式 (表 (16.11.1) (16.11.2))
安全装置 (急降下制装置又は急降下停止装置) の設置箇所 建具表による (16.11.2)
急降下制装置又は急降下停止装置 建具表による
障害物感知装置の設置箇所 建具表による
危害防止機構の設置箇所 建具表による

管理用シャッターのシャッターケース 図示 ・ 設けない (16.11.2)
スラット及びシャッターケース用鋼板 めっき付着量 Z12 又は F12 (16.11.3)
・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)
・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)

13. 軽量シャッター (16.12.2)(表 16.12.1)

開閉形式 手動式 ・ 電動式 (手動併用) (16.12.2)(表 16.12.1)
耐風圧強度 () Pa
電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 建具表による (16.12.3) (16.12.4)
スラット 材質 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
・ JIS 3322 (塗装溶融 55% アルミニウム - 亜鉛めっき鋼板)
形状 ・ インターロック形 ・ オーバーヘッド形

14. オーバーヘッド

区分 ・ 材料	セクション材料による区分	耐風圧 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
ステールタイプ	・ 125	バランス式	・ スタンダード形	溶融亜鉛めっき	
アルミニウムタイプ	・ 100	・ チェーン式	・ ローヘッド形	鋼材	
・ ファイバークラスタイプ	・ 75	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ ステンレス鋼板	
	・ 60		・ パーチカル形		

・ 電動式の場合の障害物感知装置は建具表による

特記仕様書に記載無き名称、種類、品質、厚さ、組合せ等は図示 (建具表) による
・ 合せガラス (16.14.2)

品 種	構成種類	落球衝撃はく離特性、30JH 衝撃特性
	建具表による	・ 類 ・ - 1 類 ・ - 2 類 ・ 類

・ 強化ガラス (16.14.2)

材料板ガラスによる種類	種 類	破片の種類、30JH 衝撃特性
・ フロートガラス	・ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス	・ 類 ・ 類
・ 型板ガラス	・ 型板強化ガラス	

1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理 (14.2.1)(表 14.2.1)

種 別	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)
・ AB - 1 種		
・ AB - 2 種		
・ AC - 1 種		
・ AC - 2 種		
・ BA - 1 種		
・ BA - 2 種		
・ BB - 1 種		
・ BB - 2 種		
・ BC - 1 種		
・ BC - 2 種		
・ C 種		

・ 常温乾燥形の塗装の場合 ()
陽極酸化被膜の着色方法 二次電解着色 ・ 三次電解着色 (14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)
・ 溶融亜鉛めっき	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	
・ 電気亜鉛めっき	・ D 種 ・ E 種 ・ F 種	

2. 鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理 (14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種 別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)
・ 溶融亜鉛めっき	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種	
・ 電気亜鉛めっき	・ D 種 ・ E 種 ・ F 種	

3. 樹脂製建具

4. 鋼製建具

15. ガラス

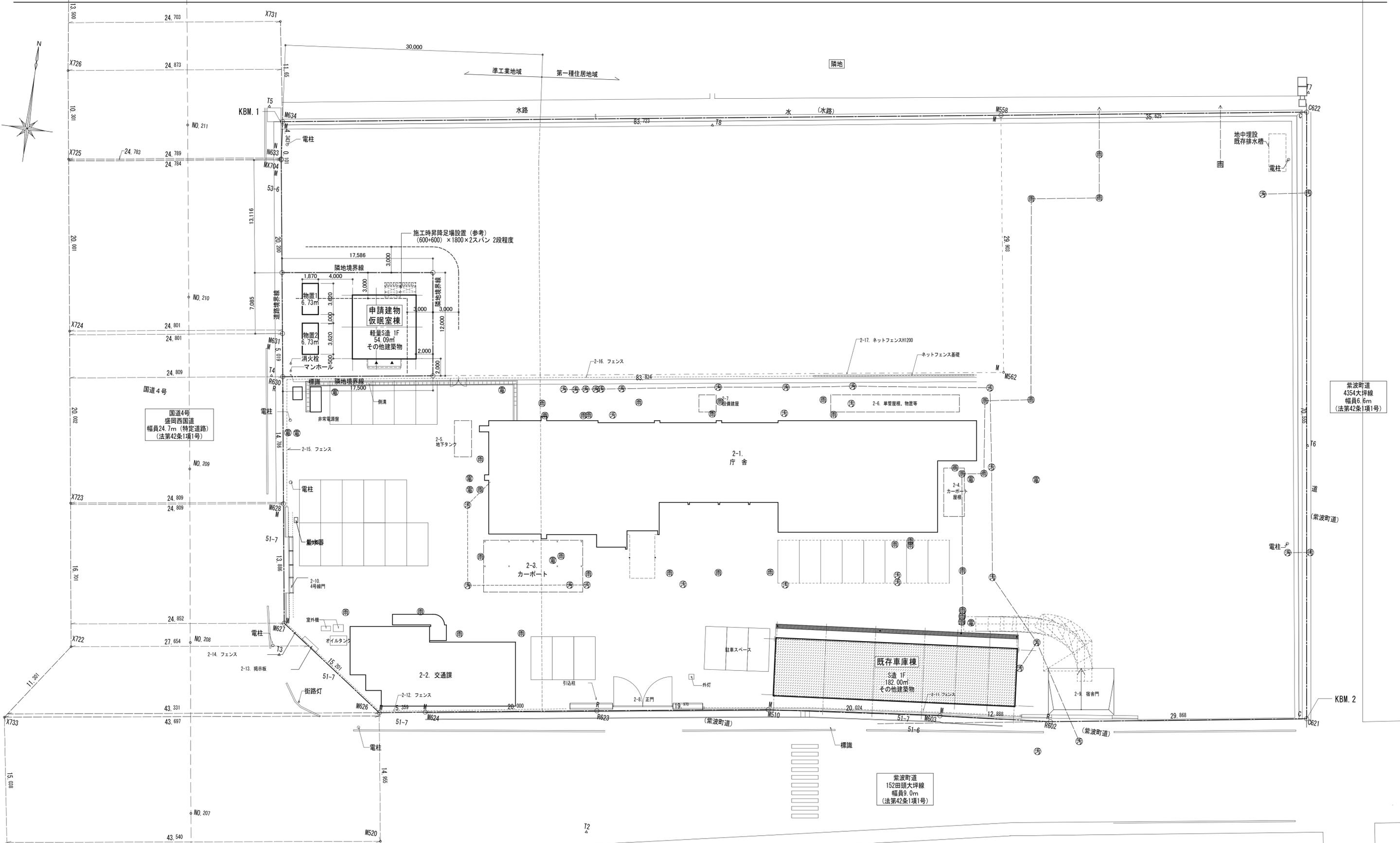
② ユニット 及び その他 工事	1. フリーアクセスフロア	(20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>仕上り高(mm)</th> <th>寸法</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上げ材</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・支柱調整式 ・直敷式</td> <td></td> <td>・500×500</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> </tr> </table>	施工箇所	構法	仕上り高(mm)	寸法	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材		・支柱調整式 ・直敷式		・500×500	・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット															
	施工箇所	構法	仕上り高(mm)	寸法	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材																									
		・支柱調整式 ・直敷式		・500×500	・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																									
	2. 可動間仕切	(20.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>構造形式</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性能 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>スタッド パネル</td> <td>・メラミン樹脂積層又は アクリル樹脂積層 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> </tr> </table>	材料等	構造形式	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性能 (db/500Hz)		・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・メラミン樹脂積層又は アクリル樹脂積層 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36																			
	材料等	構造形式	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性能 (db/500Hz)																											
		・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・メラミン樹脂積層又は アクリル樹脂積層 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36																											
	3. 移動間仕切	(20.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>操作方式</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性能 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table>	材料等	操作方式	パネル表面材	遮音性能 (db/500Hz)		・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																					
	材料等	操作方式	パネル表面材	遮音性能 (db/500Hz)																												
		・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																												
	4. トイレブース	(20.2.5)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>パネル表面材の材質</th> <th>脚部の種類</th> <th>ドアエッジの材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ ・支柱タイプ</td> <td>※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table>	材料等	パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質		・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・支柱タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																					
材料等	パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質																													
	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・支柱タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																													
5. 手すり	(20.2.6)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・集成材</td> <td>・クリアラッカー</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ステンレスパイプ</td> <td>・HL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・鋼製パイプ</td> <td>・E-P-G ・SOP</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ビニル製ハンドルレール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材料等	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考		・集成材	・クリアラッカー	・35 ・45				・ステンレスパイプ	・HL					・鋼製パイプ	・E-P-G ・SOP					・ビニル製ハンドルレール				
材料等	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																											
	・集成材	・クリアラッカー	・35 ・45																													
	・ステンレスパイプ	・HL																														
	・鋼製パイプ	・E-P-G ・SOP																														
	・ビニル製ハンドルレール																															
6. 階段滑り止め	(20.2.7)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>取付工法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ステンレス製(SUS304) ・黄銅製 ・アルミニウム製押出型材</td> <td>・ひも形 ・タイヤ型</td> <td></td> <td>※接着工法 ・埋込工法</td> </tr> </table>	材料等	材質	形状	寸法(mm)	取付工法		・ステンレス製(SUS304) ・黄銅製 ・アルミニウム製押出型材	・ひも形 ・タイヤ型		※接着工法 ・埋込工法																				
材料等	材質	形状	寸法(mm)	取付工法																												
	・ステンレス製(SUS304) ・黄銅製 ・アルミニウム製押出型材	・ひも形 ・タイヤ型		※接着工法 ・埋込工法																												
7. 黒板及びホワイトボード	(20.2.9)	<table border="1"> <tr> <th>黒板の種類</th> <th>区分</th> <th>寸法</th> <th>色彩</th> <th>特記</th> </tr> <tr> <td>・鋼製 ・ほうろう</td> <td>※焼付け</td> <td>※図示</td> <td>※緑 ・黒</td> <td></td> </tr> </table>	黒板の種類	区分	寸法	色彩	特記	・鋼製 ・ほうろう	※焼付け	※図示	※緑 ・黒																					
黒板の種類	区分	寸法	色彩	特記																												
・鋼製 ・ほうろう	※焼付け	※図示	※緑 ・黒																													
8. 鏡	(20.2.10)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>寸法・形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・衝突防止表示</td> <td>・ステンレス製</td> <td>・30φ</td> <td>・市販品</td> <td>・両面・片面</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・室名札</td> <td>・アクリル板</td> <td>・図示</td> <td>・5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ピクトグラフ</td> <td>・アクリル板</td> <td>・図示</td> <td>・5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・案内板</td> <td>・アクリル板</td> <td>・図示</td> <td>・5</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	区分	材質	寸法・形状	厚さ(mm)	備考		・衝突防止表示	・ステンレス製	・30φ	・市販品	・両面・片面		・室名札	・アクリル板	・図示	・5			・ピクトグラフ	・アクリル板	・図示	・5			・案内板	・アクリル板	・図示	・5	
材料等	区分	材質	寸法・形状	厚さ(mm)	備考																											
	・衝突防止表示	・ステンレス製	・30φ	・市販品	・両面・片面																											
	・室名札	・アクリル板	・図示	・5																												
	・ピクトグラフ	・アクリル板	・図示	・5																												
	・案内板	・アクリル板	・図示	・5																												
9. 表示	(20.2.11)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>寸法・形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・衝突防止表示</td> <td>・ステンレス製</td> <td>・30φ</td> <td>・市販品</td> <td>・両面・片面</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・室名札</td> <td>・アクリル板</td> <td>・図示</td> <td>・5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ピクトグラフ</td> <td>・アクリル板</td> <td>・図示</td> <td>・5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・案内板</td> <td>・アクリル板</td> <td>・図示</td> <td>・5</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	区分	材質	寸法・形状	厚さ(mm)	備考		・衝突防止表示	・ステンレス製	・30φ	・市販品	・両面・片面		・室名札	・アクリル板	・図示	・5			・ピクトグラフ	・アクリル板	・図示	・5			・案内板	・アクリル板	・図示	・5	
材料等	区分	材質	寸法・形状	厚さ(mm)	備考																											
	・衝突防止表示	・ステンレス製	・30φ	・市販品	・両面・片面																											
	・室名札	・アクリル板	・図示	・5																												
	・ピクトグラフ	・アクリル板	・図示	・5																												
	・案内板	・アクリル板	・図示	・5																												
10. タラップ	(20.2.12)	<table border="1"> <tr> <th>材料の種類</th> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>寸法・形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>※ステンレス製(SUS304)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材料の種類	区分	材質	寸法・形状	厚さ(mm)	備考	・鋼製	※ステンレス製(SUS304)																						
材料の種類	区分	材質	寸法・形状	厚さ(mm)	備考																											
・鋼製	※ステンレス製(SUS304)																															
11. 煙突ライニング	(20.2.13)	<table border="1"> <tr> <th>材料の種類</th> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>寸法・形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>※ステンレス製(SUS304)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材料の種類	区分	材質	寸法・形状	厚さ(mm)	備考	・鋼製	※ステンレス製(SUS304)																						
材料の種類	区分	材質	寸法・形状	厚さ(mm)	備考																											
・鋼製	※ステンレス製(SUS304)																															
② ブラインド	(20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラット等の材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○横型</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>スラット ※アルミニウム合金製 ヘッドボックス ※鋼製 ボトムレス ※鋼製</td> <td>※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・縦型</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>スラット ・アルミスラット ・クロススラット</td> <td></td> <td>開閉方式 ・片開き ・両開き</td> </tr> </table>	材料等	形式	種類	スラット等の材質	スラット幅(mm)	備考		○横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	スラット ※アルミニウム合金製 ヘッドボックス ※鋼製 ボトムレス ※鋼製	※25			・縦型	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	スラット ・アルミスラット ・クロススラット		開閉方式 ・片開き ・両開き												
材料等	形式	種類	スラット等の材質	スラット幅(mm)	備考																											
	○横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	スラット ※アルミニウム合金製 ヘッドボックス ※鋼製 ボトムレス ※鋼製	※25																												
	・縦型	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	スラット ・アルミスラット ・クロススラット		開閉方式 ・片開き ・両開き																											

② ユニット 及び その他 工事	13. ロールスクリーン	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>品質</th> <th>操作方法</th> <th>幅・高さ</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ポリエステル</td> <td></td> <td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料等	材質	品質	操作方法	幅・高さ	取付箇所		・ポリエステル		・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式		・図示		
	材料等	材質	品質	操作方法	幅・高さ	取付箇所											
		・ポリエステル		・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式		・図示											
	14. カーテン	(20.2.16)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質 特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・つまみひだ(三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質 特殊加工等	取付箇所	備考		・シングル ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ(三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ		・図示	
	材料等	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質 特殊加工等	取付箇所	備考										
		・シングル ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ(三つ山ひだ、二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ		・図示											
	15. カーテンレール	(20.2.16)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>レール及びブラケットの強さによる区分</th> <th>レールの材料による区分</th> <th>レールの仕上げ</th> <th>レールの形状</th> <th>レールの付属物</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※10-90</td> <td>※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成形品 ・ステンレス製</td> <td>※アルマイト</td> <td>※角型</td> <td>フック(ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製</td> </tr> </table>	材料等	レール及びブラケットの強さによる区分	レールの材料による区分	レールの仕上げ	レールの形状	レールの付属物		※10-90	※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成形品 ・ステンレス製	※アルマイト	※角型	フック(ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製		
	材料等	レール及びブラケットの強さによる区分	レールの材料による区分	レールの仕上げ	レールの形状	レールの付属物											
		※10-90	※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成形品 ・ステンレス製	※アルマイト	※角型	フック(ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製											
	16. ブラインドボックス及びカーテンボックス	(20.2.16)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>集成材(仕上)</th> <th>アルミニウム製 押出し形材(市販品)</th> <th>種類</th> <th>寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・BC-1種 ・BC-2種</td> <td>・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×180</td> </tr> </table>	材料等	材質	集成材(仕上)	アルミニウム製 押出し形材(市販品)	種類	寸法					・BC-1種 ・BC-2種	・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×180		
材料等	材質	集成材(仕上)	アルミニウム製 押出し形材(市販品)	種類	寸法												
				・BC-1種 ・BC-2種	・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×180												
17. プレキャストコンクリート	(20.3.2)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>補強鉄線の径及び網目寸法</td> <td>・図示による</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材料等	種類	寸法	形状	備考		補強鉄線の径及び網目寸法	・図示による							
材料等	種類	寸法	形状	備考													
	補強鉄線の径及び網目寸法	・図示による															
18. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	(20.3.4)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td></td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	材質	種類	質量区分	備考		・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—			・コンクリート間知ブロック		・A ・B	
材料等	材質	種類	質量区分	備考													
	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—														
	・コンクリート間知ブロック		・A ・B														
② 点検口	(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス鋼製 ・鋼製</td> <td>○一般型 ○屋内用</td> <td>○450×450 ・600×600</td> <td>・一般型 ・屋内外用 ・目地タイプ</td> <td>・目地タイプ</td> </tr> </table>	材料等	材質	種類	寸法	形状	備考		・アルミニウム製 ・ステンレス鋼製 ・鋼製	○一般型 ○屋内用	○450×450 ・600×600	・一般型 ・屋内外用 ・目地タイプ	・目地タイプ			
材料等	材質	種類	寸法	形状	備考												
	・アルミニウム製 ・ステンレス鋼製 ・鋼製	○一般型 ○屋内用	○450×450 ・600×600	・一般型 ・屋内外用 ・目地タイプ	・目地タイプ												
20. 耐震スリット	(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・垂直方向 ・水平方向</td> <td>・完全(全貫通型) ・部分</td> <td>・耐火型 ・非耐火型</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考		・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・部分	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し				
材料等	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考												
	・垂直方向 ・水平方向	・完全(全貫通型) ・部分	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し													
21. エキスパンションジョイント金物	(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>クリヤランス(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50 ・100 ・150</td> <td>・有り() ・無し</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	材質	クリヤランス(mm)	耐火性能	備考		・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り() ・無し						
材料等	材質	クリヤランス(mm)	耐火性能	備考													
	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り() ・無し														
22. 止水版	(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>形式</th> <th>寸法</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・差込式 ・据置式 ・壁張り式</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材料等	形式	寸法	形状	備考			・差込式 ・据置式 ・壁張り式							
材料等	形式	寸法	形状	備考													
		・差込式 ・据置式 ・壁張り式															
23. くつみきマット	(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>受枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	材質	受枠	備考		・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金								
材料等	材質	受枠	備考														
	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金															
24. 旗竿及び旗竿受金物	(20.4.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>旗竿受金物</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・旗竿受金物</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	材質	旗竿受金物	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考		・アルミニウム合金製	・旗竿受金物		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		
材料等	材質	旗竿受金物	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考											
	・アルミニウム合金製	・旗竿受金物		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式												

② ユニット 及び その他 工事	25. 流し台ユニット	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・流し台</td> <td>W: 1200, 1500, 1800 D: 550, 600, 650 H: 800, 850</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・コンロ台</td> <td>・600 ・550 ・600 ・650</td> <td>・620 ・670</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・吊戸棚</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・450 ・700</td> <td>・500 ・700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>市販品 ステンレス製 一段式</td> </tr> </table>	材料等	材質	寸法(mm)	備考		・流し台	W: 1200, 1500, 1800 D: 550, 600, 650 H: 800, 850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製		・コンロ台	・600 ・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製		・吊戸棚	・1200 ・900	・450 ・700	・500 ・700	市販品		・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 一段式
	材料等	材質	寸法(mm)	備考																								
		・流し台	W: 1200, 1500, 1800 D: 550, 600, 650 H: 800, 850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																								
		・コンロ台	・600 ・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																							
		・吊戸棚	・1200 ・900	・450 ・700	・500 ・700	市販品																						
		・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 一段式																						
	26. 車止め支柱	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>品質・性能</th> <th>形状</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS A 4420による</td> <td>※図示による</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	品質・性能	形状	高さ(mm)		JIS A 4420による	※図示による																		
	材料等	品質・性能	形状	高さ(mm)																								
		JIS A 4420による	※図示による																									
	27. フェンス	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>フェンスの種類</th> <th>高さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス</td> <td>※図示による</td> </tr> </table>	材料等	フェンスの種類	高さ		・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス	※図示による																			
材料等	フェンスの種類	高さ																										
	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス	※図示による																										
28. 鋼製書架及び物品棚	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>耐荷重による種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	材料等	種類	規格等	耐荷重による種類		・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																		
材料等	種類	規格等	耐荷重による種類																									
	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																									
29. 屋内掲示板	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>枠の材質</th> <th>表面の材質</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※アルミニウム製</td> <td>※塩化ビニルシート張り</td> </tr> </table>	材料等	枠の材質	表面の材質		※アルミニウム製	※塩化ビニルシート張り																				
材料等	枠の材質	表面の材質																										
	※アルミニウム製	※塩化ビニルシート張り																										
30. 洗面カウンター	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>材質</th> <th>寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材)</td> <td>・約450 ・約600</td> </tr> </table>	材料等	材質	寸法		・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材)	・約450 ・約600																				
材料等	材質	寸法																										
	・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材)	・約450 ・約600																										
31. 防煙垂れ壁	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>固定式</th> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※網入り磨き板ガラス ・網入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ枠付き</td> </tr> </table>	材料等	固定式	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考		※網入り磨き板ガラス ・網入り磨き板ガラス		※6.8	※500	アルミ枠付き														
材料等	固定式	材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考																							
	※網入り磨き板ガラス ・網入り磨き板ガラス		※6.8	※500	アルミ枠付き																							
32. 収納家具	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・垂直降下式(巻取り型) ・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式(壁埋込み型) 表面仕上げ ※天井張り</td> </tr> </table>	材料等	種類	材質	高さ(mm)	備考		・垂直降下式(巻取り型) ・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込み型) 表面仕上げ ※天井張り																
材料等	種類	材質	高さ(mm)	備考																								
	・垂直降下式(巻取り型) ・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	ガイドレール ※固定式(壁埋込み型) 表面仕上げ ※天井張り																								
33. 屋外掲示板	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>照明器具</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※有り ・無し</td> <td></td> </tr> </table>	材料等	照明器具	備考		※有り ・無し																					
材料等	照明器具	備考																										
	※有り ・無し																											
34. 敷地境界石標	(20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>材料等</th> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※コンクリートブロック製(市販品) ・花こう岩類(文字記号等入り)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材料等	種類	寸法	形状	備考		※コンクリートブロック製(市販品) ・花こう岩類(文字記号等入り)																			
材料等	種類	寸法	形状	備考																								
	※コンクリートブロック製(市販品) ・花こう岩類(文字記号等入り)																											

② 舗装 工事	2. 街きよ、緑石及び側溝	(21.3.1)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>形状・寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝蓋</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料	種類	形状・寸法		・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝蓋	・図示
	材料	種類	形状・寸法						
		・緑石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝蓋	・図示						
	1. 路床	(22.1.3)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・盛土 ・凍上抑制層</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料	種類	厚さ(mm)		・盛土 ・凍上抑制層	・図示
	材料	種類	厚さ(mm)						
		・盛土 ・凍上抑制層	・図示						
	2. 路盤	(22.3.2)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※再生クラッシュラン</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料	種類	厚さ(mm)		※再生クラッシュラン	・図示
	材料	種類	厚さ(mm)						
		※再生クラッシュラン	・図示						
	3. アスファルト舗装	(22.4.2)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・再生アスファルト</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料	種類	厚さ(mm)		・再生アスファルト	・図示
材料	種類	厚さ(mm)							
	・再生アスファルト	・図示							
4. コンクリート舗装	(22.5.2)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・コンクリート</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料	種類	厚さ(mm)		・コンクリート	・図示	
材料	種類	厚さ(mm)							
	・コンクリート	・図示							
5. カラー舗装	(22.6.2)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・カラー舗装</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料	種類	厚さ(mm)		・カラー舗装	・図示	
材料	種類	厚さ(mm)							
	・カラー舗装	・図示							
6. 透水性アスファルト舗装	(22.7.2)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・透水性アスファルト</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料	種類	厚さ(mm)		・透水性アスファルト	・図示	
材料	種類	厚さ(mm)							
	・透水性アスファルト	・図示							
7. ブロック舗装	(22.8.2)	<table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ブロック舗装</td> <td>・図示</td> </tr> </table>	材料	種類	厚さ(mm)		・ブロック舗装	・図示	
材料	種類	厚さ(mm)							
	・ブロック舗装	・図示							

22-2 舗装工事 ⑧砂利敷き 9.路面標示用塗料	<p>・ 舗石舗装 (22.8.2) (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>割付け</th> <th>基層 (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ 小舗石 (花こう岩)</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 80</td> <td>・ 図示</td> <td>・ コンクリート版 ・ アスファルト混合物</td> <td>・ 70 ・ 50</td> </tr> </table> <p>クッション材 砂 ・ 空練りモルタル (22.8.2) 仕上りの平坦性 歩行に支障のないものとし、舗石間の段差3mm以内とする (22.8.2)</p> <p>種別 (22.9.2) (表22.9.1) ・ 通路 A種 ・ 図示による ○ 建物周囲その他 B種 ・ 図示による</p> <p>路面標示用塗料はJIS K 5665による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>3種1号</td> <td>溶融</td> <td>粉体状</td> <td>・ 白</td> <td>・ 150</td> <td>・ 1.0</td> </tr> <tr> <td>・ 1種 [G]</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>・ 100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 2種 [G]</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>[G] 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p>	種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	割付け	基層 (mm)	・ 小舗石 (花こう岩)	・ 図示	・ 80	・ 図示	・ コンクリート版 ・ アスファルト混合物	・ 70 ・ 50	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	3種1号	溶融	粉体状	・ 白	・ 150	・ 1.0	・ 1種 [G]	常温	液状	・	・ 100	・	・ 2種 [G]	加熱					23-2 植栽工事																									
	種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	割付け	基層 (mm)																																																									
・ 小舗石 (花こう岩)	・ 図示	・ 80	・ 図示	・ コンクリート版 ・ アスファルト混合物	・ 70 ・ 50																																																									
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																									
3種1号	溶融	粉体状	・ 白	・ 150	・ 1.0																																																									
・ 1種 [G]	常温	液状	・	・ 100	・																																																									
・ 2種 [G]	加熱																																																													
23 植栽工事	<p>1. 植栽地の確認等 土壌の水素イオン濃度指標 (pH) 試験 ・ 行う ・ 行わない (23.1.3) 電気伝導度 (EC) の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>2. 植栽基礎の整備 整備内容 (23.2.2) (表23.2.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>・ 土壌改良材</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ 樹木</td> <td>A種</td> <td>樹高12m以上</td> <td>・ 葉張り部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>(100 ・ 120 ・ 150)</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>樹高7m以上 - 12m未満</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D種</td> <td>(80 ・ 100)</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 芝、地被類</td> <td rowspan="2">B種</td> <td>樹高3m以上 - 7m未満</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(60 ・ 80)</td> <td>・ 植栽部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m未満</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(50 ・ 60)</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>植栽基礎の排水設備 (23.2.2) (暗きよ、開きよ、排水層縦穴排水等) ・ 設ける (図示) ・ 設けない</p> <p>3. 植込み用土 ・ 現場発生土の改良土 ・ 客土 (23.2.3)</p> <p>4. 土壌改良材 種類、指定量 (23.2.3) (22.2.4) ・ パーク堆肥 [G] 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基礎面積 1㎡あたり (・ 50 L)</p> <p>・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) [G] 施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基礎面積 1㎡あたり (・ 10 L)</p> <p>5. 植樹 樹木 樹種、寸法、株立数等 ・ 図示による ・ (23.3.2) 刈込みものの適用 ・ 適用する (数量 :) ・ 適用しない</p> <p>支柱 支柱の種類 丸太 (間伐材) [G] ・ 真竹 (23.3.2) 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 ・ 形式 ・ 添え柱形 ・ 扇形 ・ 八つ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ガイヤ掛け形 ・ 地下埋設形</p> <p>幹巻き用材料 幹巻き用テープ ・ わら、こも (23.3.4) (23.4.7)</p> <p>新植、移植樹木、芝等の枯保証 新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯保証の期間 引渡の日から1年 ・ 無し (23.3.6) 移植樹木の枯損処置を行う期間 引渡の日から1年 ・ 無し</p> <p>6. 芝、吹付けは種地被類 芝 種類 コウライシバ ・ ノシバ (23.4.2~3) 芝張りの工法 (平地) 目地張り ・ べた張り (法面) ・ 目地張り ・ べた張り</p> <p>吹付けは種 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>種子の量 (g/㎡)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 地被類 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>植物の樹種</th> <th>芽立数</th> <th>径</th> <th>単位面積当たりの株数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7. 屋上緑化 [G] 植栽基礎及び材料 (23.5.2) ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示による 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ :) ・ 板状成形品 植込み用土 改良土 ・ 人工軽量土</p> <p>・ 屋上緑化軽量システム 耐根層、耐根層保護層、排水層、透水層及び土壌層等植栽基礎工法 システム製造所の仕様による</p> <p>樹木、芝及び地被類 (23.5.3) 樹種、寸法、株立数等 ・ 図示による 刈込みものの適用 ・ 適用する (数量 :) ・ 適用しない</p> <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 (23.5.3) ・ 図示による</p> <p>工法 (23.5.4) 平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法 ・ 図示による</p> <p>支柱 ・ 設置する (形式 ・ 図示) かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ 図示)</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	・ 土壌改良材	・ 樹木	A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分	・ 適用する	B種	(100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない	C種	樹高7m以上 - 12m未満	・ 図示		D種	(80 ・ 100)	・		・ 芝、地被類	B種	樹高3m以上 - 7m未満	・		(60 ・ 80)	・ 植栽部分	・ 適用する			樹高3m未満	・ 図示	・ 適用しない			(50 ・ 60)	・		種子の種類	種子の量 (g/㎡)	備考	洋芝類 (採取後2年以内)						植物の樹種	芽立数	径	単位面積当たりの株数								
植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	・ 土壌改良材																																																										
・ 樹木	A種	樹高12m以上	・ 葉張り部分	・ 適用する																																																										
	B種	(100 ・ 120 ・ 150)	・ 植栽部分	・ 適用しない																																																										
	C種	樹高7m以上 - 12m未満	・ 図示																																																											
	D種	(80 ・ 100)	・																																																											
・ 芝、地被類	B種	樹高3m以上 - 7m未満	・																																																											
		(60 ・ 80)	・ 植栽部分	・ 適用する																																																										
		樹高3m未満	・ 図示	・ 適用しない																																																										
		(50 ・ 60)	・																																																											
種子の種類	種子の量 (g/㎡)	備考																																																												
洋芝類 (採取後2年以内)																																																														
植物の樹種	芽立数	径	単位面積当たりの株数																																																											



国道4号
盛岡西国道
幅員24.7m (特定道路)
(法第42条1項1号)

紫波町道
4354大坪線
幅員6.0m
(法第42条1項1号)

紫波町道
152田頭大坪線
幅員9.0m
(法第42条1項1号)

- 接道距離 (東側国道4号線)
- 全体敷地 ... 13.886+14.786+5.019+20.200+0.101+4.343=58.335 → 58.33m
 - 庁舎棟ほか敷地 ... 58.335-5.019-7.085 =46.231 → 46.23m
 - 仮居室棟敷地 ... 5.019+7.085 =12.104 → 12.10m

紫波警察署桜町宿舍解体ほか工事	設計図			検図	製図	設計年月	図面内容	縮尺	建築意匠 A-09
						令和7年1月 (2025年)	(仮居室棟新築) 配置図	A1: 1/200 A3: 1/400	

境界確認図

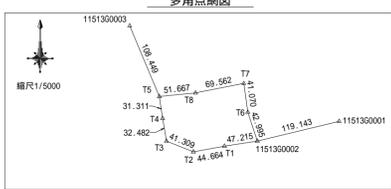
紫波郡紫波町桜町字大坪

求積表					
地番	Xn	Yn	X	X x Yn	距離
51-2					
C622	-50047.142	28881.005	-64.553	-1864355.515765	70.555
C621	-50117.013	28890.809	-74.362	-2148378.338858	29.868
R602	-50121.504	28861.280	-5.884	-161565.445440	12.888
M603	-50122.611	28848.439	-3.186	-91911.126654	20.024
M510	-50124.690	28828.523	-4.982	-143623.701586	19.970
R623	-50127.593	28808.765	-5.832	-168012.717480	20.000
M624	-50130.522	28788.980	-3.748	-107901.097040	5.359
M626	-50131.341	28783.683	7.953	228916.630899	15.201
M627	-50122.569	28771.268	22.638	651323.964984	14.001
X702	-50108.703	28769.328	28.396	816933.837888	14.671
X701	-50094.173	28767.295	26.673	767310.058535	83.824
M562	-50082.030	28850.235	41.713	120049.855555	29.903
M558	-50052.460	28845.779	34.888	1006371.537752	35.625
			倍面積	-11462.059210	
			面積	5731.02 m ²	
			坪数	1733.63 坪	

地番	Xn	Yn	X	X x Yn	距離
51-8					
M627	-50122.569	28771.268	-0.127	-3653.951036	13.886
M628	-50108.830	28769.252	28.370	816183.679240	14.786
R630	-50094.199	28767.115	14.657	421639.604555	0.181
X701	-50094.173	28767.295	-14.504	-417240.846880	14.671
X702	-50108.703	28769.328	-28.396	-816933.837888	14.001
			倍面積	-5.351809	
			面積	2.67 m ²	
			坪数	0.80 坪	

地番	Xn	Yn	X	X x Yn	距離
53-1					
M634	-50064.828	28762.974	16.689	480025.273086	83.723
M558	-50052.460	28845.779	-17.202	-496205.090358	29.903
M562	-50082.030	28850.235	-41.713	-1203429.852555	83.824
X701	-50094.173	28767.295	-6.884	-198034.058780	5.321
X705	-50088.914	28766.480	25.024	719852.395520	20.000
M633	-50069.149	28763.419	24.086	692795.710034	4.343
			倍面積	-4995.623053	
			面積	2497.81 m ²	
			坪数	755.58 坪	

地番	Xn	Yn	X	X x Yn	距離
53-7					
M630	-50094.199	28767.115	4.940	142109.548100	5.019
R631	-50089.233	28766.382	24.950	717721.230900	20.200
MX704	-50069.249	28763.434	20.084	577884.808456	0.101
M633	-50069.149	28763.419	-19.665	-565832.634635	20.000
X705	-50088.914	28766.480	-26.024	-719852.395520	5.321
X701	-50094.173	28767.295	-5.285	-152035.154075	0.181
			倍面積	-4.596774	
			面積	2.29 m ²	
			坪数	0.69 坪	

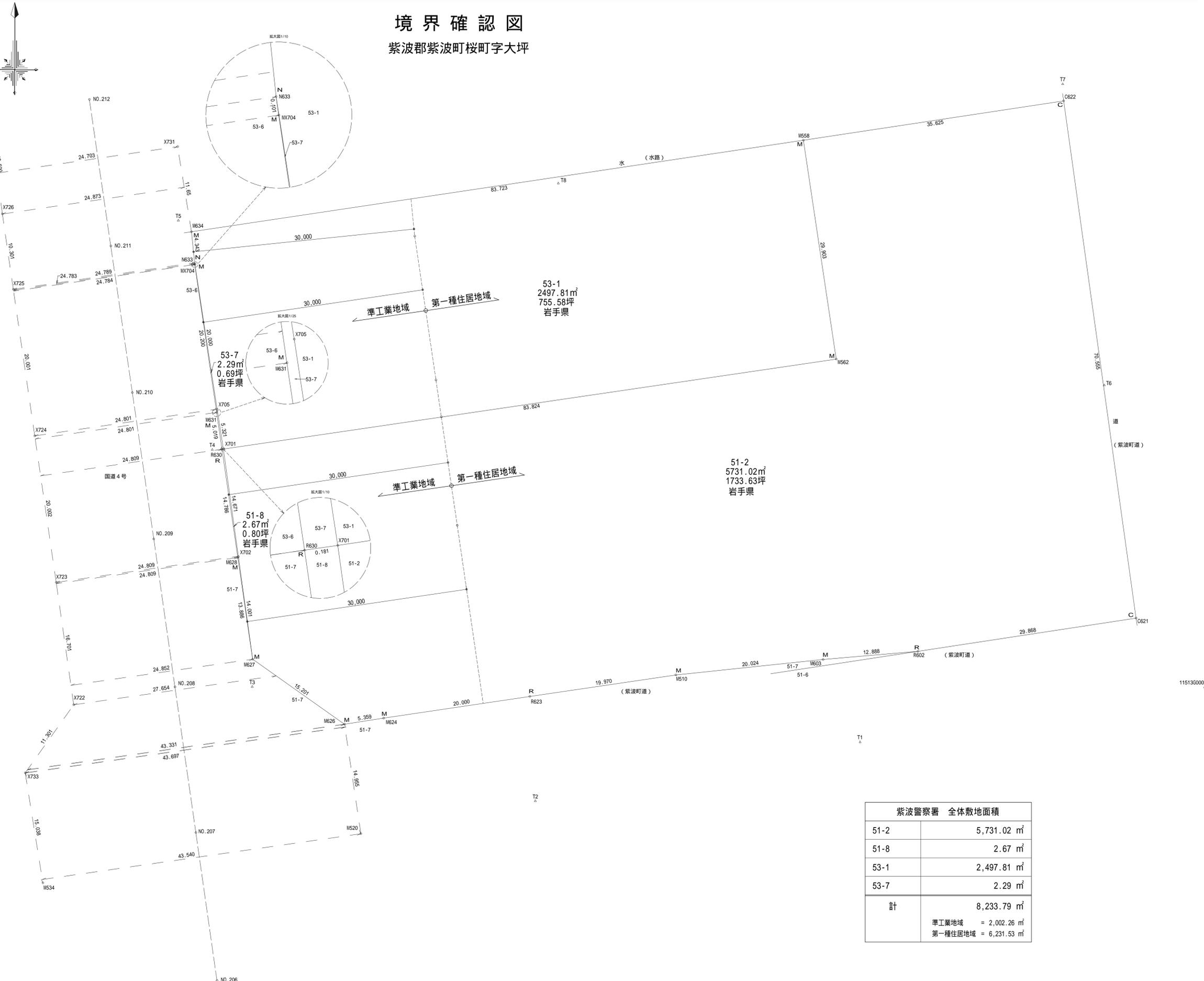


基準点測量年月日：令和5年7月7日 世界測地系（測地成果 2011）
 一筆地測量年月日：令和5年8月10日 平面直角座標系の番号又は記号：

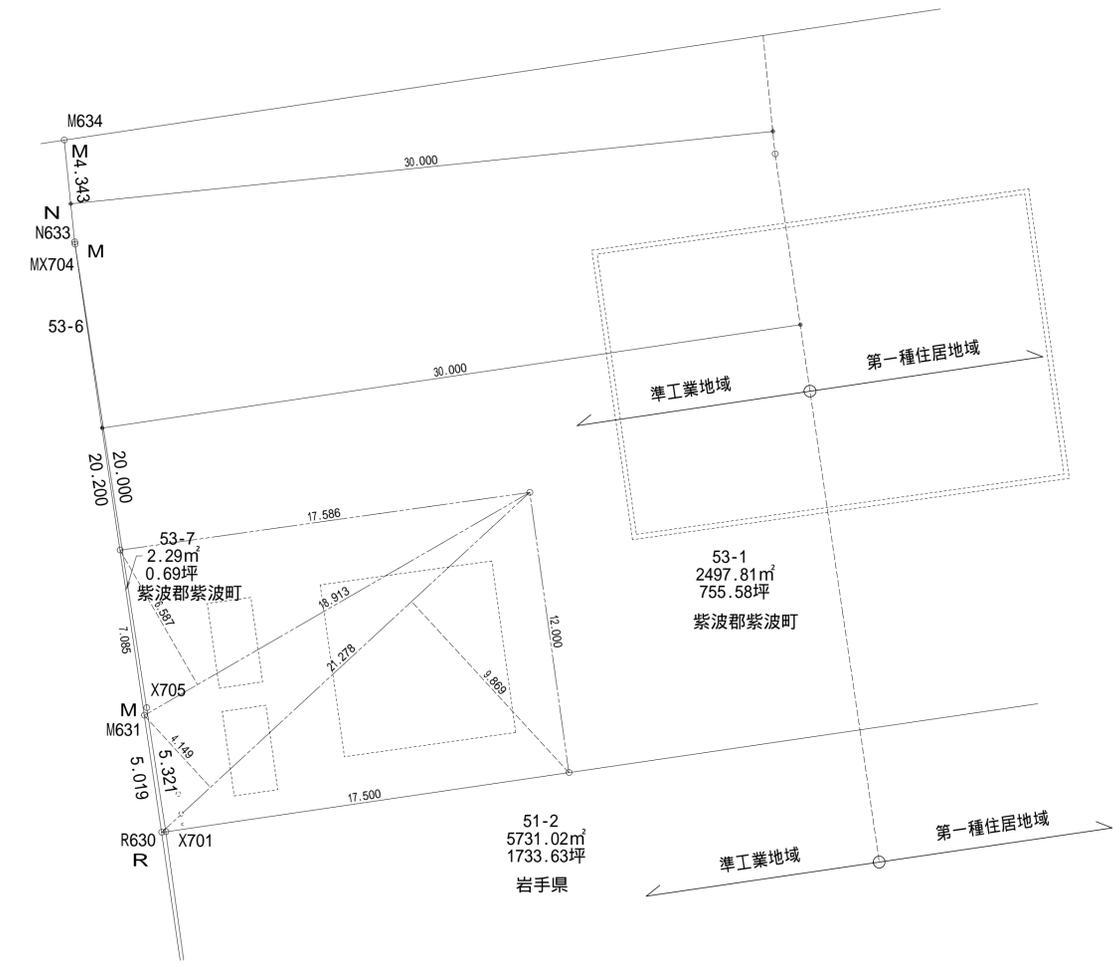
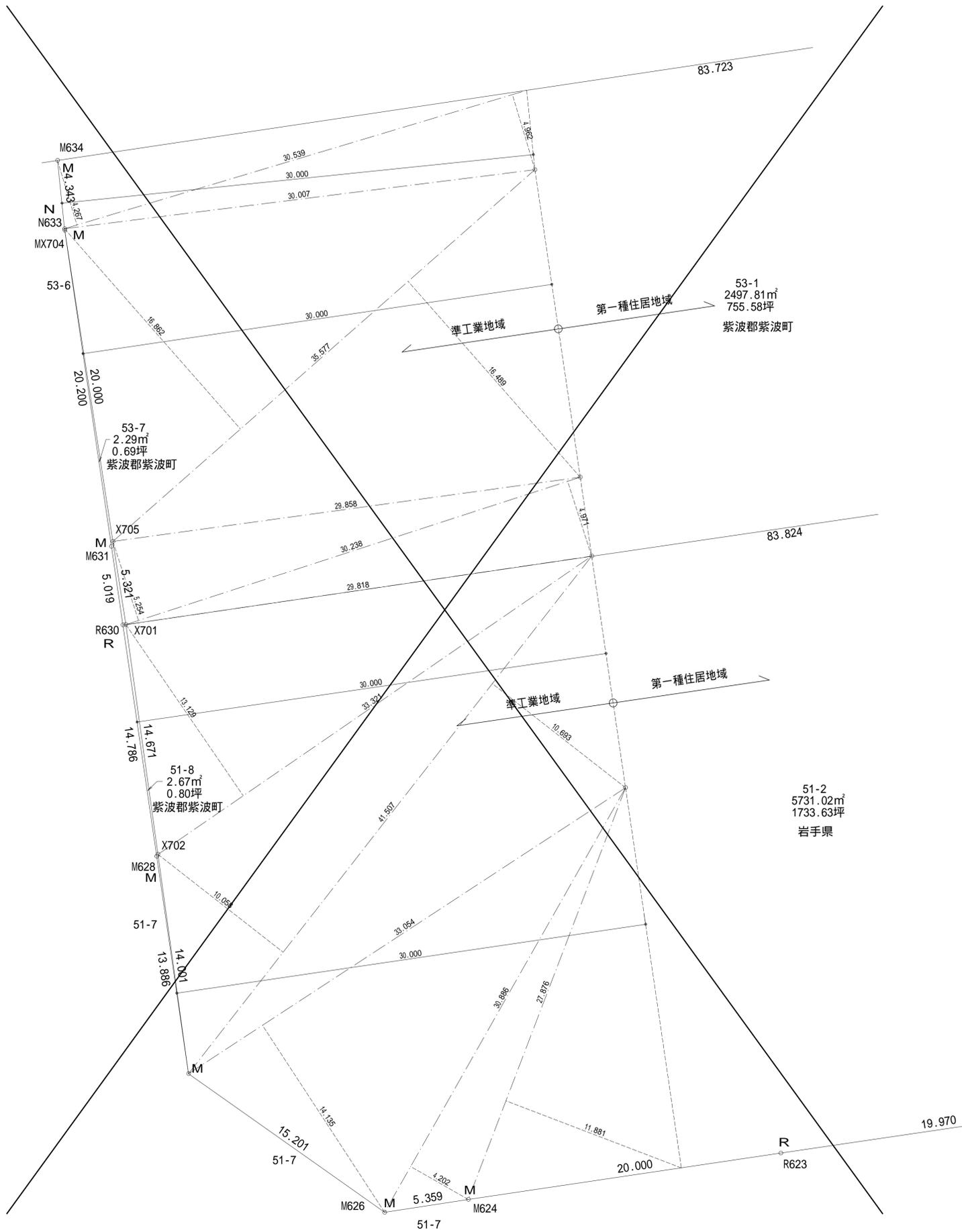
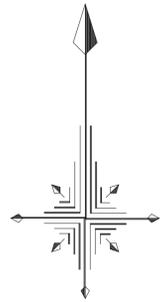
点名	X座標	Y座標	備考
321107	-52977.898	29709.092	1級登記基準点
321110	-47575.479	30671.197	1級登記基準点
1151350001	-50098.328	29015.892	3級登記基準点
1151350002	-50126.346	28900.090	3級登記基準点
1151350003	-49893.327	28719.151	3級登記基準点
T1	-50133.750	28853.459	多角点
T2	-50141.725	28809.512	多角点
T3	-50126.295	28771.192	多角点
T4	-50094.264	28765.794	多角点
T5	-50063.291	28761.204	多角点
T6	-50085.553	28886.505	多角点
T7	-50044.869	28880.885	多角点
T8	-50058.282	28812.628	多角点

点名	X座標	Y座標	備考
C622	-50047.142	28881.005	コンクリート杭（新設）
C621	-50117.013	28890.809	コンクリート杭（既存）
R602	-50121.504	28861.280	金属標（新設）
M603	-50122.611	28848.439	金属標（新設）
M510	-50124.690	28828.523	金属標（新設）
R623	-50127.593	28808.765	金属標（新設）
M624	-50130.522	28788.980	金属標（新設）
M626	-50131.341	28783.683	金属標（新設）
M627	-50122.569	28771.268	金属標（新設）
X702	-50108.703	28769.328	計算点
X701	-50094.173	28767.295	計算点
M562	-50082.030	28850.235	金属標（新設）
M558	-50052.460	28845.779	金属標（新設）
M634	-50064.828	28762.974	金属標（新設）
X705	-50088.914	28766.480	計算点
M633	-50069.149	28763.419	鉄杵（新設）
M628	-50108.830	28769.252	金属標（新設）
R630	-50094.199	28767.115	金属標（新設）
M631	-50089.233	28766.382	金属標（新設）
MX704	-50069.249	28763.434	金属標（新設）
NO.206	-50165.981	28786.439	境界付標識センター（設置上）
NO.207	-50145.985	28763.568	境界付標識センター（設置上）
NO.208	-50126.313	28760.743	境界付標識センター（設置上）
NO.209	-50106.332	28757.873	境界付標識センター（設置上）
NO.210	-50086.551	28754.973	境界付標識センター（設置上）
NO.211	-50066.748	28752.069	境界付標識センター（設置上）
NO.212	-50046.946	28749.166	境界付標識センター（設置上）
X722	-50128.726	28747.045	境界付標識板（設置上）
X723	-50112.194	28744.671	境界付標識板（設置上）
X724	-50092.402	28741.790	境界付標識板（設置上）
X725	-50072.612	28738.978	境界付標識板（設置上）
X726	-50062.419	28737.384	境界付標識板（設置上）
X727	-50049.034	28735.620	境界付標識板（設置上）
X731	-50063.322	28761.100	境界付標識板（設置上）
X733	-50137.929	28740.486	境界付標識板（設置上）
M520	-50146.132	28765.897	金属標（新設）
M526	-50158.144	28776.675	金属標（新設）
M534	-50152.777	28742.872	金属標（新設）

境界点	境界標の種類
N	鉄 杵
P	プラスチック杭
C	コンクリート杭
M	金属標
R	金属標板



紫波警察署 全体敷地面積	
51-2	5,731.02 m ²
51-8	2.67 m ²
53-1	2,497.81 m ²
53-7	2.29 m ²
計	8,233.79 m ²
	準工業地域 = 2,002.26 m ²
	第一種住居地域 = 6,231.53 m ²



~~準工業地域用地~~

27.876	x	11.881	=	331.194756
30.886	x	4.202	=	129.782972
33.054	x	14.135	=	467.218290
41.507	x	10.693	=	443.834351
41.907	x	10.058	=	417.477406
33.321	x	13.129	=	437.471409
30.238	x	4.971	=	150.313098
30.238	x	5.254	=	158.870452
35.577	x	16.489	=	586.629153
35.577	x	16.862	=	599.899374
30.539	x	4.962	=	151.534518
30.539	x	4.267	=	130.309913
倍面積				4,004.535692
面積				2,002.267846
準工業地域 用地面積				2,002.26 m ²

~~第一種住居地域用地~~

8,233.79	-	2,002.26	=	6,231.53
第一種住居地域 用地面積				6,231.53 m ²

仮眠室棟 敷地面積

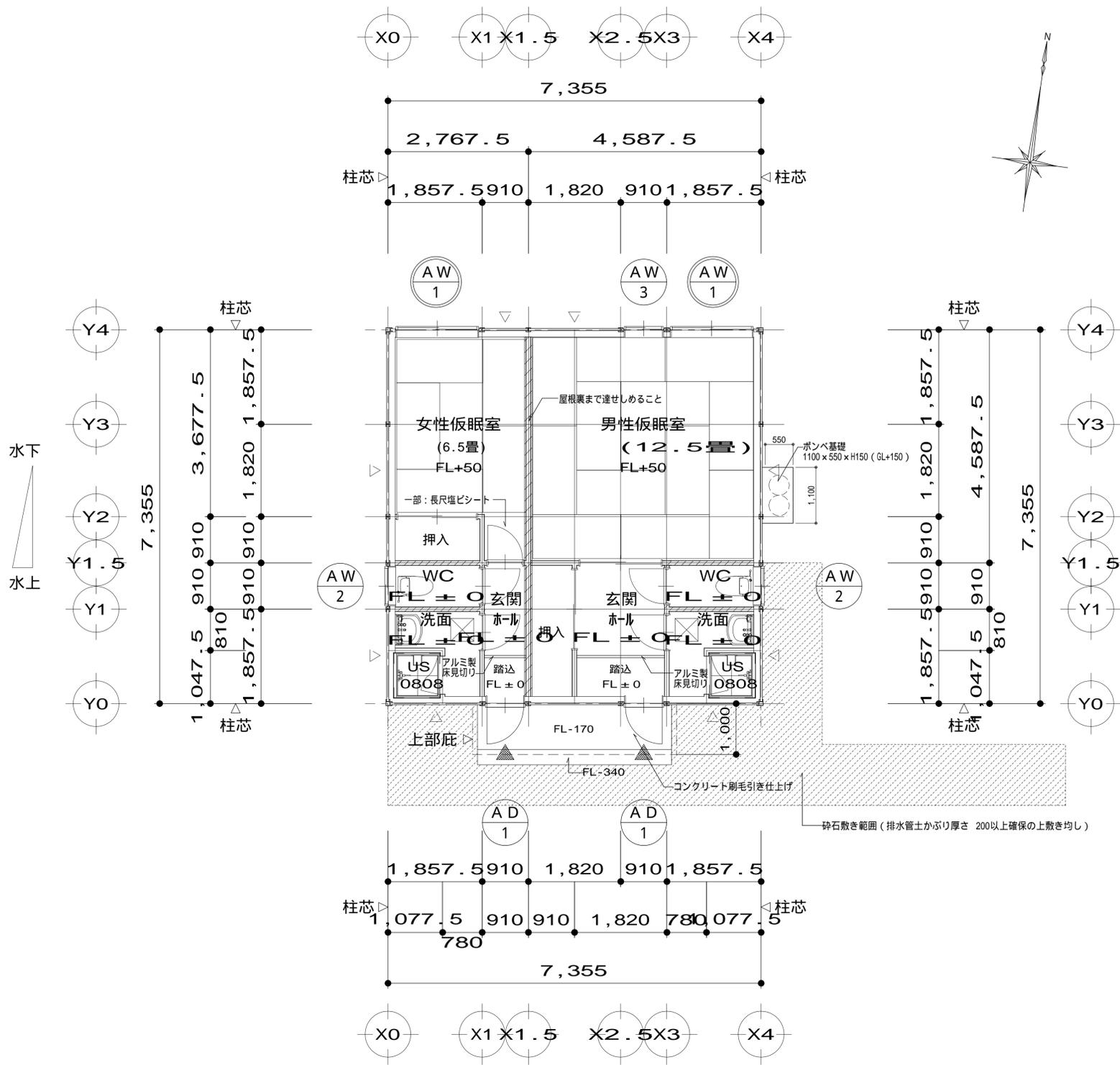
21.278	x	9.869	=	209.992582
21.278	x	4.149	=	88.282422
18.913	x	6.587	=	124.579931
倍面積				422.854935
面積				211.427468
仮眠室棟 敷地面積				211.42 m ²

~~庁舎棟等新築 敷地面積~~

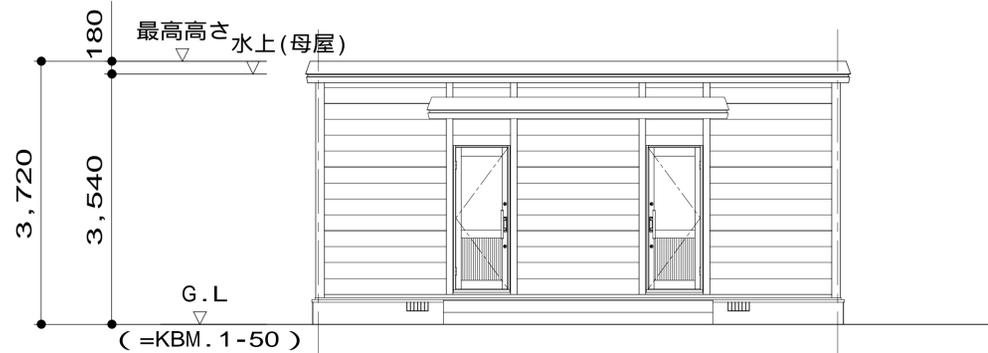
2,002.26	-	211.42	=	1,790.84
1,790.84	x	6,231.53	=	8,022.37
庁舎棟等新築 敷地面積				8,022.37 m ²
(準工業地域 用地面積)				1,790.84 m ²
(第一種住居地域 用地面積)				6,231.53 m ²

設計概要										
一般事項	工事名称	紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事			地域指定	用途地域			その他指定	
	工事場所	紫波郡紫波町桜町字大坪53番1の一部、53番7の一部				耐火建築物の種別				
建物概要	規模	階数	平屋建て 新築	最高軒高	3.540 ^M	最高高さ	3.720 ^M			
		建築面積	本体：7.355 × 7.355 = 54.096025		延床面積	本体：7.355 × 7.355 = 54.096025		54.09 m ²		
構造概要	基礎形式	鉄筋コンクリート造布基礎 W190			内部軸組	床	床パネル：合板 t=12、中棧 90×30 2本+コンパネ t=12			
		軸部	鉄骨造（X、Y方向共ブレース構造）			間仕切	LGS下地 PBボード t=12.5 + ビニルクロス貼 X1.5通りガラスウール t=100（24kg/m ³ 品）充填			
						天井	LGS下地 化粧PBボード t=9.5 ガラスウール t=100（24kg/m ³ 品）充填			
外部仕上表										
	屋根	折版：ガルバリウム鋼板 t=0.6 色：素地 裏面：ペフ貼 t=4			板金	土台水切：カラーガルバリウム鋼板 t=0.35				
						化粧幕板：カラーガルバリウム鋼板				
	外壁	外壁パネ：サンドイッチパネル t=40 色：外部ホワイト、内部ホワイト			庇	屋根：ガルバリウム鋼板折版 t=0.6 色：素地 鼻隠し：カラーガルバリウム鋼板				
		内外面：カラーガルバリウム鋼板 t=0.3、内部：硬質ウレタンフォーム t=40充填				軒天				
	外部巾木	モルタル刷毛引き仕上げ			樋	軒樋：塩ビ製角樋 M型120				
	開口部	アルミ製引違い窓				縦樋：塩ビ製 60φ				
		アルミ製引違い戸			塗装					
					階段					
室内仕上表										
階名	室名	床（上段：仕上げ、下段：下地）	巾木	壁（上段：仕上げ、下段：下地）	天井（上段：仕上げ、下段：下地）	廻り縁	床高	天井高	備考	
1階	男性仮眠室	畳敷き	畳寄せ	PBボード t=12.5 + ビニルクロス貼	化粧PBボード t=9.5	塩ビ製	GL+561	2,400	ブラインド	
		コンパネ t=12		外壁廻り：ガラスウール t=50（24kg/m ³ 品）	ガラスウール t=100（24kg/m ³ 品）					
		床パネル：合板 t=12、中棧90×30 2本 ガラスウール t=100（24kg/m ³ 品）		LGS下地	LGS下地					
	女性仮眠室	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
		一部：長尺塩ビシート貼り t=2								
	押入	長尺塩ビシート貼り t=2	雑巾摺	押入用化粧PBボード t=12.5	化粧PBボード t=9.5			GL+511	2,450	ブラインド
		コンパネ t=12		外壁廻り：ガラスウール t=50（24kg/m ³ 品）	ガラスウール t=100（24kg/m ³ 品）					
		床パネル：合板 t=12、中棧90×30 2本 ガラスウール t=100（24kg/m ³ 品）		LGS下地	LGS下地					
	WC	長尺塩ビシート貼り t=2	ソフト巾木			同上	同上	GL+511	2,450	ブラインド
		コンパネ t=12	H=60							
洗面	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	床下点検口 450×450 天井点検口 450×450	
玄関ホール	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	アルミ製床見切り	
	(踏込：防滑性長尺塩ビシート（屋外用）t2.5)									
US	ユニットシャワー									
<p>共通事項 ■シックハウス対策</p> <p>石綿、クロルビクリホス等の建築材料は、使用しない。</p> <p>内装仕上げ F☆☆☆☆認定製品（規制対象外製品）使用</p> <p>小屋裏等々 F☆☆☆☆認定製品（規制対象外製品）使用</p> <p>・長尺塩ビシート貼り t=2</p> <p>東リ：マチュアNW 同等品以上</p>										

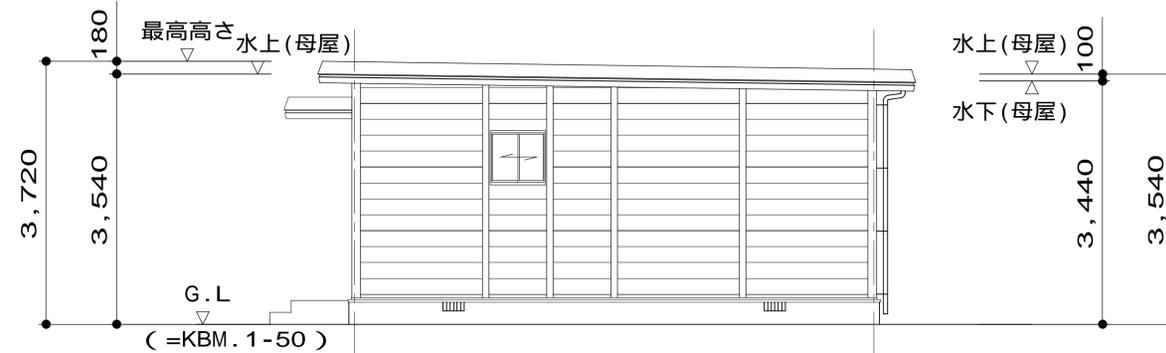
紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図	検図	製図	設計年月 令和7年1月 (2025年)	図面内容 (仮眠室棟新築) 設計概要・仕上表	縮尺	図面番号 A-12	建築意匠
						A1: A3:		計画 消防 構造 電気



紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図			検図	製図	設計年月	図面内容 (仮眠室棟新築)	縮尺	図面番号	建築意匠
						令和7年1月 (2025年)	平面図	A1: 1/50 A3: 1/100		



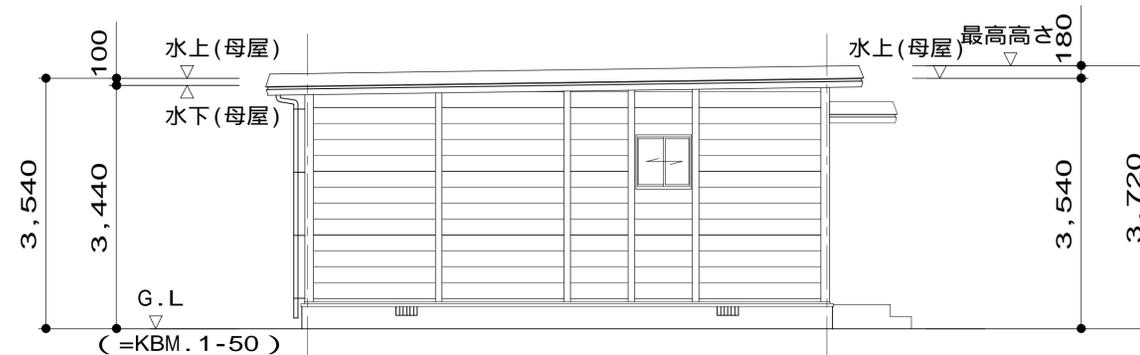
Y0 立面図 S=1/50



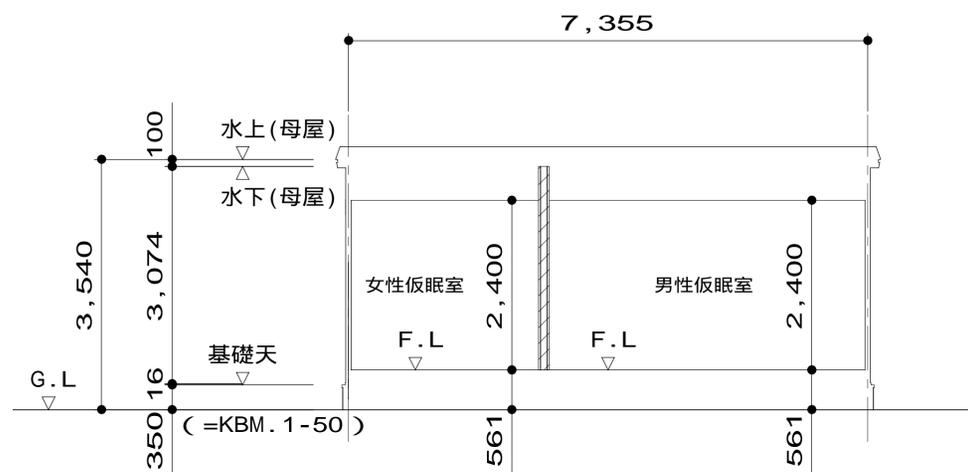
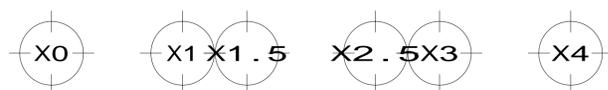
X4 立面図 S=1/50



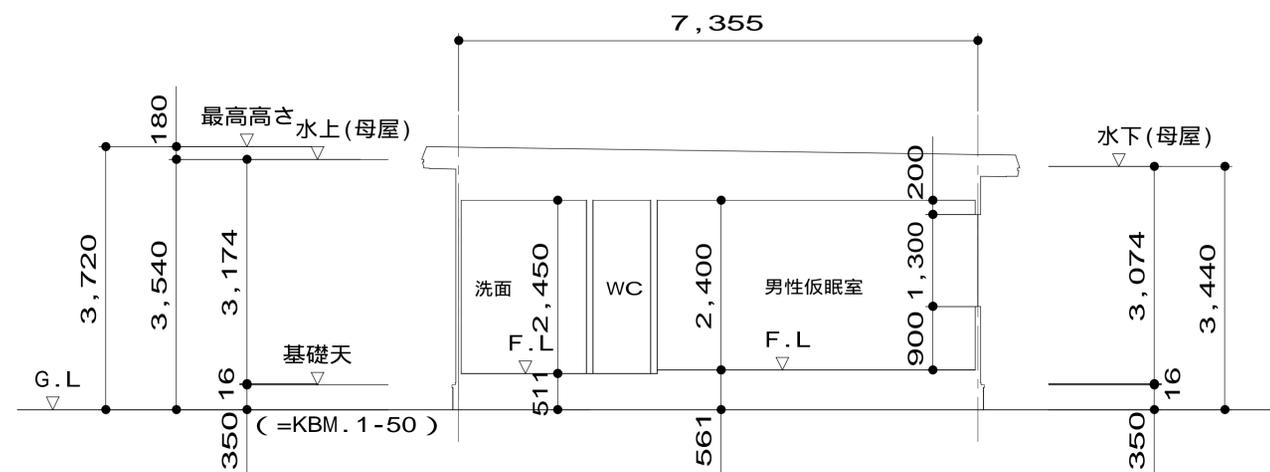
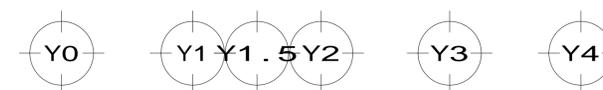
Y4 立面図 S=1/50



X0 立面図 S=1/50



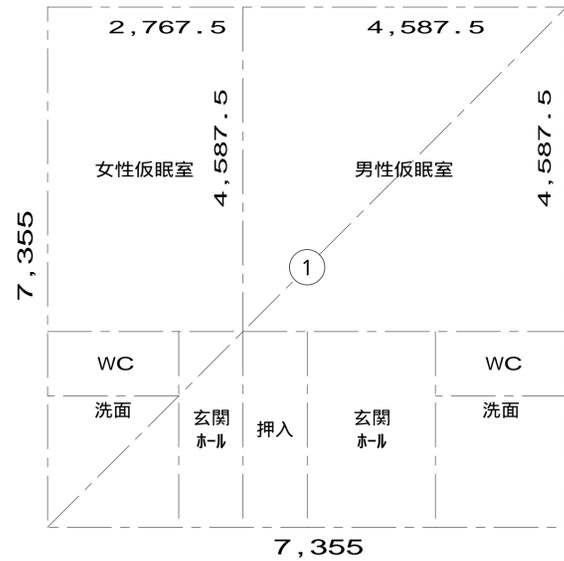
Y通り 断面図 S=1/50



X通り 断面図 S=1/50

問仕切り：グラスウール t=100 (16kg/m3品) 充填
屋根裏に達すること

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図			検 図	製 図	設計年月	図面内容	縮 尺	図 面 番 号	建 築 意 匠
						令和7年 1月 (2025年)	(仮眠室棟新築) 立面図、断面図	A1: 1/50 A3: 1/100		



建物求積図 S=1/50

建物求積表

①	7.355 x 7.355	= 54.096025
延床面積	①	54.09 m2
建築面積	①	54.09 m2

居室床面積算定表

男性仮眠室	床面積： 4.5875 x 4.5875 = 21.045156	改め 21.04 m2
女性仮眠室	床面積： 4.5875 x 2.7675 = 12.695906	改め 12.69 m2

建具表

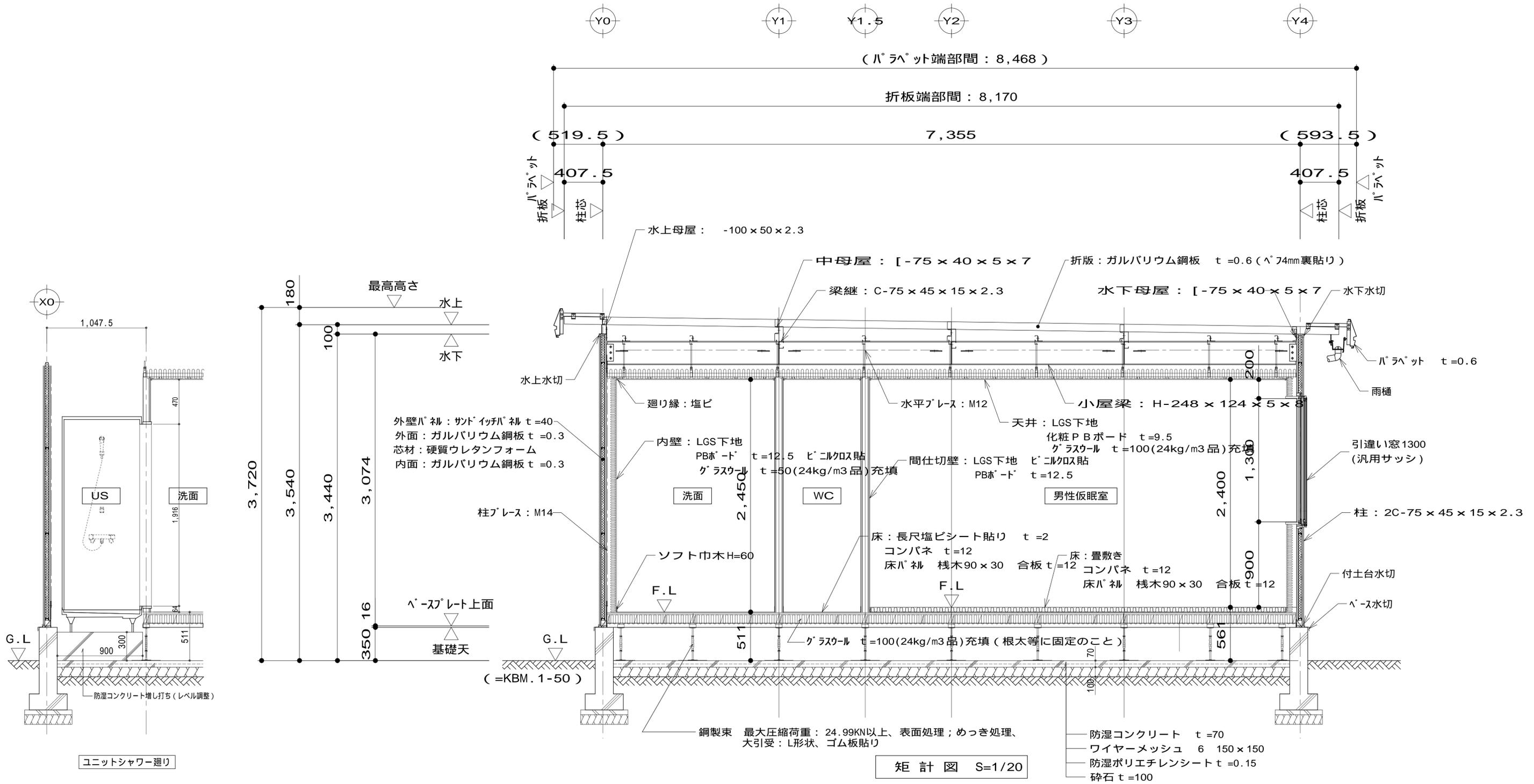
符号・数量	AW1 2ヶ所	AW2 2ヶ所	AW3 1ヶ所
形式	アルミサッシ引違い窓	アルミサッシ引違い窓	アルミサッシ引違い窓
姿図			
材質・仕上	半外付アルミ製サッシ	半外付アルミ製サッシ	半外付アルミ製サッシ
ガラス	型板 t=4 中空層 t=9 透明 t=3	型板 t=4 中空層 t=9 透明 t=3	型板 t=4 中空層 t=9 透明 t=3
金物	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式	クレセント 付属金物一式
備考	網戸	網戸	網戸
符号・数量	AD1 2ヶ所		
形式	アルミサッシ片開きドア		
姿図			
材質・仕上	半外付アルミ製サッシ		
ガラス	型 t=4 中空層 t=11 透明 t=3		
金物	バーハンドル、シングル錠、サムターン、ドアフェック、丁番 付属金物一式		
備考	腰板：アルミパネル 開き勝手は平面図参照		

法規チェック

男性仮眠室 A : 21.04 m2 CH = 2.400 m		必要面積	有効面積	建具記号・計算式 h x w x n	判定
L : 採光 (A/20)	1.05	2.74	1.37	A W - 1 1.3 x 1.60 x 1 = 2.08	OK
				A W - 3 0.9 x 0.74 x 1 = 0.666	
V : 換気 (A/20)	1.05	1.37	1.04	A W - 1 1.3 x 1.60 x 1 x 0.5 = 1.04	OK
				A W - 3 0.9 x 0.74 x 1 x 0.5 = 0.333	
S : 排煙 (A/50)	0.42	0.59	0.48	A W - 1 0.6 x 1.60 x 1 x 0.5 = 0.48	OK
				A W - 3 0.3 x 0.74 x 1 x 0.5 = 0.111	

女性仮眠室 A : 12.69 m2 CH = 2.400 m		必要面積	有効面積	建具記号・計算式 h x w x n	判定
L : 採光 (A/20)	0.63	2.08	1.04	A W - 1 1.3 x 1.60 x 1 = 2.08	OK
V : 換気 (A/20)	0.63	1.04	1.04	A W - 1 1.3 x 1.60 x 1 x 0.5 = 1.04	OK
S : 排煙 (A/50)	0.25	0.48	0.48	A W - 1 0.6 x 1.60 x 1 x 0.5 = 0.48	OK

消防用無窓階算定		
1階床面積	必要開口面積 A/30	有効開口面積
54.09 m2	1.80 m2	2.08 m2
A W - 1 1.3 x 1.60 x 2 x 0.5 = 2.08		合計 2.08 m2 有窓階
対象部分は とする。		



紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図			検図	製図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号	建築意匠
						令和7年1月 (2025年)	(仮眠室棟新築) 矩計図	A1: 1/20 A3: 1/40		

構造設計特記仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容
(1) 工事名称 紫波警察署桜町町舎解体ほか工事
(2) 工事種別 ■新築 ■増築 □増改築 □改築
(3) 構造設計一級建築士の関与 □必要 ■必要としない
(4) 構造種別 □木造(W) □鋼鉄コンクリートブロック造(CB) ■鉄骨造(S) □鉄筋コンクリート造(RC) □壁式鉄筋コンクリート造(WRC) □鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) □壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC) □プレキャスト鉄筋コンクリート造(PCRC)
(5) 階数 棟 地下 -1階 地上 1階 塔屋 -1階
(6) 主要用途 仮眠室
(7) 屋上付属物 □高架水櫃 -kN □キュービクル -kN □広告塔 □煙突
(8) 特別な荷重 □エレベータ 人乗(マシンルームレス □ロプ式・油圧式) □リフト -kN □ホイスト -kN □倉庫積載床用 -N/m2 □受水槽 -kN
(9) 付帯工事 □門券 □簡壁 □駐輪場 □機械式駐車場
(10) 増築計画 □有() ■無
(11) 構造計算ルート X方向ルート -(1-2) Y方向ルート -(1-2)
(12) 設定条件 最深積雪量 75cm 単位積雪重量 2.0N/m2/cm 基準風速 3.0m/s以下 地表面粗度区分 II

2. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート (レディ-ミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)
適用箇所 種類 設計基準強度 Fc=N/mm2 品質基準強度 Fq=N/mm2 スランプ cm 備考
捨てコンクリート ■普通 18 - -
土間コンクリート ■普通 21 21 15
基礎、基礎梁 ■普通 21 21 15
柱、梁、床、壁 □普通 □軽量 - - - 比重
押えコンクリート □普通 □軽量 - - - 比重
粗骨材の種類 ■砂 □山砂 □人工 □
粗骨材の種類 ■砂利 □碎石 □人工 □
水の区分 ■水道水 □地下水 □工業用水 □
溶和材料の種類 (JIS) □AE減水剤 □高性能AE減水剤 □
呼び強度を保证する材齢、養生 ■材齢(■28日 □56日 □) ■養生(□現場封かん □現場水中 ■標準 □)

(2) コンクリートブロック (JIS A 5406)
□A種 □B種 □C種 厚 100 □120 □150 □190 使用箇所(□ □)

(3) 鉄筋
種類 径 使用箇所 継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112) ■SD295 D16以下 基礎 ■重ね継手 □ガス圧接継手 □SD345 D19以上 □溶接継手 □SD390 □機械式継手 ()
高強度せん断補強筋 □材種 □大臣認定番号 MSRB-
丸鋼 (JIS G 3112) □SR235
溶接鋼 (JIS G 3555) □

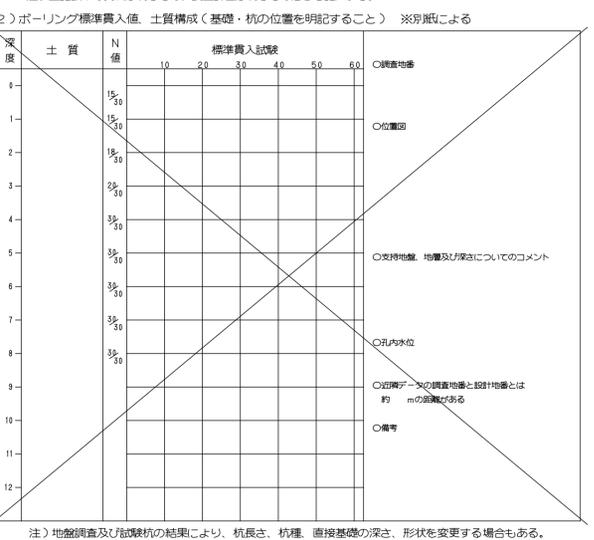
(4) 鉄骨
種類 使用箇所 現場溶接 JIS規格・認定番号等
■SS400 □SN400 □SN400 A, B, C 梁 □有 ■無 JIS G 3101
■STKR400 □STKR490 柱 □有 ■無 JIS G 3466
□BCR295 □BCP235 □BCP325 □有 □無 大臣認定品 認定番号 MSTL-
□SM490 A □SN490 B □SN490 C □有 □無 JIS G
■SSC400 □SWH400 □SWH400 柱、母屋、懸材/柱/梁 □有 ■無 JIS G 3550 / JIS G 3552
■SNR400B 水平ブレース、柱ブレース □有 ■無 JIS A 5540
溶接材料 □JIS Z

(5) ボルト □高力ボルト □F10T (JIS B1185) T 国土交通大臣認定品 (MBLT-0050同等品) (□M16 □M20 □M22 □M24) ■ボルト (JIS B1180) ■M12 ■M16 □M20 ■強度区分4.6・4.8 ■強度区分10.9
■アンカーボルト □SS400 M24 L= mm ナット (□シングル、□ダブル) □SS400 M20 L= mm ナット (□シングル、□ダブル) ■SS400 M16 L= 400 mm ナット (□シングル、■ダブル)
□頭付スタッドボルト φ= L= mm 使用箇所(□柱 □大梁 □小梁) φ= L= mm 使用箇所(□柱 □大梁 □小梁)

(6) 屋根、床、壁
材 種類 型式 厚 その他 使用箇所 仕様・構法
ALC (JIS A 5416) 厚 □壁 □床版 □スライド □ボルト止め □クッキング □
折版 H=79 厚 0.6 ■屋根 □ □
特殊デッキプレート (JIS G 3352) 型式 厚 □床版 □ □
デッキプレート (JIS G 3352) 型式 厚 □床版 □ □

3. 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画
調査項目 資料有り 調査計画 調査項目 資料有り 調査計画 調査項目 資料有り 調査計画
ボーリング調査 ○ 静的貫入試験 標準貫入試験
水平地盤反力係数の測定 土質試験 物理探査
試験地(支持層の確認) 平板載荷試験 液状化判定
スウェーデン式サウンディング 現場透水試験 P S 検層



注) 地盤調査及び試験結果の結果より、杭長さ、杭径、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

(1) 直接基礎 □ベタ基礎 ■布基礎 □独立基礎 試験種 □有 □無
深さ GL-0.45 m、支持層 長期許容支持力 50 kN/m2 載荷試験 □有 □無
(2) 地盤改良 □浅層混合処理工法 □深層混合処理工法 ■砕石/バイル工法
深さ GL-5.00 m 長期許容支持力 50 kN/m2 載荷試験 □有 □無
注) 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参考とする

(3) 杭基礎 支持層 -
杭種 材料 施工法 備考
□RC □PRC PRC □I種 □II種 □III種 □打ち込み
□PHC □H鋼 PHC □A種 □B種 □C種 □埋込み (セメントミルク工法)
□鋼管 □摩擦杭 鋼材 □SS400 □SKK400 □
□SC杭 □JIS □
□場所打ち コンクリート Fc = N/mm2 □オールゲージング □拡張杭
Fq = N/mm2 □リバースサーキュレーション
スランプ c m以下 □アースドリル □ミニアース
セメント量 kg/m3 □BH
単位水量 kg/m3 □深礎(□手堀 □機械堀)
鉄筋 主筋 SD
HOOP SD

杭仕様 □施工計画書承認 □杭施工結果報告書
試験杭 (□有 □無) (□打ち込み □載荷 □孔壁測定) 本

杭径 (mm) 設計支持力 (kN) 杭の先端の深さ (m) 本数 特記事項
φ - GL - -

注) 1 片持ち梁、庇、スノボ、0.0m以上の梁下は、工事監督者の指示による。
注) 2 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部は、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時で全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6 直上層に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱(大梁の支柱を除く)の盛りかえを行わないこと。
注) 7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (F c) が 36 N/mm2 以下に適用し、鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。

(1) コンクリート
■コンクリートは JIS A 5308 (レディ-ミクストコンクリート) に適合する JIS 認証工場 の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5 による。JASS 5 は鉄筋コンクリート工事 2009 年度版とする。
■耐久設計基準強度 F d ■短期 (18N/mm2) □標準 (24N/mm2) □長期 (30N/mm2)
■セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■調合計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。
■寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。
■フレッシュコンクリートの強化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法は JASS 5 T-603 によることとし、供試体は現場水中養生。または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が 150m3 を超える場合は 150m3 ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。
1回に採取する供試体は、適当な間隔をおよび3台の運搬車からその必要本数を採取する。
なお、供試体の数値は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。
■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継継中における打継ぎ時閉鎖時の留意は、外気温が 25 °C 未満の場合は 150 分以内、25 °C 以上の場合は 120 分以内とする。
■コンクリート打ち込み及び打ち込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下ろさないようにする。
■乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

(2) 鉄筋
■鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
□高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるD種1号適合品とする。
■鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の最小長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) (2)」による。

鉄筋継手工法
継手の位置等の設計条件による仕様・等級
(1) 引張力最小部位 (2) (1) 以外の部位(注)
A級 B級 SA級
■重ね継手 ■40d □35d □() d ■D(19)以下
□圧接継手 □告示1463号第2項各号 □ □D()以下
□溶接継手 □告示1463号第3項各号 □ □D()以下
□機械式継手 □告示1463号第4項各号 □ □D()以下

注) (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取付た継手工法の等級で、構造設計にあたって『鉄筋継手使用基準(建築物の構造関係技術基準解説書 2007)』によって検討した部材の条件・仕様によること。

□D19未満は、すべて重ね継手とする。
□継手部分の施工要領は(社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事)」による。
継手部の検査方法・外観検査 □有 □無 ・引張試験 □有 □無 ・超音波探傷試験 □有 □無
ガス圧接部分の検査は超音波探傷試験によって行う場合、最初のジョイントについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。
(1)ロットは同一作業班が同一日作業した圧接箇所まで 200箇所程度とする)
□柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、□H型(タガ型) □W型(溶接型) □S型(スライラ型)とする。
■コンクリート及び鉄筋の試験は下記の試験機関で行うこと。
試験機関名-工事監督者が指定する試験機関
代行業者名-工事監督者が指定する代行業者
代行業者とは、試験 検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型枠
■材料 合板厚 12 mm を標準とする。 ■施工 JASS 5 による。
■型枠存置期間

型枠の仕様表
部位 せき板 支柱
基礎、梁側、柱、壁 スラブ下、梁下 スラブ上 梁下
基礎の種別 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
平均気温 15℃以上 2 3 4 6 8 17 28
5℃~15℃ 3 5 6 10 12 25 28
5℃未満 5 8 10 16 15 28 28
コンクリートの圧縮強度 5.0N/mm2 設計基準強度の50% 設計基準強度の85% 設計基準強度の100%

注) 1 片持ち梁、庇、スノボ、0.0m以上の梁下は、工事監督者の指示による。
注) 2 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部は、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時で全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6 直上層に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱(大梁の支柱を除く)の盛りかえを行わないこと。
注) 7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■日本建築学会「JASS 6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■社)日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違いの検査・補強マニュアル」
(2) 工事監督者の承認を必要とするもの
■製作工場 □製作要領書 □工作図 □施工計画書
■認定または登録工場(大臣認定 SHM 国 J グレード 都登録 T1 T2 T3 ランク)
■材料規格証明書※、または試験成績書
■鋼材 □高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド
※規格品証明書・原本相当規格品証明書・現品証明書
□社内検査表 □

(3) 工事監督者が行う検査項目
(■印以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること)
□現状検査 □組立・開先検査 □製品検査 □運方検査
(4) 接合部の溶接は下記によること
■平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ
■鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱い要綱
□日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I, II, III, IV, V, VI, VII, VIII, IX」
■日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」

(5) 接合部の検査
■溶接部の検査(検査結果は後日工事監督者に報告すること)
検査箇所 検査方法 検査率又は検査数 備考
完全溶込み溶接(突合せ溶接) 外観検査(※) - %個 - %個 - %個 ※平成12年建設省告示第1464号第二号による(目視及び計測)
超音波探傷試験 - %個 - %個 - %個
内質検査(注) □硬さ試験 - %個 - %個 - %個
□示温塗料塗布 - %個 - %個 - %個
マクロ試験・その他 - %個 - %個 - %個
■隅肉溶接部 外観検査(※) 100 %個 - %個 - %個
第三者検査機関名 (都知事登録番号)

第三者検査機関とは、建築主、工事監督者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。
注1) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主等へ報告すること
□高力ボルトの検査(検査結果は後日工事監督者に報告すること)
軸力導入試験 □要 ■否 高力ボルトすべり係数試験 □要 ■否
□一次締め後にマーキングを行い、二次締めの後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
□トルシャ形高力ボルトは二次締めの後、ピンデルが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗装
■錆止めのペイント
□JIS K 562 ■JIS K 5674

7. 設備関係

■建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■建築設備の支持構造部および緊結金物は、錆止め等、防錆のための有効な措置を講じること。
□建築物に設ける屋上からの突出する水櫃・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
□煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さは5cm以上とし鉄筋コンクリート造とすること。
□設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
■設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
□エレベーターの駆動装置等は、構造体と安全に緊結されていること。
■特記以外の架装通孔は原則として設けない。
■床スラブ内に設備配管等を埋込む場合は、スラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備(給湯設備を除く)は、
■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■管の伸縮その他の変形により、当該管に損傷が生ずる場合において、伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
■給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

8. その他

■諸宮戸への提出書類は遅滞なく提出すること。
■色試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
■必要に応じて記録写真を撮影保管すること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
@...間隔 r...半径 CL...中心線 Lo...部材間の内法距離 ho...部材間の内法高さ
ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびI形梁のキャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(x4d以上)	8d以上(x4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の径16およびD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上。				
スラブ筋、壁筋には丸鋼は仕様しない。	片持スラブ上端部の先端			

(2) 鉄筋中間部の折曲げ形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯筋	SR235、SR295	16以下	3d以上
	あばら筋	SD295A・B	19	4d以上
	スパイラル筋	SD345	D19以上	
	上記以外の鉄筋	SR295A・B	16以下	4d以上
		SD345	D19～D25	6d以上
		SD390	D29～D41	8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

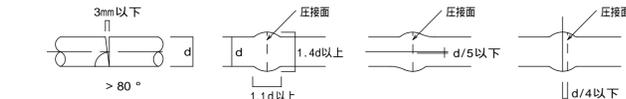
鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2)	下端筋(L3)	
SR235	21、24	35d フックつき	25d フックつき	35d フックつき
	18以下	45d フックつき	150mmフック付き	45d フックつき
SD295A	27～36	30d または20dフック付き	25d または20dフック付き	35d または25dフック付き
	21、24	35d または25dフック付き	150mmフック付き	40d または30dフック付き
SD295B	27～36	30d または20dフック付き	25d または20dフック付き	35d または25dフック付き
	21、24	35d または25dフック付き	150mmフック付き	40d または30dフック付き
SD345	18以下	40d または30dフック付き	150mmフック付き	45d または35dフック付き
	27～36	35d または25dフック付き	150mmフック付き	40d または30dフック付き
SD390	21、24	40d または30dフック付き	150mmフック付き	45d または35dフック付き
	27～36	35d または25dフック付き	150mmフック付き	40d または30dフック付き

[注] 許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする

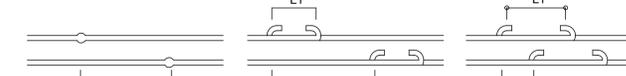
継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

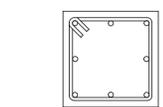


圧接継手



(4) かぶり厚さ (単位: mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。



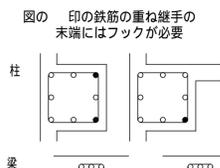
部	位置	設計かぶり厚さ(mm)		最少かぶり厚さ(mm)
		屋根スラブ	床スラブ	
土に接しない部分	非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40 ⁽¹⁾	30(20)
	耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50 ⁽²⁾	40 ⁽¹⁾ (30)
土に接する部分	擁壁	壁	50 ⁽³⁾	40
		柱・はり・床スラブ・耐力壁及び基礎の土上部分	50	40 ⁽⁴⁾
	基礎・擁壁	70	60 ⁽⁴⁾	

- [注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監督者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監督者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監督者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合、10mm増しの値とする。
(5) ()内は仕上げがある場合。
(6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

異形鉄筋 丸鋼



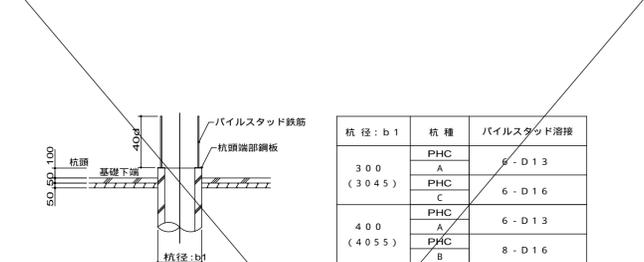
(6) 鉄筋のフック (a-fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- a. 丸鋼
- b. あばら筋、帯筋
- c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁(基礎梁を除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所

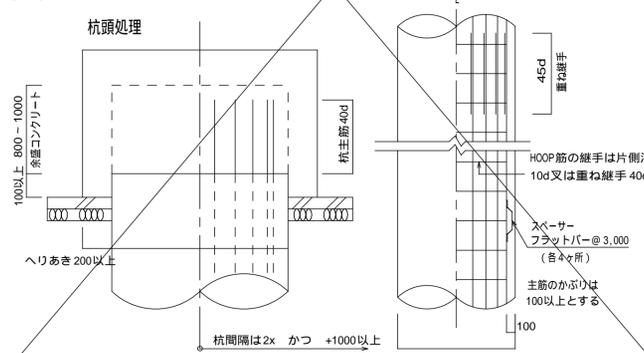
3. 杭

(地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。)

(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

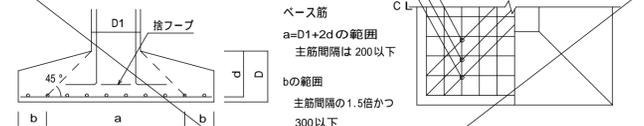


(2) 現場打ちコンクリート杭

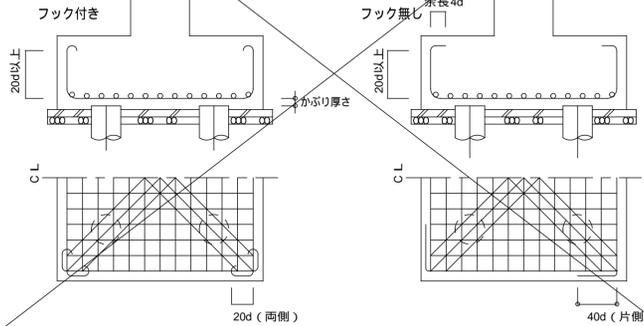


4. 基礎

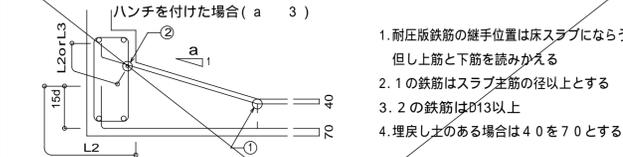
(1) 直接基礎



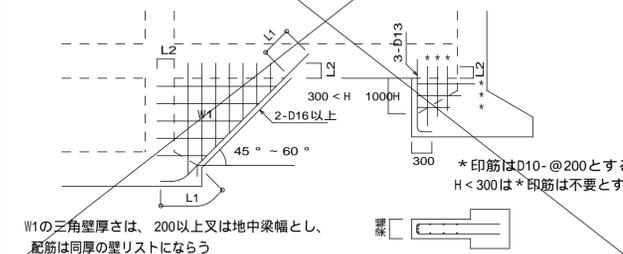
(2) 杭基礎



(3) ベタ基礎

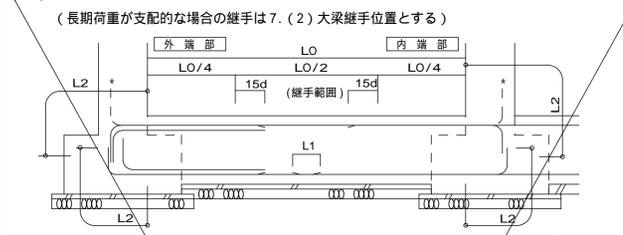


(4) 基礎接合部の補強

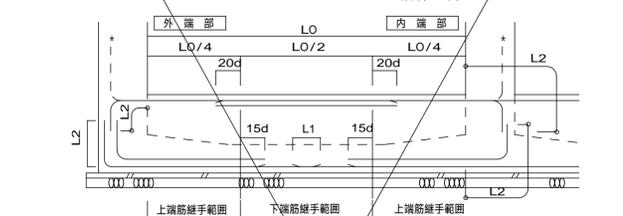


5. 地中梁

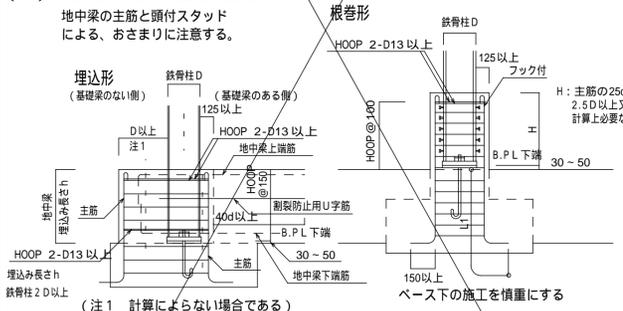
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



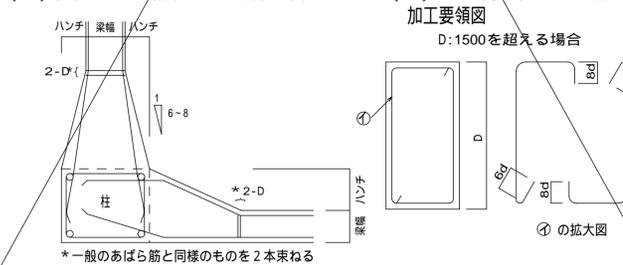
(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



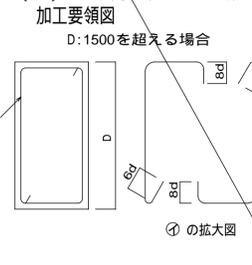
(3) 小規模鉄骨造柱脚固定の配筋



(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

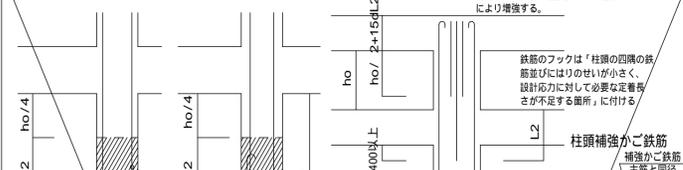


(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

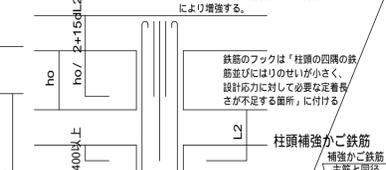


6. 柱

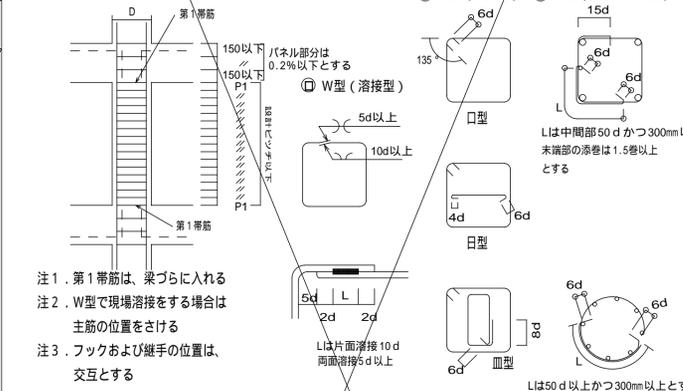
(1) 柱主筋の継手



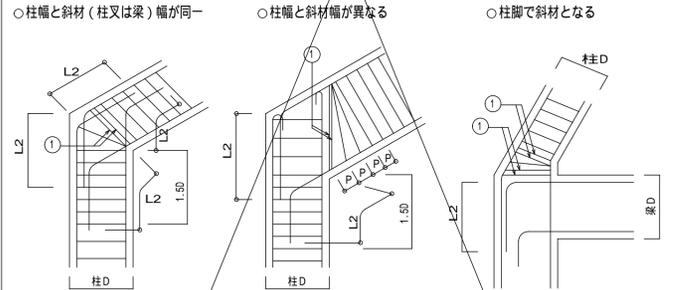
(2) 柱主筋の定着



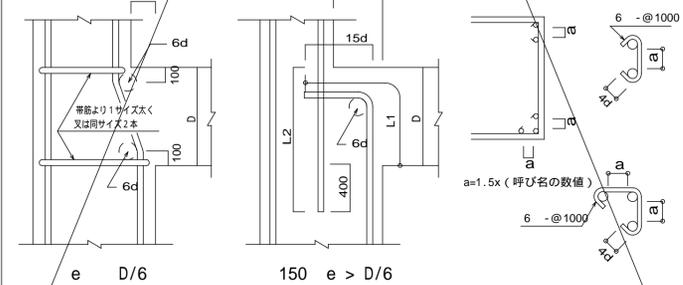
(3) 帯筋



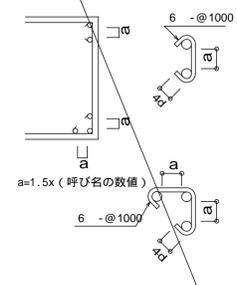
(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 絞り



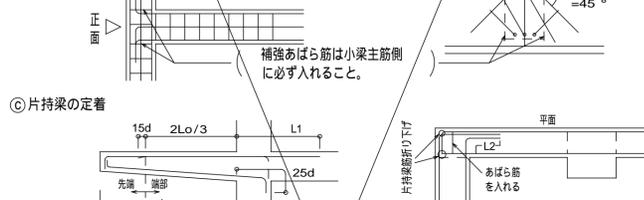
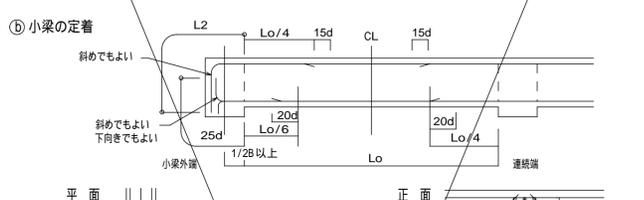
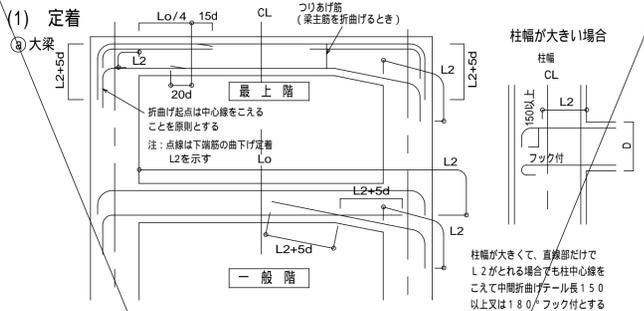
(6) 二段筋の保持



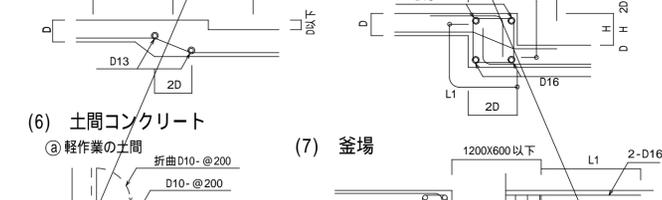
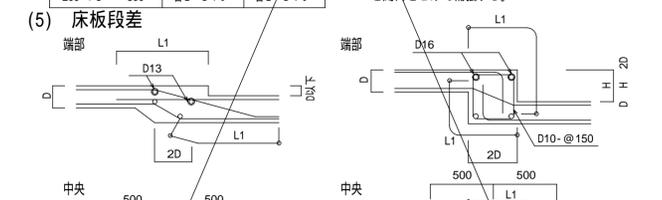
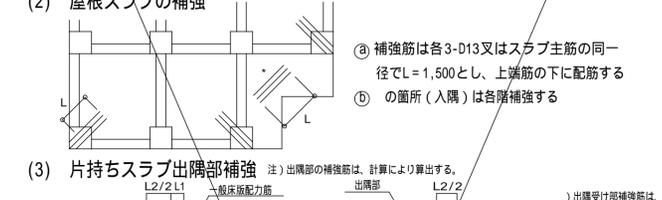
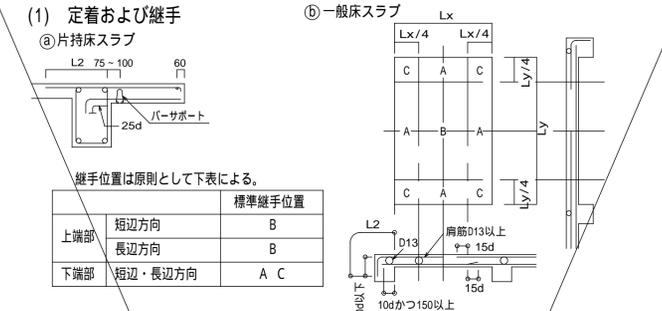
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

修正箇所は下線を引くこと
L = 本構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

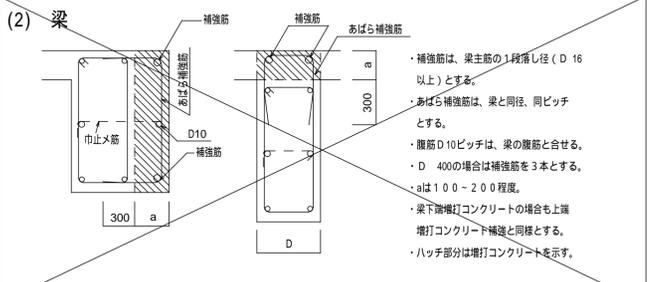
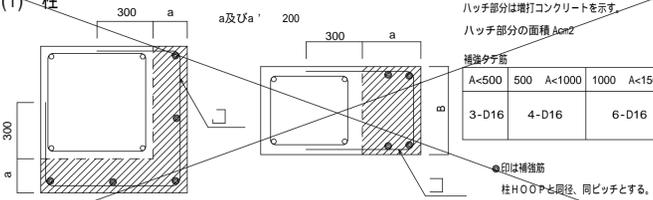
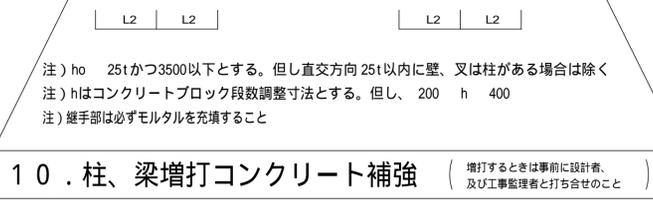
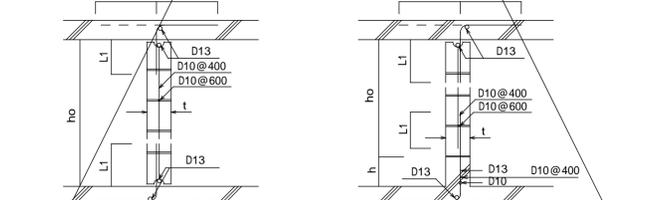
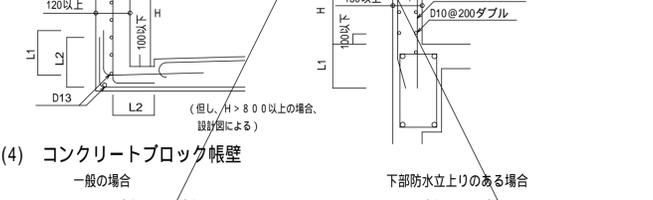
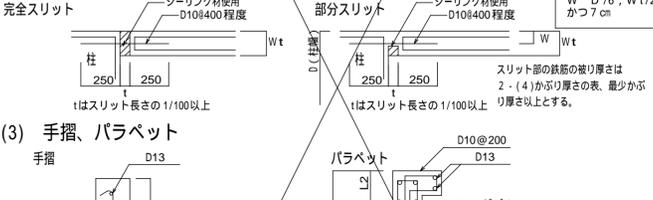
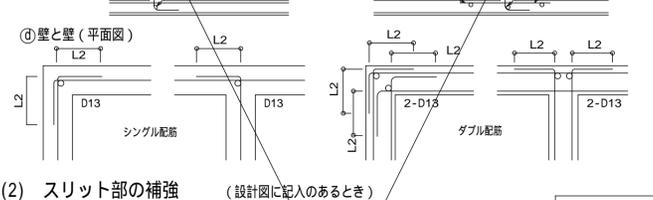
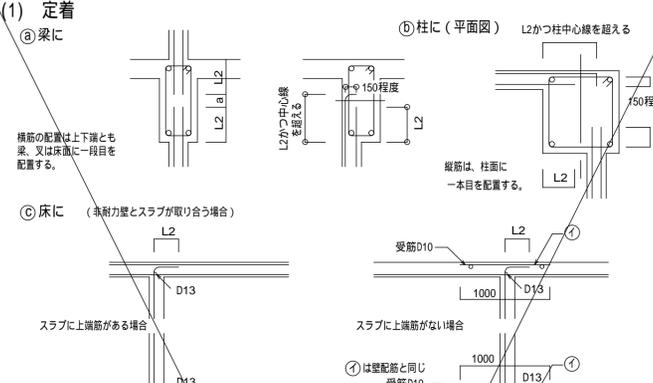
7. 大梁、小梁、片持梁



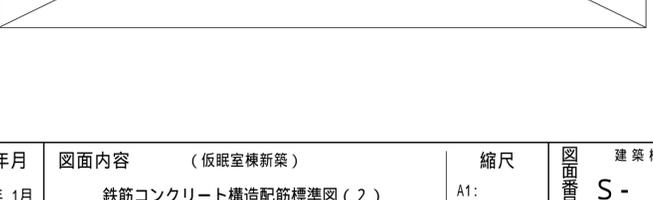
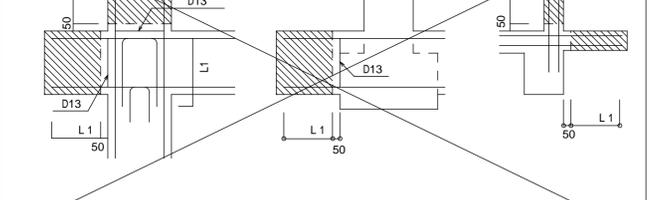
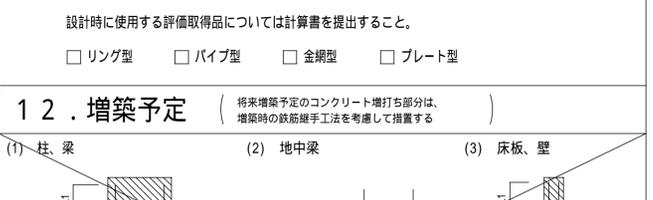
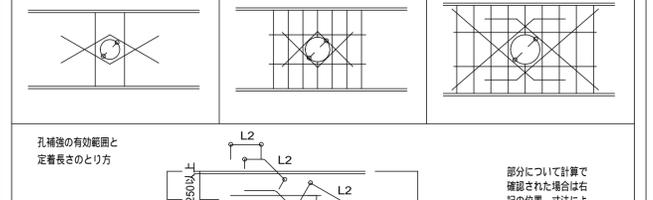
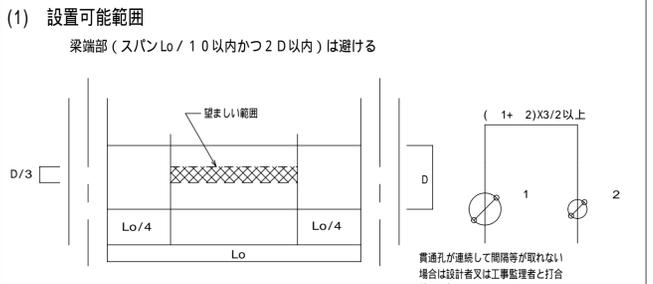
8. 床板



9. 壁



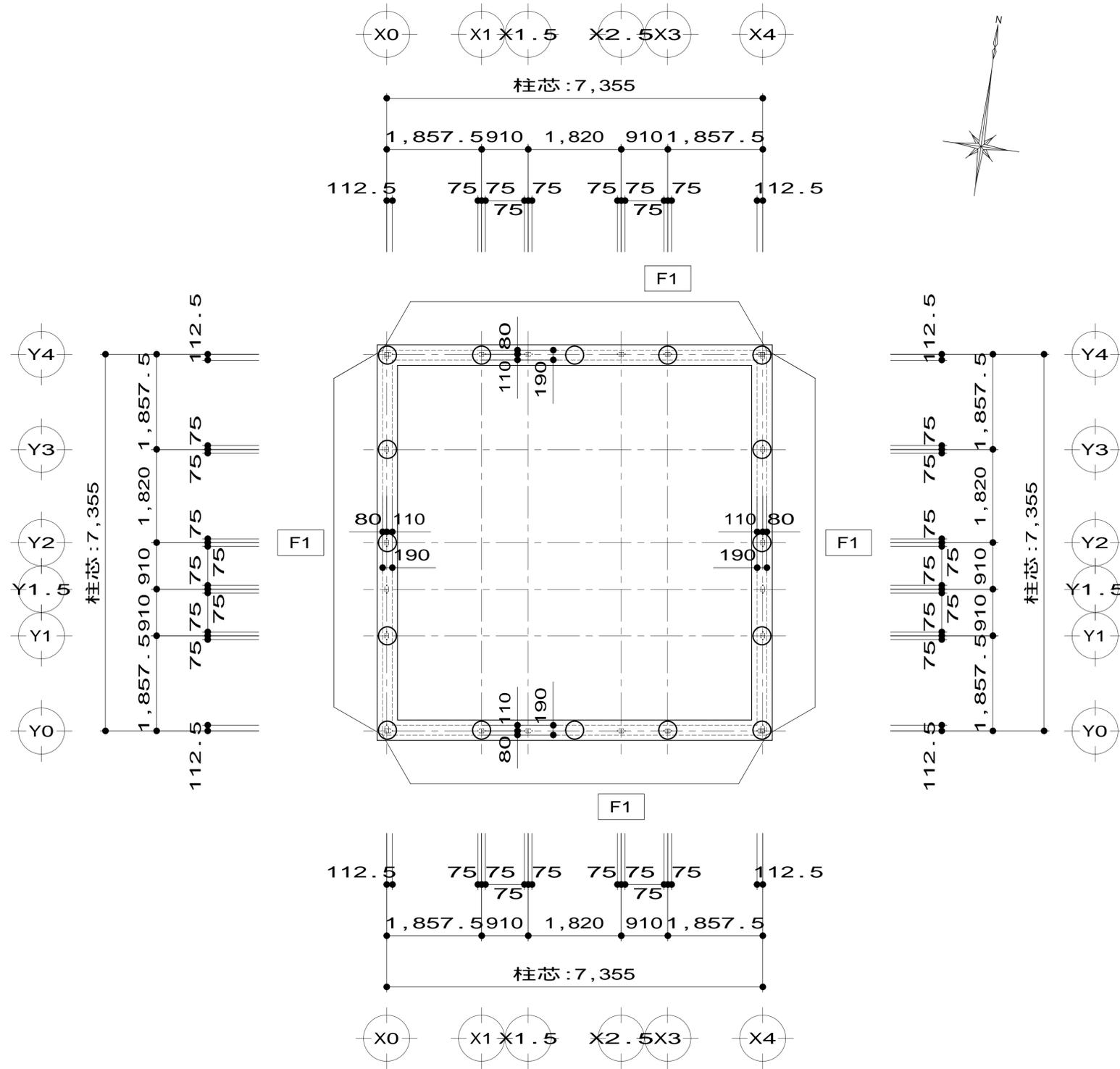
10. 柱、梁増打コンクリート補強



天然石砕石パイル工法 (HySPEED (350) 工法 同等以上)
 (建築技術性能証明 ストーンコラム工法 GBRC性能証明 第17-30号) 改1

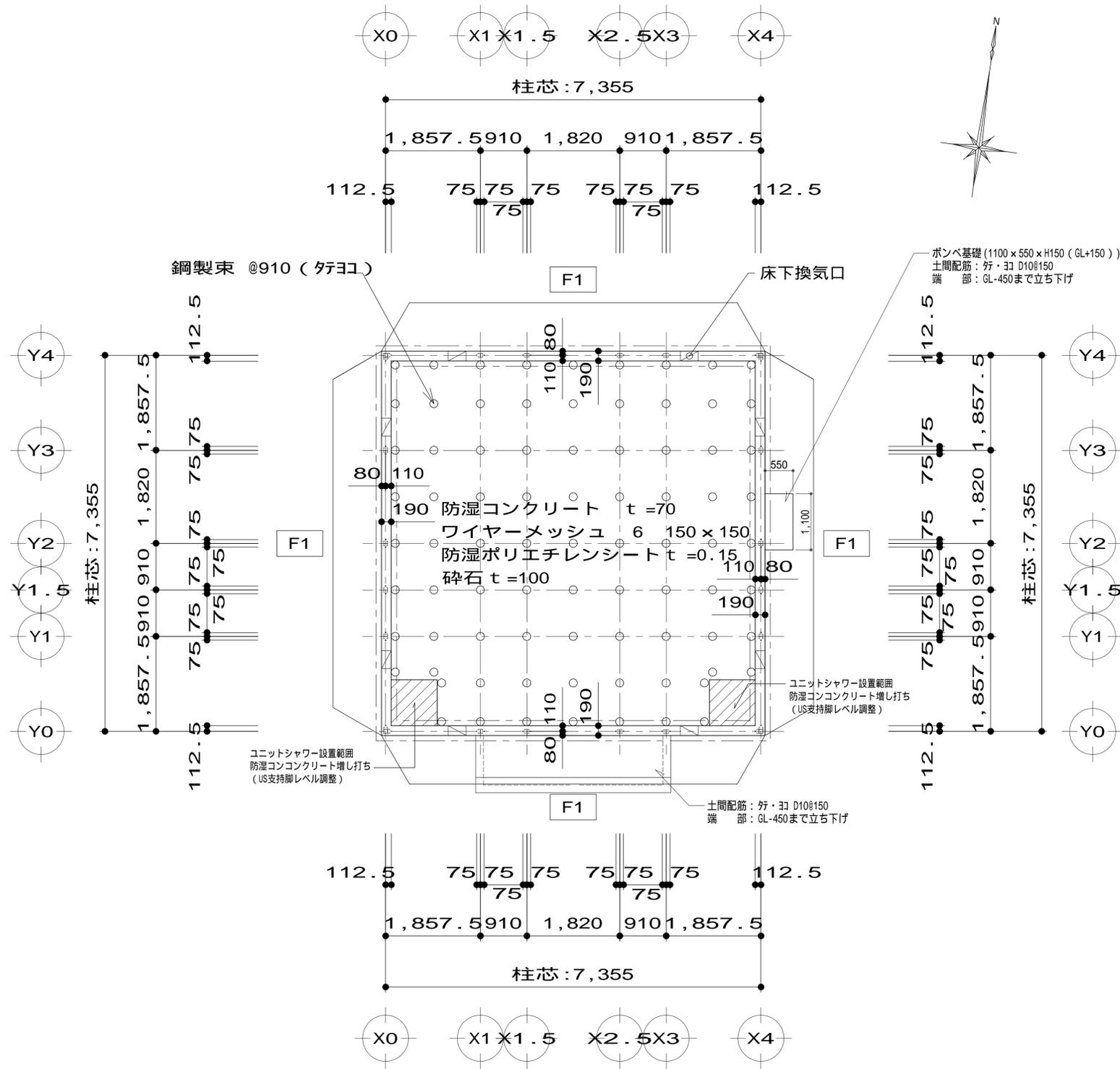
設計荷重 : 50kN/m²
 基礎形状 : 布基礎
 砕石パイル径 (設計径) : 350mm
 補強深度 (パイル長) : ○ 5.00m - 16本
 砕石パイル負担面積 : 0.756m²以内
 換算パイルピッチ : 1.890m以内 (布基礎部分)

注意事項 : 施工前に、事前にSWS試験を5ヵ所 (四隅及び中央) を行う事。
 その結果を基に、再度安定計算を行い、最終的な深度及び本数等を決定する事。

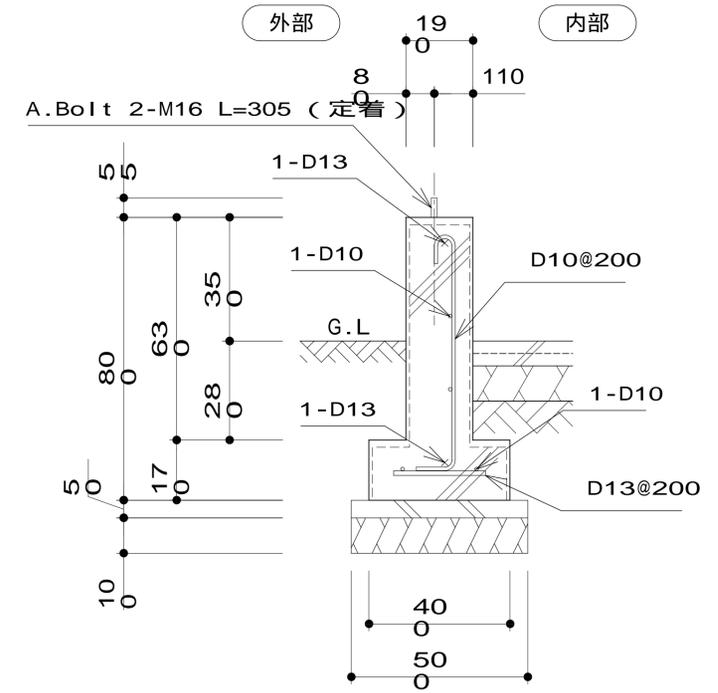


基礎伏図 S=1/50

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図	検 図	製 図	設計年月 令和7年 1月 (2025年)	図面内容 (仮眠室棟新築)	縮 尺	図 面 番 号 S - 05	建 築 構 造
					地盤改良 砕石パイル配置図	A1: 1/50 A3: 1/100		

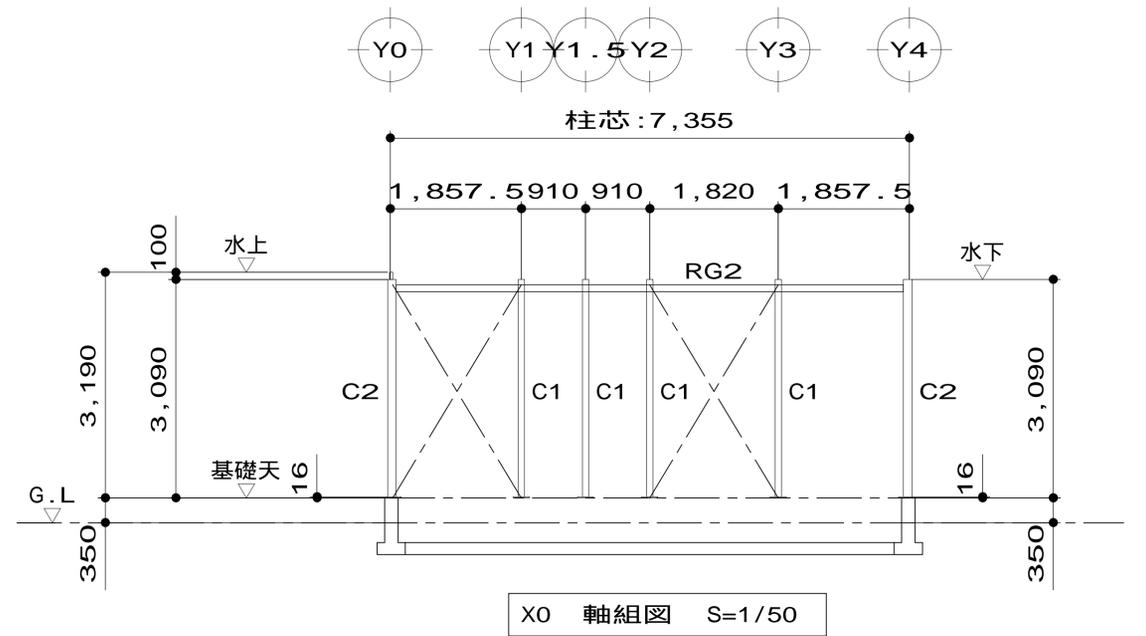
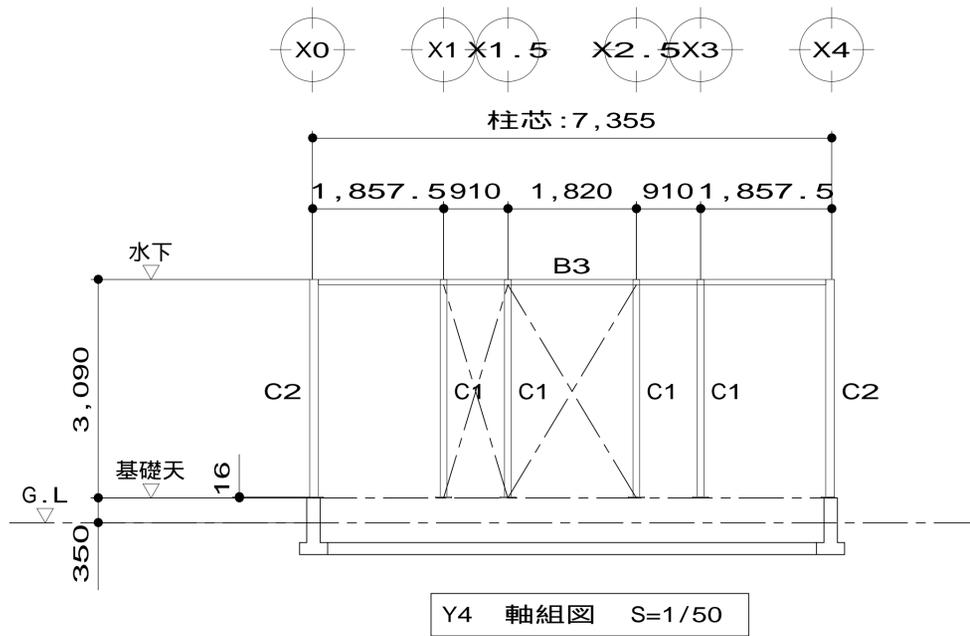
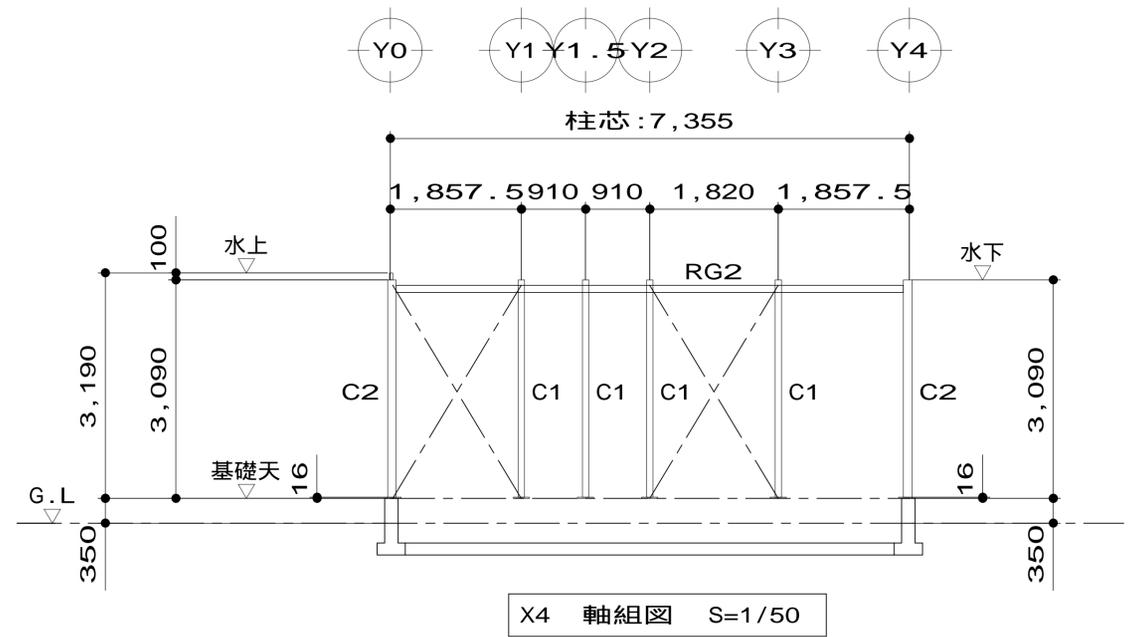
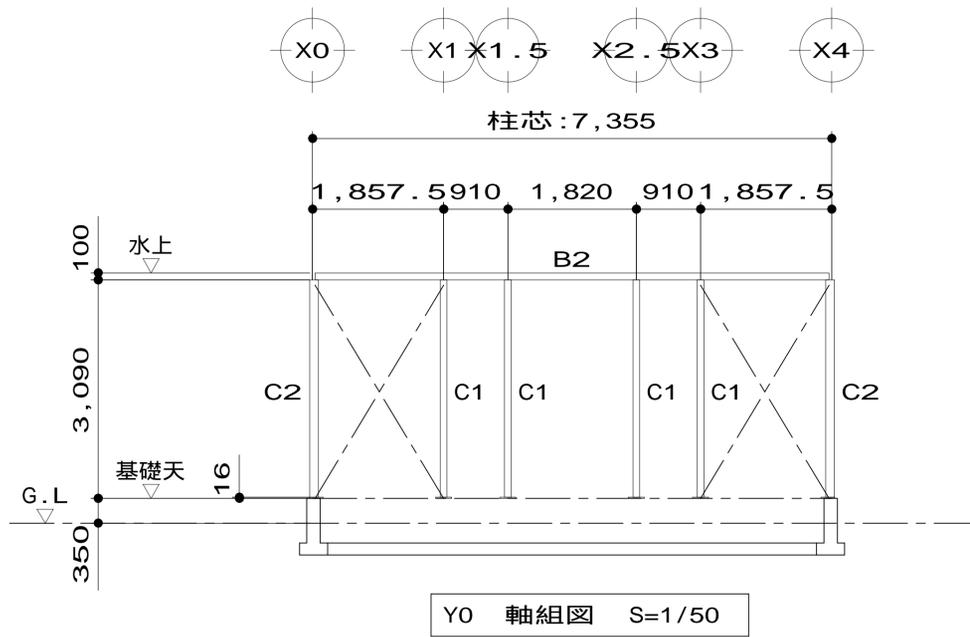


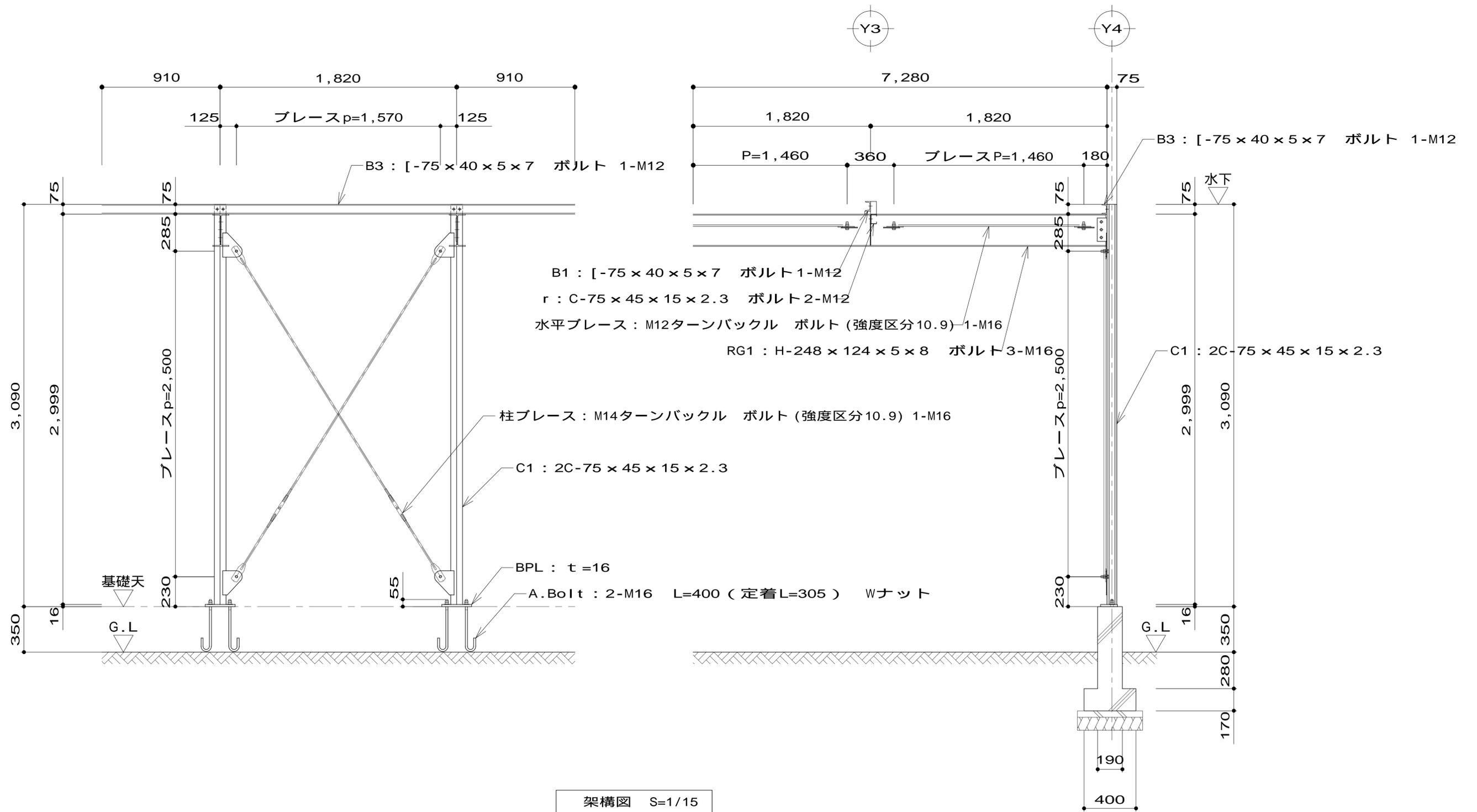
・使用部材	
鉄筋	異形棒鋼 SD295
アンカーボルト	2-M16 L=305 (定着) SS400 ダブルナットにて固定
基礎コンクリート	設計基準強度 $F_c=21 \text{ N/mm}^2$ 所要スランプ 15 cm
・備考	
設計地耐力	50 kN/m ² (長期)



基礎断面寸法は天端フカシ 20mm・側面フカシ 10mmを含んだ寸法とする。

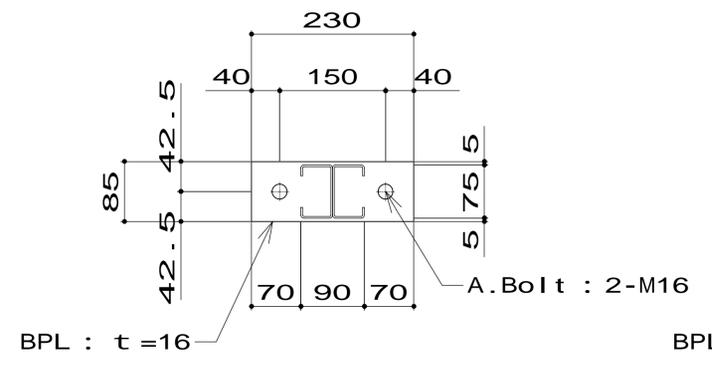
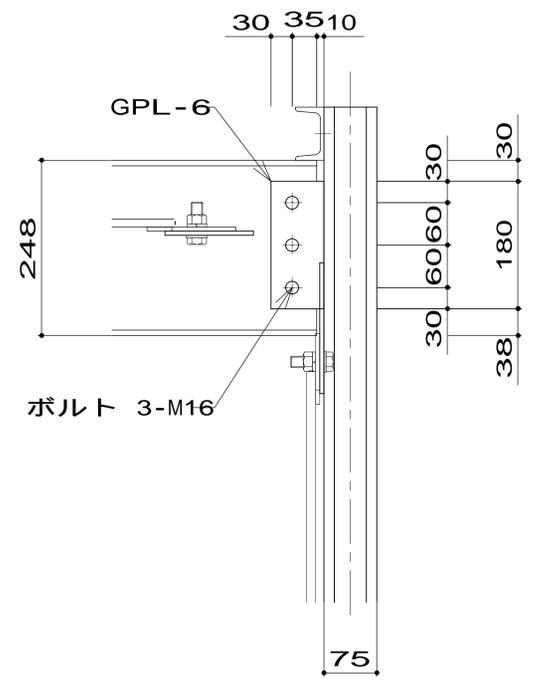
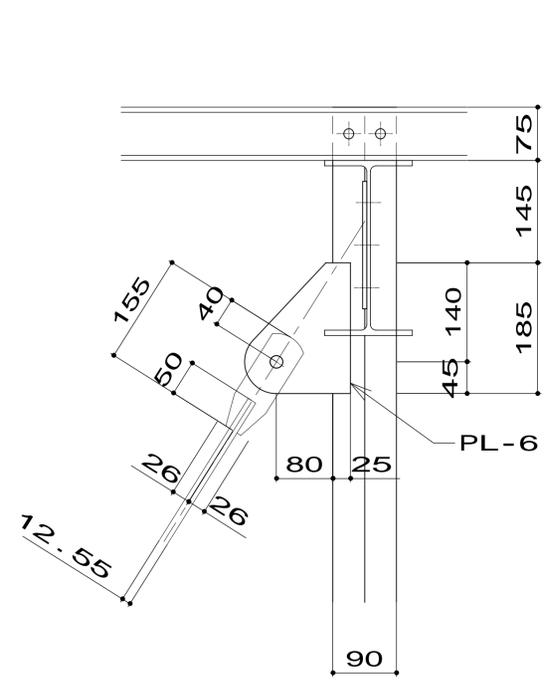
紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図				検図	製図	設計年月	図面内容	縮尺	図面番号	建築構造
							令和7年 1月 (2025年)	(仮眠室棟新築) 基礎伏図、基礎詳細図	A1: 1/50 1/10 A3: 1/100 1/20		





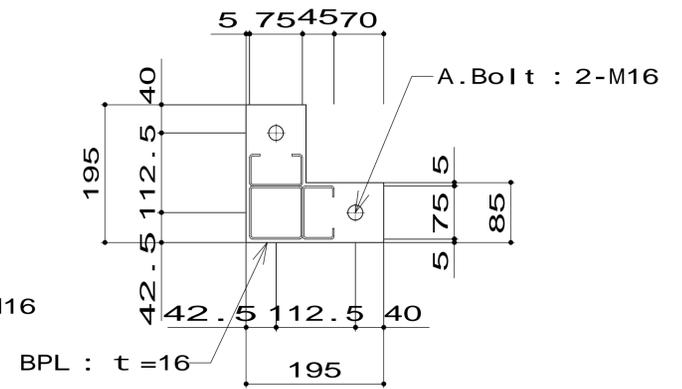
架構図 S=1/15

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図				検 図	製 図	設計年月	図面内容 (仮眠室棟新築) 架構図	縮 尺 A1: 1/15 A3: 1/30	図 番 S-09	建 築 構 造 計 画 消 防 構 造 通 則 省 13 通 則
							令和7年 1月 (2025年)				



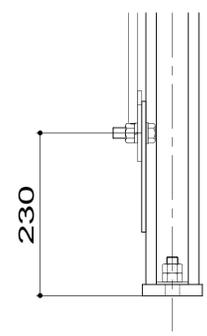
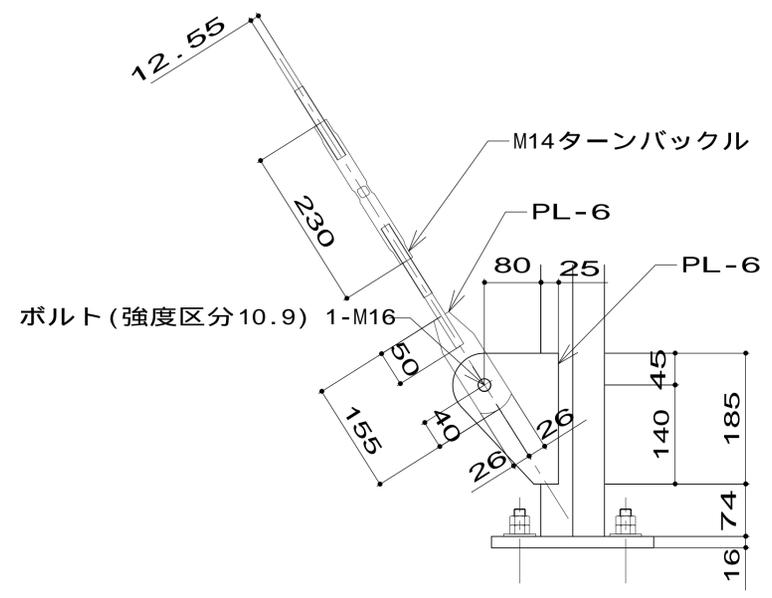
C1 : 2C-75 × 45 × 15 × 2.3

C1 柱脚詳細図 S=1/5



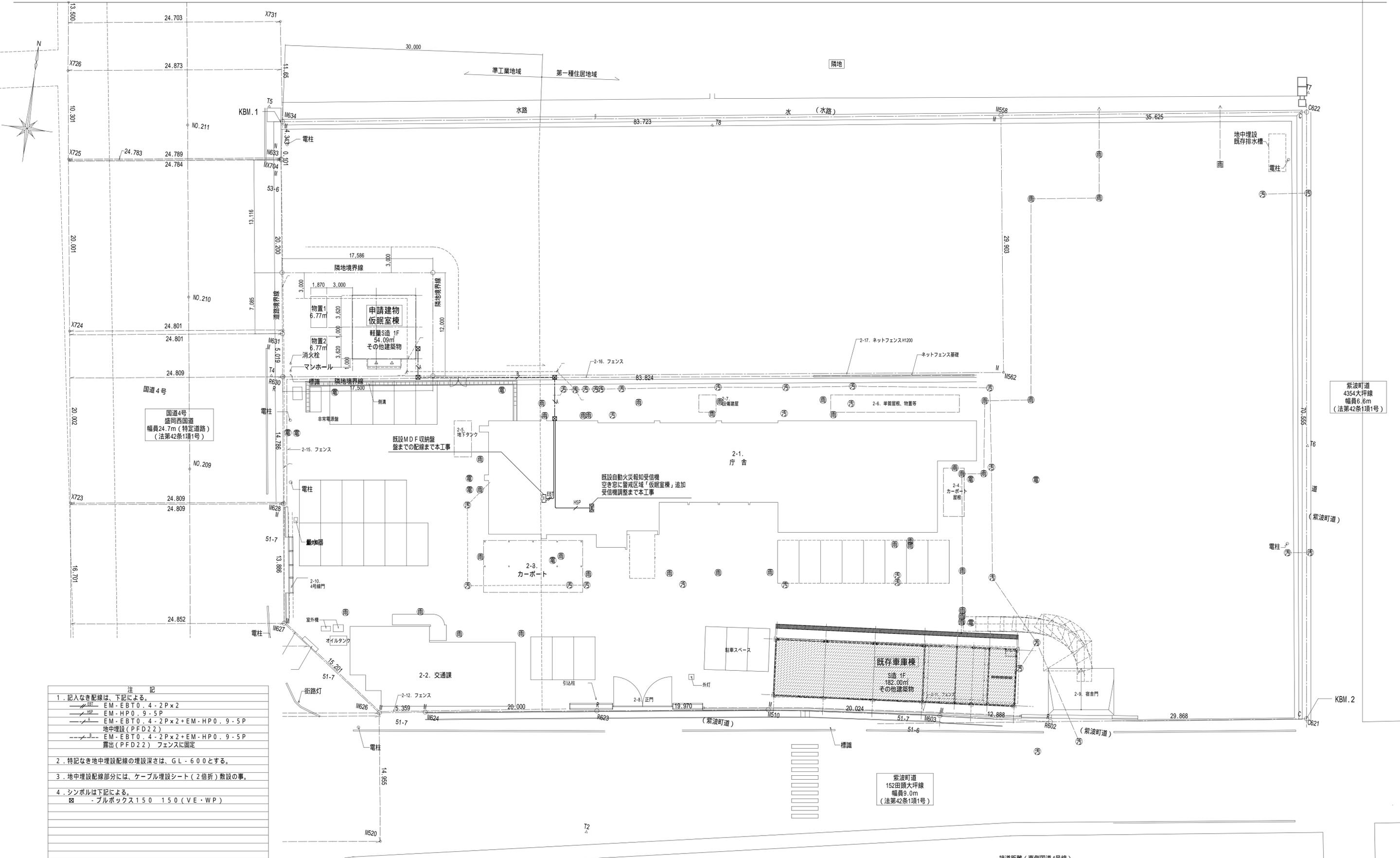
C2 : -75 × 75 × 2.3
+ 2C-75 × 45 × 15 × 2.3

C2 柱脚詳細図 S=1/5



鉄骨詳細図 S=1/5

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図				検 図	製 図	設計年月 令和7年 1月 (2025年)	図面内容 (仮眠室棟新築) 鉄骨詳細図、柱脚詳細図	縮 尺 A1: 1/5 A3: 1/10	図 番 S-10	建 築 構 造 計 画 消 防 構 造 通 則 省 13 通 則



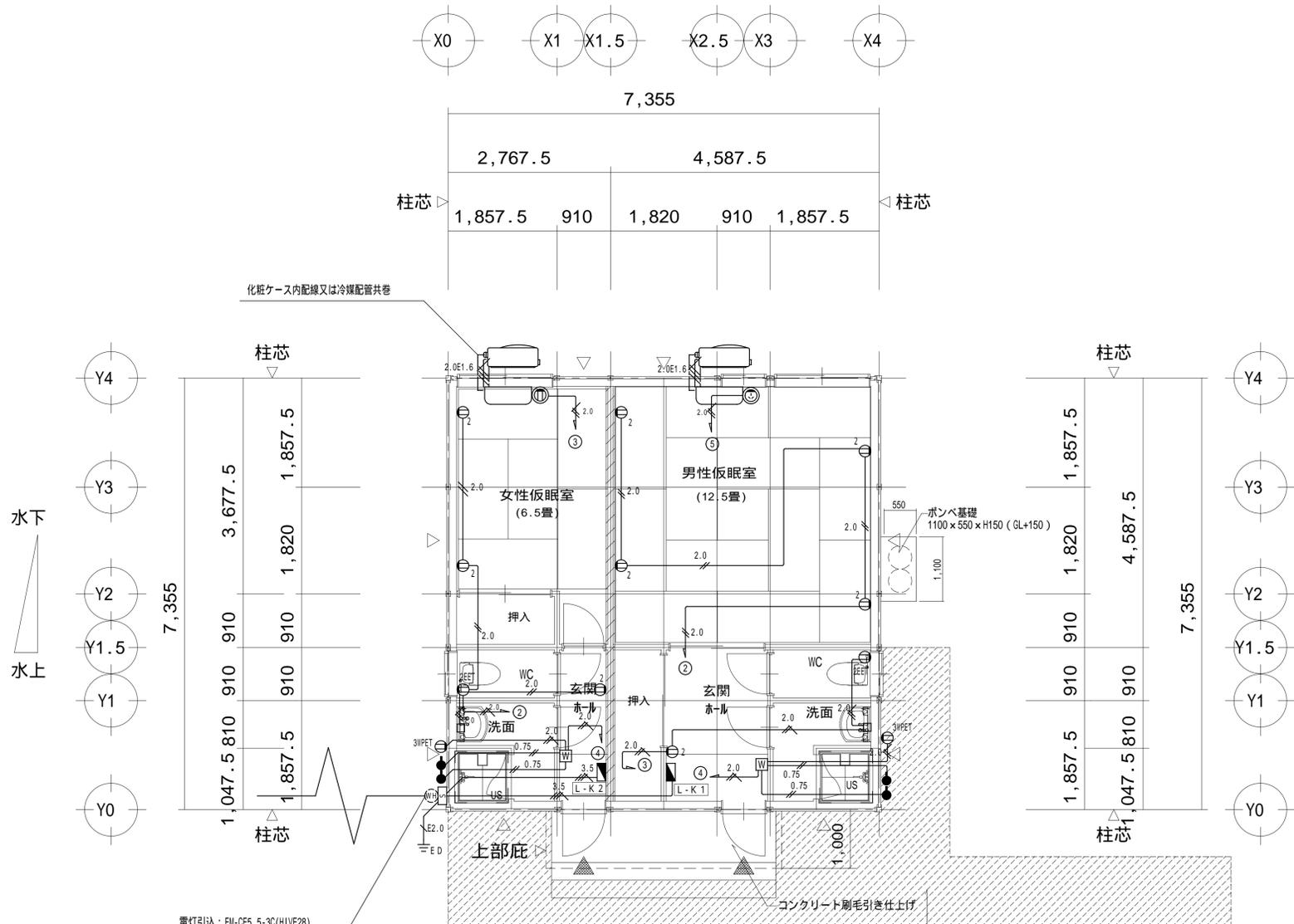
注 記

- 記入なき配線は、下記による。
 EM-EBT0.4-2P×2
 EM-HP0.9-5P
 EM-EBT0.4-2P×2+EM-HP0.9-5P
 地中埋設 (PFD22)
 EM-EBT0.4-2P×2+EM-HP0.9-5P
 露出 (PFD22) フェンスに固定
- 特記なき地中埋設配線の埋設深さは、GL-600とする。
- 地中埋設配線部分には、ケーブル埋設シート (2倍折) 敷設の事。
- シンボルは下記による。
 □ - ブロック150 150 (V・E・WP)

接道距離 (東側国道4号線)

全体敷地	13.886 + 14.786 + 5.019 + 20.200 + 0.101 + 4.343 = 58.335	58.33m
庁舎ほか敷地	58.335 - 5.019 - 7.085	= 46.231 46.23m
仮眠室棟敷地	5.019 + 7.085	= 12.104 12.10m

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図	検 図	製 図	設計年月 令和7年1月 (2025年)	図面内容 (仮眠室棟新築) 配置図、既設庁舎電気設備改修図	縮 尺 A1: 1/200 A3: 1/400	電 気 設 備 E - 02



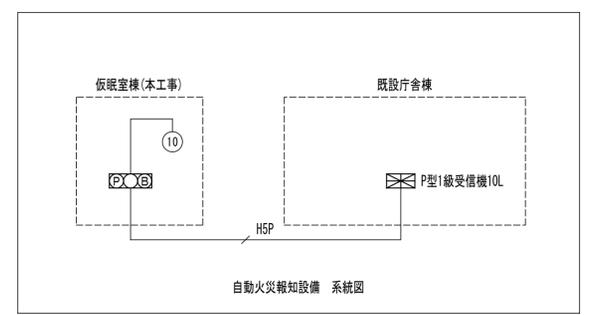
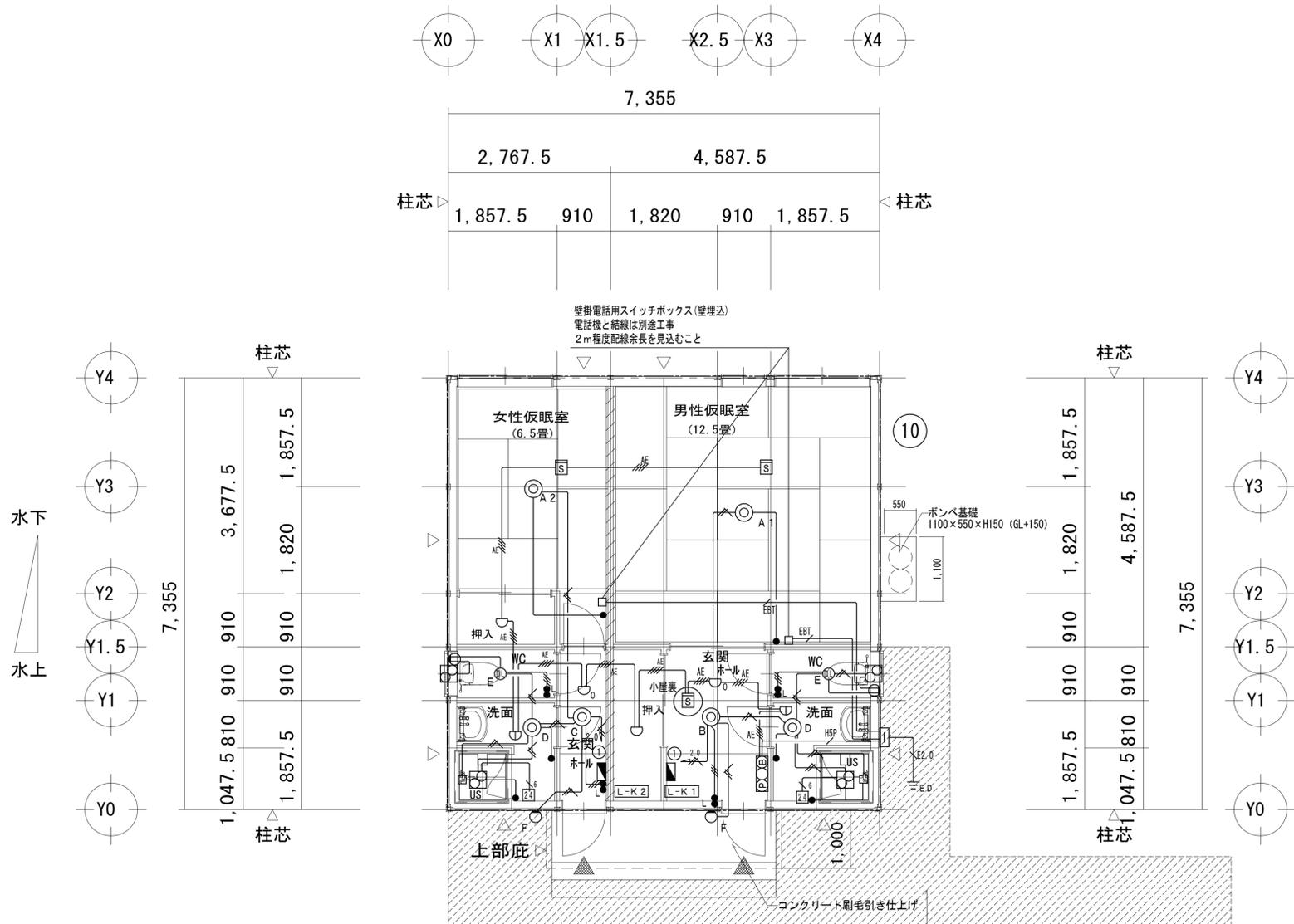
特記

1. 特記なき配線記号は以下のとおりとする。		立上保護配管
	EM-EFF2.0-2C	(PF22)
	EM-EFF2.0-3C(1E)	(PF22)
	EM-EFF2.0-3C+IE1.6	
	EM-CE3.5-4C(1E)	(PF22)
	EM-MEES0.75-2C	(PFD16)
	EM-IE2.0	(VE16)

凡例

	電力計 (電気供給会社支給)
	引込開閉器 (樹脂製防水型、NCCR3P40AT入)
	スイッチボックス1個用 VE
	埋込コンセント2P15A-2 E・ET付
	埋込コンセント2P15A-2
	防水コンセント2P15A-3 ET付
	埋込コンセント2P20A-1 E付 (エアコン用)
	埋込コンセント2P20A-1 E付 (250V) (エアコン用)
	電動水制御器2回線 (機械設備支給、2個用スイッチボックス共)
	電動水抜栓 (機械設備)

平面図 S=1/50

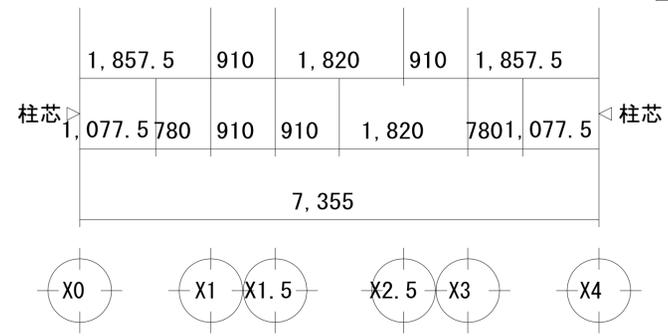


特記

1. 特記なき配線記号は以下のとおりとする。	立上保護配管
EM-EEF1.6-2C	(PF16)
EM-EEF1.6-3C(1E)	(PF22)
EM-EEF2.0-3C(1E)	(PF22)
EM-EEF1.6-3Cx2	(PF22)
EM-EBT0.4-2P	(PF22)
EM-AE0.9-4C	(PF16)
EM-HP0.9-5P	(PF22)

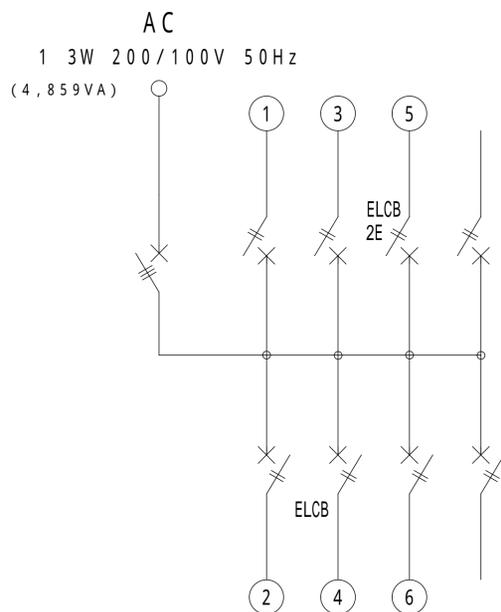
凡例

24	24時間スイッチ(機械設備支給)
①	埋込コンセント2P15A-1
□	スイッチボックス(1個用 VE)
□	端子盤(樹脂製扇形型、端子台5P内蔵、壁付)
PXE	総合盤(単独型・露出型)
○	定温式スポット型感知器(1種・露出型)
○	定温式スポット型感知器(1種・露出型防水型)
○	定温式スポット型感知器(特種・露出型)
S	検知器(2種・露出型)
No	火災報知設備警式区域番号



平面図 S=1/50

L - K 1 盤 樹脂製ホーム盤



回路NO	負荷名称	負荷容量
①	電灯換気扇	99VA
③	コンセント	510VA
⑤	エアコン	3350VA (低温暖房時)

200V

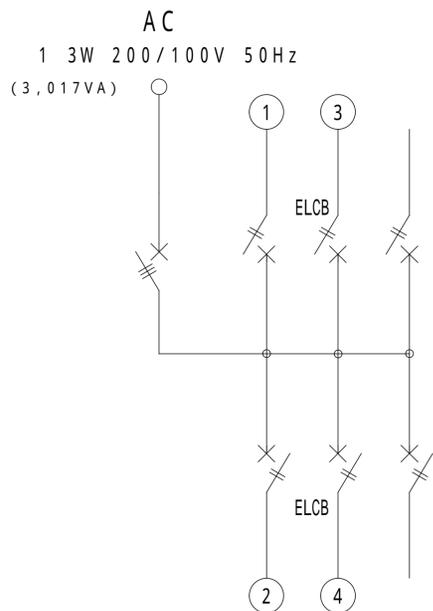
回路NO	負荷名称	負荷容量
②	コンセント	600VA
④	コンセント	300VA
⑥	予備	

主幹開閉器	ELCB3P2E	50/30AT
分岐開閉器	SB2P1E	30/20AT x 4 小型
	ELCB2P1E	30/20AT x 1 小型
	ELCB2P2E	30/20AT x 1 小型

ED (ELB)



L - K 2 盤 樹脂製ホーム盤



回路NO	負荷名称	負荷容量
①	電灯換気扇	77VA
③	エアコン	1980VA (低温暖房時)

回路NO	負荷名称	負荷容量
②	コンセント	660VA
④	給湯器・電動水抜	300VA

主幹開閉器	ELCB3P2E	50/30AT
分岐開閉器	SB2P1E	30/20AT x 2 小型
	ELCB2P1E	30/20AT x 2 小型

ED (ELB)



照明姿図

回路NO	LED	長さ	色温度	器具名	特徴
A 1	LED 44.1W	(5,499lm)	5000K	シーリングライト	
A 2	LED 26.8W	(4,299lm)	5000K	シーリングライト	
6500K~2700K 調光・調色可能型 専用リモコン同梱					
C	LED 9.6W	(850lm)	5000K		
D	LED 10.7W	(965lm)	5000K		
防湿・防雨型					
E	LED 4.5W	(490lm)	5000K		
F	LED 7.1W	(515lm)	2700K		
拡散配光型 高気密S B型					
防雨型 センサ付					

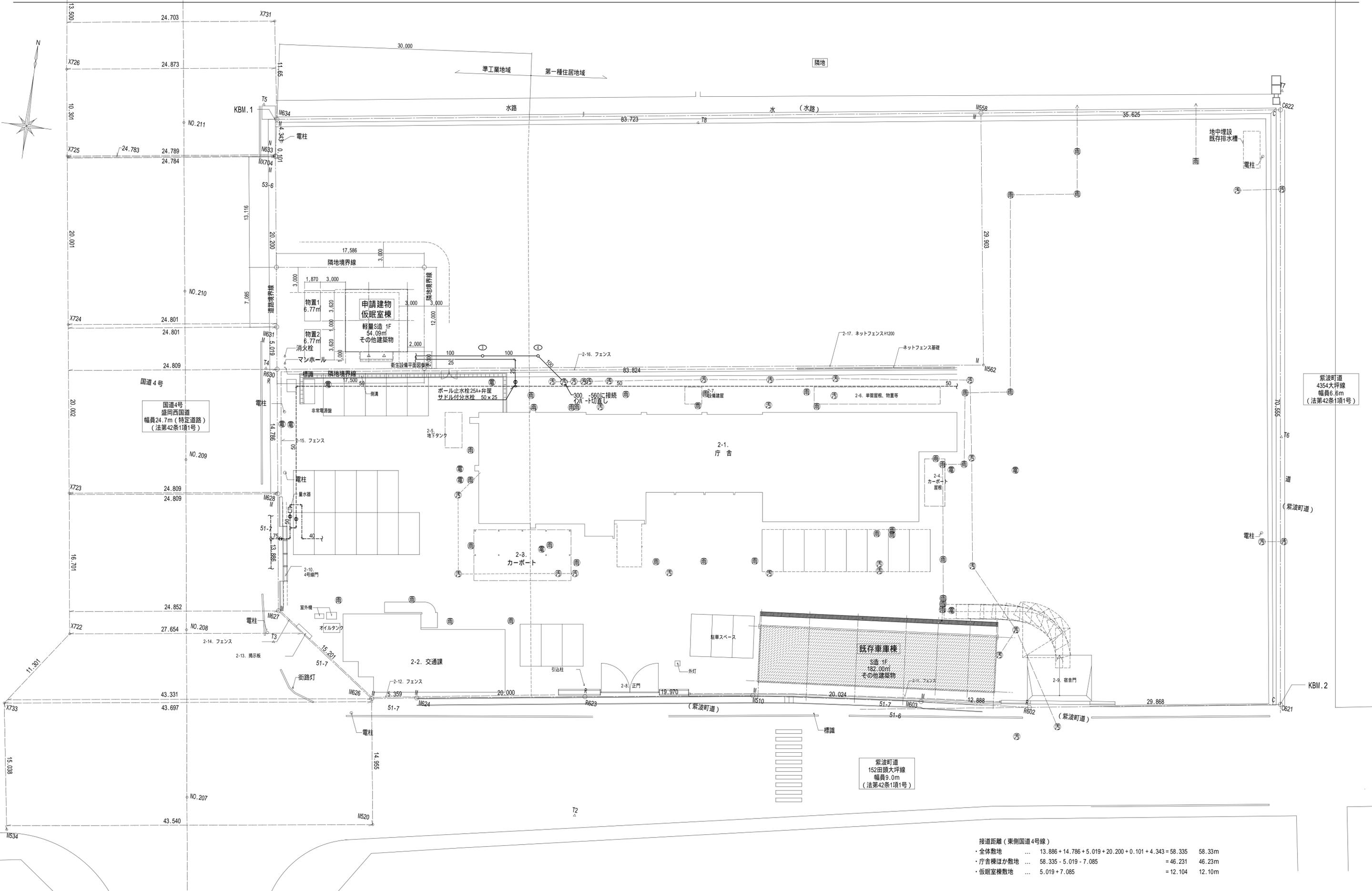
品番・消費電力値は参考とする
照明器具の消費電力は、JIS C8105-3 の試験・測定法による

機械設備工事 特記仕様書
1. 工事概要
1. 工事名称 茨波警察署桜町舎解体ほか工事
2. 工事場所 茨波郡茨波町桜町字大坪53番10の一部、59番7の一部
3. 建物概要
建物名称 構造 階数 延面積 (㎡) 消防法施行令(別表) 備考
仮置棟 5造 1 54.09㎡
4. 工事種目 (印のついたものを適用する)
建物別及屋外 工事種別 備考
5. 設備概要 (印のついたものを適用する)
空気調和方式等
給水方式
排水方式
給湯方式
消火設備方式
6. 工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
7. 一般
8. 共通
9. 通
10. 事
11. 項
12. 空
13. 気
14. 調
15. 和
16. 設
17. 備

14. はつり
15. 他工事との取り合い
16. 手続き準備等
17. 配管の建物導入部の変位吸収
18. 配管周囲の保護
19. 地中埋設機及び埋設表示用テープ
20. 地中埋設機及び埋設表示用テープ
21. 給電フランジ取付箇所
22. 弁等のサイズ
23. 試験
24. その他
25. 保険
26. 完成時提出書類
27. 工事実績情報の登録(工事カルテ)
28. 施工条件
29. 温湿度調整目標値
30. ばい煙濃度計
31. ばいじん量測定口
32. 煙突
33. 煙道
34. ダクト
35. 風量測定口
36. 防煙ダクト
37. 防火ダンパ
38. 定量ユニット
39. 配管材料
40. 弁類
41. 伸縮管継手
42. 温度計

15. 瞬間流量計及び測定用タッピング
16. オイルタンク
17. 積算油量表
18. 消音内貼り
19. 保温
20. 電気工事の範囲
21. カセット形ファンコイルユニットの風量分配ダクト
22. 準用事項
23. ダクトの工法
24. 厨房フード
25. 保温
26. 排煙設備
27. 衛生器具設備
28. 給水
29. 配管材料
30. 量水器
31. 量水器併
32. 配管材料
33. 散水栓ボックス
34. 弁類
35. 給水栓
36. 埋設深さ
37. 埋設分間開閉ハンドル
38. 保温
39. 水道加入金等
40. その他

1. 配管材料
2. 漏水試験継手
3. 別途流し
4. 試験
5. 放流負担金
6. 配管材料
7. 弁類
8. 湯沸器回り配管
9. 湯沸器の排気筒
10. 保温
11. 配管材料
12. 消火栓開閉弁
13. 保温
14. 2号消火栓の圧力損失
15. ガスの種類
16. 配管材料
17. ガスメーター
18. 液化石油ガス
19. ガスメーター
20. ガス漏れ警報連断装置
21. 埋設深さ
22. 厨房機器類
23. 付属制御盤
24. 処理能力
25. 放流水質
26. 処理方式
27. 主要構造
28. 制御盤
29. 消毒剤
30. 維持管理
31. 撤去工事
32. 発生材
33. 産廃廃棄物
34. 防食工事
35. その他



国道4号
盛岡西国道
幅員24.7m (特定道路)
(法第42条1項1号)

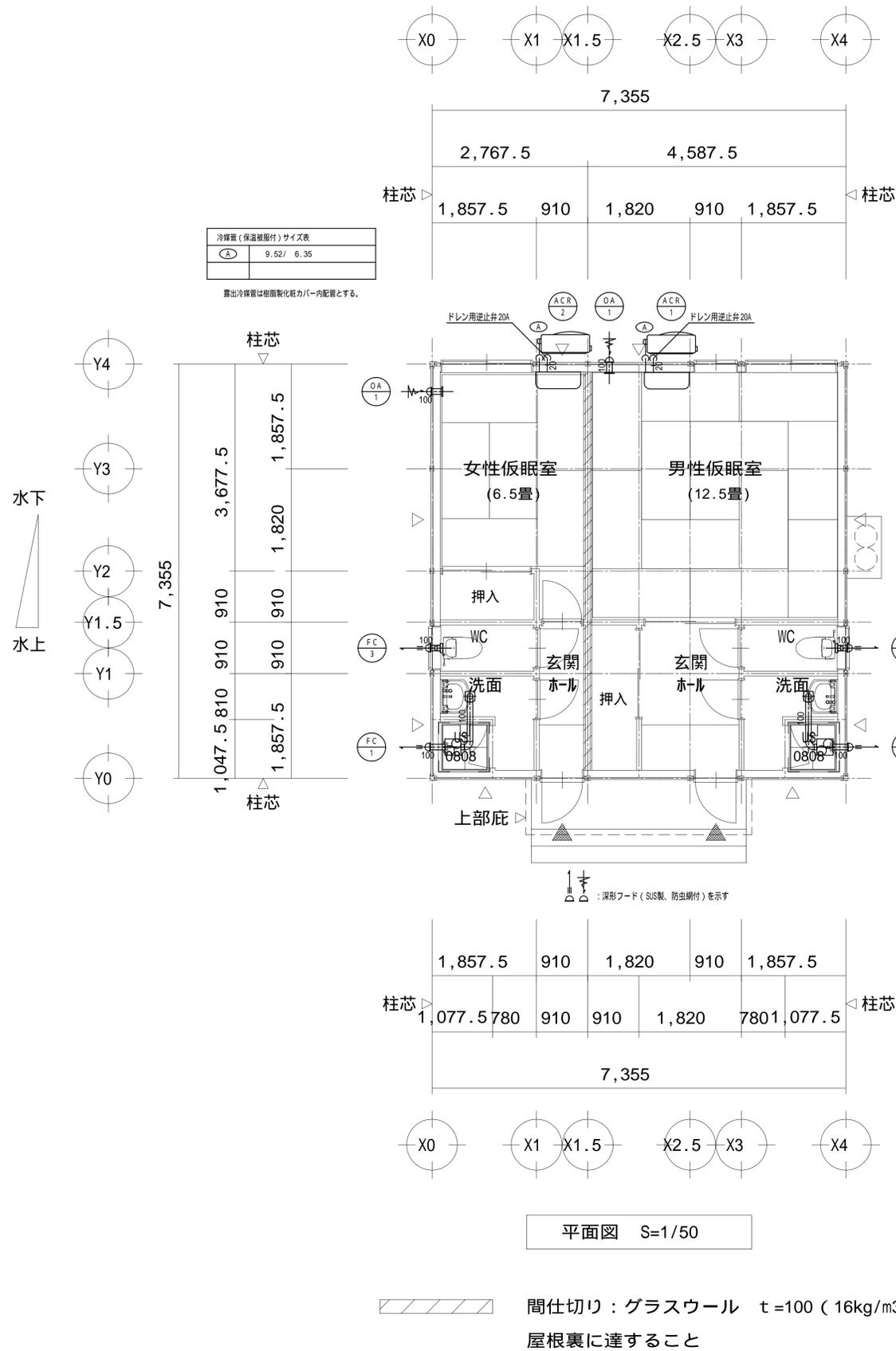
紫波町道
4354大坪線
幅員6.6m
(法第42条1項1号)

紫波町道
152田頭大坪線
幅員9.0m
(法第42条1項1号)

接道距離 (東側国道4号線)

・全体敷地	13.886 + 14.786 + 5.019 + 20.200 + 0.101 + 4.343 = 58.335	58.33m
・庁舎棟ほか敷地	58.335 - 5.019 - 7.085	= 46.231 46.23m
・仮居室棟敷地	5.019 + 7.085	= 12.104 12.10m

紫波警察署桜町宿舎解体ほか工事	設計図	検 図	製 図	設計年月 令和7年 1月 (2025年)	図面内容 (仮居室棟新築)	縮 尺 A1: 1/200 A3: 1/400	機 械 設 備 M-02
					配置図		



空調機器表

記号	名称	仕様・内訳	電気容量		数量	設置場所	備考(参考品番)
			-V	kW			
ACR-1	空調機	形 式：寒冷地向けルームエアコン 壁掛形	1-200	3.350	1	男性仮眠室	S405ATHP-W
		冷房能力：4.0(0.7-4.5)kW (JIS C 9612:2013)		1.030			
		暖房能力：5.0(0.7-9.7)kW (JIS C 9612:2013)		1.120			
		圧縮機出力：1100W					
		付属品：室外機架台、リモコン、室内外配線、防雪フード、他標準付属品一式					
ACR-2	空調機	形 式：寒冷地向けルームエアコン 壁掛形	1-100	1.970	1	女性仮眠室	S225ATHS-W
		冷房能力：2.2(0.7-2.8)kW (JIS C 9612:2013)		0.450			
		暖房能力：2.8(0.7-6.4)kW (JIS C 9612:2013)		0.550			
		圧縮機出力：600W					
		付属品：室外機架台、リモコン、室内外配線、防雪フード、他標準付属品一式					

換気機器表

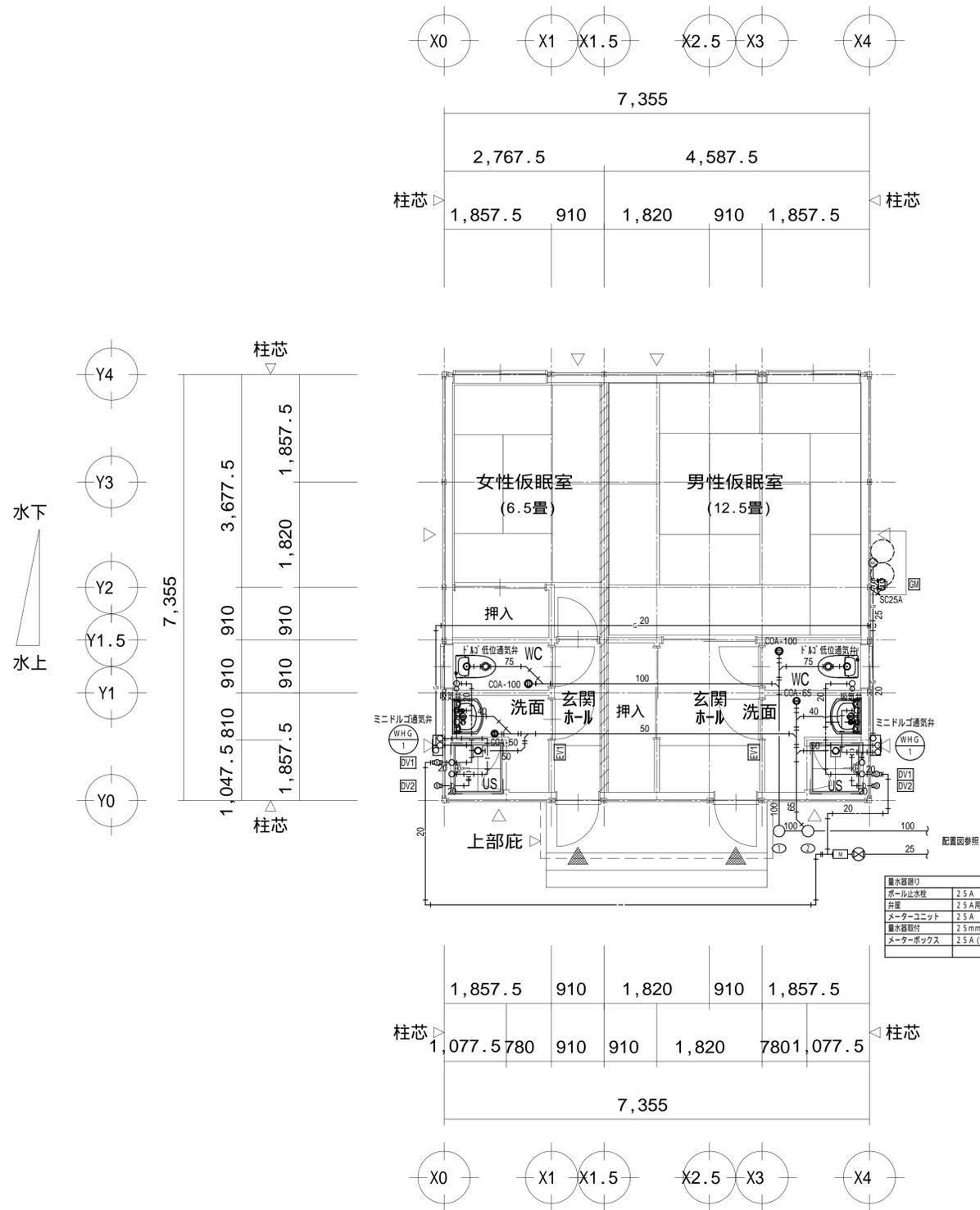
記号	名称	仕様・内訳	電気容量		数量	設置場所	備考(参考品番)
			-V	kW			
FC-1	排風機	形 式：二部用天井埋込換気扇(24時間兼用) 風 量：120m3/h×60Pa(強)、75m3/h×30Pa(弱)	1-100	16/8W	2	US(男性・女性用)	DVP-14CLDA
		付属品：専用スイッチ(電気設備に支給)、副吸込グリル、天吊金具、他標準付属品一式共					
FC-3	排風機	形 式：パイプ用ファン 風 量：50m3/h×10Pa	1-100	1.8W	2	WC(男性・女性用)	VFP-C8M
		付属品：ダクト接続100、他標準付属品一式共					
OA-1	給気口	形 式：壁用 100用 風量調節付			2	男性仮眠室、女性仮眠室	DV-1KMVF
		付属品：フィルター、ダクト接続100、他標準付属品一式共					

24時間換気計算

棟	室名	面積 m2	天井高 m	容積 m3	24時間換気		換気種別	排気系統 機器記号	台数	設計換気量 m3/h	設計換気回数 回/h	給気系統 機器記号	台数	設計換気量 m3/h	設計換気回数 回/h									
					換気回数 回/h	必要風量 m3/h																		
男性仮眠室	男性仮眠室	21.05	2.40	50.51	0.5	25.26	第3種	FC-1(弱)	1	75.0	1.05	OA-1(直行)	1	75.0	1.05									
	玄関ホール	5.04	2.45	12.35	0.5	6.18																		
	洗面	2.33	2.45	5.69	0.5	2.85																		
	US	1.13	2.00	2.26	0.5	1.13																		
	男性仮眠室 計			70.81		35.42																		
	女性仮眠室	11.01	2.40	26.42	0.5	13.21										第3種	FC-1(弱)	1	75.0	1.84	OA-1(直行)	1	75.0	1.84
玄関ホール	2.52	2.45	6.18	0.5	3.09																			
洗面	2.33	2.45	5.69	0.5	2.85																			
US	1.13	2.00	2.26	0.5	1.13																			
女性仮眠室 計			40.55		20.28																			

室面積計算表

棟	室名	面積計算 (m ²)		
仮眠室棟	男性仮眠室	男性仮眠室	4.5875 × 4.5875 =	21.0452
		玄関ホール	1.8200 × 2.7675 =	5.0369
		洗面	1.8575 × 0.8100 =	1.5046
			0.7800 × 1.0475 =	0.8171
		US	1.0775 × 1.0475 =	1.1287
	女性仮眠室	女性仮眠室	2.7675 × 3.6775 =	10.1775
		玄関ホール	0.91000 × 0.91000 =	0.8281
		洗面	0.91000 × 2.7675 =	2.5184
			1.85750 × 0.81000 =	1.5046
		US	0.78000 × 1.04750 =	0.8171
		1.07750 × 1.04750 =	1.1287	



平面図 S=1/50

間仕切り：グラスウール t=100 (16kg/m3品) 充填
屋根裏に達すること

器具・機器表

記号	名称	仕様・内訳 (参考品番上段:LIXIL 下段:TOTOを示す)	男性仮眠室				女性仮眠室				合計	備考
			洗面	WC	シャワー	その他	洗面	WC	シャワー	その他		
	洋風便器	BC-110STU, DT-5800NBL, OII-KB31, CF-AA22H, CS232B#N#1, SH233BA#N#1, TCF6623#N#1, YH51R#N#1	1				1				2	AC100V-310W
	タオル掛け	KF-11S, YTS1R#N#1	1				1				2	
	洗面化粧台	FTY1N-6G6SYN/VP1W, MFTXE-601YJU, LDPB060BAGES2A, LTL4D13U, LTL4D11U, LMPB060A1GDG1G	1				1				2	
	シャワーユニット	建屋工事 (シャワー水栓取付は本工事)			1				1		2	
DV1	電動水抜栓	2.0A x 0.8H 手動ハンドル付駆動部									2	2
DV2	電動湯抜栓	2.0A x 0.8H 手動ハンドル付駆動部									2	2
EV1	電動水抜操作盤	2台用 連動1回路 電気設備に支給				1			1		2	
WHG-1	ガス給湯器	屋外壁掛 2.0号・LPG消費量41.6kWh (JIS S 2075, JIS S 2109) 凍結防止機能付 配管カバー、浴室・台所リモコン、リモコンコード、吸気弁付止水栓2.0A x 2、FJ2.0A x 3.0.0L x 2、可とう管コック、可とう管1.5A x 3.0.0L、凍結防止ヒーター2m x 3.0W (給水、給湯管) x 2									2	2
GM	ガスメーター	LPG用 マイコン型 貸与品									1	1
	ガス集合装置	2本立 (一般仕様一式) ガスボンベ転倒防止/ON/OFFチェーン									1	1

給湯配管 (埋設配管以外) の保温材はグラスウール2.0mmとする。

樹リスト

樹番号	名称	樹寸法 mm	設計GLより m	決定管底 mm (GL-)	蓋	備考	管径 距離 勾配		
							mm	m	%
1	プラスチック樹	200	0.062	300	ミカグ蓋	90L	100	0.50	1.50%
2	プラスチック樹	200	0.062	308	ミカグ蓋	45Y	100	10.00	1.50%
3	プラスチック樹	200	0.000	396	ミカグ蓋	ST	100	6.59	1.50%
4	プラスチック樹	200	0.000	494	ミカグ蓋	45L	100	4.37	1.50%
	既設コンクリート樹	300	0.000	560	MHB	インポート切直し			

(注記) 樹深さは参考とし、現場GLに合わせ施工の事